

第7部 教育機関等

第7部 教育機関等

1章 青森県立図書館・青森県近代文学館

1 施設・設備

所在地	青森市大字荒川字藤戸119番地7	
敷地面積	23,812.47㎡	
建物延面積	9,886.03㎡	
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階建 塔屋1階	
階別主要室名	1階	一般閲覧室、参考・郷土室、児童閲覧室、乳幼児室、エントランスホール、ロッカールーム、休憩コーナー、機械室
	2階	近代文学館（常設展示室、企画展示室、展示ギャラリー、展示ロビー、近代文学ガイドコーナー、AVブース）、書庫（約47万冊収容可）、特殊資料庫
	3階	書庫（約53万冊収容可）
	4階	集会室、研修室、市町村読書振興室、貴重資料庫、館長室、事務室

2 運営方針

青森県立図書館運営方針

青森県立図書館は、図書、記録等の資料及び情報を収集し、保存して、県民の利用に供し、市町村立図書館等を支援し、関係機関との連携・協力を進め、県民の学習活動、調査研究、読書活動等を支援するとともに、地域を支える情報拠点として地域の課題解決を支援し、本県の発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、図書館サービスの充実に努めます。

ア 資料の収集・保存・提供

県民が必要とする資料を計画的、体系的に収集し、整理・保存し、利用に供します。

資料の収集に当たっては、地域の課題解決に資する資料、郷土資料及び本県の行政資料の収集に努めます。

また、視聴覚資料、電子資料の収集等、資料の多様化への対応に努めます。

イ 利用者・県民へのサービス

県民の学習活動等を支援するため、オンライン貸出等の貸出サービス、レファレンスサービス等の情報サービス、地域の課題に対応した資料・情報の提供、多様な利用者へのサービス、学習機会の提供、ボランティア活動の機会の提供等を行います。

ウ 市町村立図書館等への支援

県民が、県内どこに住んでいても、充実した図書館サービスを受けることができるよう、市町村立図書館及び公民館図書室に対し、資料の貸出、図書館職員研修の実施等の支援を行います。

また、県内の公立図書館等の資料の横断検索、相互貸借等を行うための青森県図書館情報

ネットワークシステムを運用するなど、県立図書館、市町村立図書館及び公民館図書室等の相互の連携・協力を進めます。

エ こどもの読書活動の支援

こどもの読書活動を支援するため、おはなし会の開催、読み聞かせ活動の支援、児童生徒用図書セットの貸出、学校図書館の運営の支援等を行います。

オ 関係機関との連携・協力

県民の学習活動等の支援を充実するため、また、地域の課題解決を支援するため、国立国会図書館、他の都道府県立図書館、大学図書館、学校、社会教育施設、行政機関、調査研究施設、民間団体等との連携・協力を進めます。

青森県近代文学館運営方針

青森県近代文学館は、明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家の文学資料を幅広く収集し、その保存を図るとともに、広く一般に公開展示し、文学活動の環境づくりを進め、創造性豊かな本県文化の継承と発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、文学館活動の充実に努めます。

ア 資料の収集・保存

明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家を中心に、図書、雑誌、原稿、書簡、書画及び遺品等の資料を総合的に収集し、体系的に整備・保存します。

イ 資料の展示

青森県を代表する13人の作家を中心に、本県出身及びゆかりの作家の多様な資料を常設展示するとともに、テーマ別の企画展を開催し、青森県の近代文学に関する県民の理解を深めます。

ウ 文学活動の環境づくり

他の文学館、文学団体及び学校等との連携を深めながら、多様な普及・啓発活動、情報提供活動を展開することで、県民の文学活動の環境づくりを進めます。

3 事業内容

県立図書館

ア 資料の収集・保存・提供

ア 資料の収集・保存

購入及び寄贈により幅広く資料を収集し、整理し、保存した。令和5年度末の所蔵資料数は1,042,046点。

受入数	23,145点	所蔵数	1,042,046点
-----	---------	-----	------------

a 郷土資料の収集・保存

購入、寄贈及び自館作成等により、地方行政資料を含めた郷土関係全般にわたる資料を収集・整理・保存した。令和5年度末の所蔵資料数は171,095点。

受入数	4,603点	所蔵数	171,095点
-----	--------	-----	----------

「ア 資料の収集・保存」内数

b 電子書籍の収集

辞典、図鑑、年鑑などの学術書を中心に電子資料を収集した。令和5年度末の所蔵資料数は2,269点。

受入数	566点	所蔵数	2,269点
-----	------	-----	--------

イ 資料の提供

館内には、一般閲覧室、児童閲覧室、参考・郷土室があり、それぞれ約11万4千冊、約2万8千冊、約1万4千冊の資料を配架しており、利用者は自由に閲覧することができ、書庫内の資料も、請求により利用することができる。

利用者は、館内の検索端末あるいはインターネットを通じて、資料を検索することができる。

希望する資料がない場合は要望を受け、相互貸借のネットワークを活用して、他館から借用し提供するほか、購入により提供した。

- a 一般閲覧室では、日本十進分類法を用い、一般図書を主題別に配架するほか、新聞・雑誌、洋書、大活字本、郷土関係のAV資料、企画展示などのコーナーを設けるなどして、多種多様な資料の中から利用者が目的の資料を探しやすいように工夫している。

また、蔵書検索、インターネット、東奥日報CD-ROM、図書館向けデジタル化資料送信サービス・歴史的音源サービスに対応したパソコン端末を設置しているほか、バリアフリーサービスに対応した、サピエからダウンロードしたデイジー図書などを利用できる音声パソコン、拡大読書器、音声読書器等を提供し、県民への資料・情報提供の充実を図った。

- b 児童閲覧室では、調べ学習に対応した児童図書、ノンフィクション、物語、絵本、紙芝居などを自由に利用できるように配架した。

おはなしコーナーでは、毎月第2土曜日に「おはなし会」を、第4土曜日に「おしえて先生！知るしるする探検隊」を開催して、おはなしの楽しさを伝え、本との出会いの機会を提供した。

- c 参考・郷土室では、各種の辞典、年鑑、青森県の自然、歴史、産業、文化等に関する図書や県内で刊行された資料等を配架して、利用者の学習・調査研究の利用に供した。

辞典、官報、新聞など、データベース資料については、専用端末により迅速に検索することができるサービスを提供した。

国立国会図書館蔵書検索・申込システム、国立国会図書館サーチ、国立情報学研究所等のデータベースを利用し、資料や所蔵情報を提供した。

開館日数	総利用者数	総利用資料数
332日	265,614人	277,528点

イ 利用者・県民へのサービス

ア レファレンスサービス

来館、非来館利用者からの様々なアプローチ（口頭、電話、FAX、メール等）による質問や、市町村立図書館等からの依頼を受けた、協力レファレンスに対して、解決に役立つ資料の紹介や情報提供を行った。

レファレンス数	調査・回答 1,350件	文献紹介 11,014件
---------	--------------	--------------

イ オンライン貸出サービス

パソコンや携帯電話で所蔵資料の予約・貸出申込みをすることができる。また、受取館

を県立図書館以外の市町村立図書館等（貸出協力館）に指定することができる。

貸出協力館数	59館	貸出件数	11,783件	貸出点数	22,512点
--------	-----	------	---------	------	---------

ウ 遠隔地返却サービス

県立図書館から貸出しを受けた資料を利用者が希望する市町村立図書館等に返却し、県立図書館が回収した。

返却協力館数	59館	利用件数	2,630件	利用点数	8,015点
--------	-----	------	--------	------	--------

エ アウトリーチサービス

心身に障がいがあるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配による図書の貸出を行った。

貸出件数	158件	貸出点数	835点
------	------	------	------

オ ホームページの充実

県立図書館の蔵書を検索し、予約や貸出申し込みができるオンライン貸出サービスを利用することができる。

また、「県内公共図書館・大学図書館横断検索」により23の市町村立図書館等と11の大学図書館、1県立施設の蔵書を検索することができる。

利用者から寄せられた要望等について、当館の対応とともに掲載した。

ホームページアクセス件数	192,659件
--------------	----------

カ デジタルアーカイブの公開

当館が所蔵する貴重資料等の電子画像を営利・非営利を問わず二次利用可能な形で公開するほか、それらの書誌情報についても、新たにオープンデータとして配布している。

また、他機関が公開するデジタルアーカイブや、青森県に関する主な電子資料へのリンク集を作成・公開している。

アクセス件数	10,906件
--------	---------

キ ボランティアの受入

返却された資料の配架及び利用案内について、図書館ボランティアを受け入れ、自主的・自発的な活動を支援・促進した。

登録人数	19人	延べ活動人数	588人
------	-----	--------	------

ク 一般閲覧室企画展示

本県に関する事項、身近な関心ごと、話題の出来事などテーマに沿った本の展示と貸出を行った。

期 間	テ ー マ
3月24日～4月26日	旅行（青森県内編）
4月28日～5月21日	旅行（県外、海外編）

期 間	テ ー マ
5月26日～6月21日	本をおともに出かけよう！～知って、守って、楽しむ自然～第一部「大問題！気候変動」
6月23日～7月26日	本をおともに出かけよう！～知って、守って、楽しむ自然～第二部「だけじゃない、アウトドア」
7月28日～9月27日	手で話そう
9月29日～11月29日	わたしの推し本。
12月7日～12月27日	めえものどっさり！おいしいごちそうめしあがれ！
1月4日～1月24日	県内図書館等一斉展示『ウチの推し本』『武井武雄刊本』
1月26日～3月27日	海の生き物
3月29日～4月24日	新生活（はじまる編）

ウ 市町村立図書館等への支援

ア 青森県図書館情報ネットワークシステム（通称：Applins：アプリンズ）

県内公共図書館等の相互貸借のためのインターネットシステムを管理・運用した。参加館は横断検索機能を用いて、各館の所蔵情報を相互に検索することができるほか、検索した資料について、予約や貸出の申込みから借受、返却までの情報管理を双方向的に行うことができる。また、掲示板機能により、参加館の様々な情報を共有した。

a 参加館

参加館	46館	うちデータ提供館	24館
-----	-----	----------	-----

b アプリンズを利用した相互貸借数

県立図書館からの貸出点数	3,473点	県立図書館の借受点数	84点
--------------	--------	------------	-----

イ 協力用図書の一括貸出

「協力用図書」を約5万冊所蔵し、市町村立図書館等を対象に蔵書を支援する目的で貸出しを行った。（来館型）

貸出件数	52件	貸出点数	29,509点
------	-----	------	---------

ウ 公立図書館長・公民館長会議、担当者会議

a 公立図書館長・公民館長会議を開催し、県立図書館等の事業説明を実施した。

b 図書館相互協力事業等担当者会議を開催し、市町村立図書館・公民館図書室等と県立図書館間の相互協力事業についての説明及び情報交換会を実施した。

エ 市町村立図書館等職員研修

a 図書館勤務概ね2年以内の市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための講義と演習を行う市町村立図書館等職員初任者研修を開催した。

b 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館職員の資質向上のために特に重要なテーマ（レファレンスサービス）について、外部講師による講義と演習を行う市町村立図書館等職員基本研修を開催した。

c 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館職員

の資質向上のために「誰もが読書ができる社会を目指して」をテーマに、外部講師による講義と実践報告、外部講師と実践報告書によるフリートークを行う市町村立図書館等職員ステップアップ研修を開催した。令和5年度は公共図書館等の学校図書館支援や学校図書館との連携に関する学校図書館支援研修を兼ねて実施した。

オ 市町村立図書館等巡回訪問

- a 市町村立図書館等からの要請により、運営等について指導・助言及び情報提供等を行い、市町村立図書館等の振興と連携強化等を図るため、令和5年度は1回の訪問を行った。
- b 市町村立図書館等について、実態と課題を聴取して、今後の市町村支援の在り方を検討するため、令和5年度は6回の調査訪問を行った。

カ 定期資料搬送

市町村立図書館等及び大学等図書館と資料を貸借するために、宅配便を利用した定期的な資料搬送を行った。

具体的には、市町村立図書館等との相互貸借、オンライン貸出サービスの貸出・回収、遠隔地返却サービスの回収、大学等図書館との相互貸借及び大学等図書館返却サービスの回収を行った。

エ こどもの読書活動の支援

ア こどもと本をつなげる催しの開催

こどもたちが、さまざまなことに興味を持ち、関連した本に触れることによって、読書への興味を持つとともに、図書館の利用促進となるような催しを開催した。

a おはなし会 毎月第2土曜日

絵本の読み聞かせやブック・トークを行った。令和5年度の参加者総数は197人であった。

b おしえて先生！知るしるする探検隊 毎月第4土曜日（12・3月を除く）

科学やいろいろな仕事、スポーツなど、実験や交流体験を行った。令和5年度は10回開催し、参加者総数は187人であった。

イ 児童閲覧室テーマ展示

おはなし会のテーマや読書週間等と連動した本の展示・貸出のほか、年中行事による小展示を行った。

期間	展 示 テ ー マ	小 展 示
3月24日～4月26日	令和4年度 おはなし会・おしえて先生！知るしるする探検隊で紹介した本	びかびか
4月28日～5月21日	図書館でおきにいりの本をみつけよう	おさかな
5月26日～6月21日	は	おてんき
6月23日～7月26日	キラキラおほしさま	みどり
7月1日～9月27日	あおもりのえほん	おでかけ
7月28日～8月23日	おまつりわっしょい！	からだ
9月29日～10月25日	ピカピカおつきさま	ひこうきブーン
10月27日～11月29日	スポーツの秋	うさぎ
12月7日～12月27日	メリークリスマス！	ふゆがやってきた！
1月4日～1月24日	あけましておめでとう！	おやつ
1月26日～2月21日	おに	めんちゆるちゆる

期間	展 示 テ ー マ	小 展 示
2月23日～3月27日	みんなおおきくなったね！	よ～く見えるぞ
3月29日～4月24日	令和5年度 おはなし会・おしえて先生！知るしるする探検隊で紹介した本	くま

ウ セット貸出

a 市町村巡回図書セット

小・中学校の朝の読書活動や幼稚園・保育所等の読み聞かせ活動を支援するため、協力用図書を利用して図書セットを作成し、希望する市町村立図書館等に対し「市町村巡回図書セット」として貸出を行った。借り受けた市町村立図書館等は管内の小学校等に配本した。

図書セットの内容	利用対象	前 期		後 期	
		配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
小 学 校	低 学 年	41	3,340	40	2,340
	中 学 年	43	3,480	41	2,300
	高 学 年	40	3,440	40	2,340
中 学 校	中 学 校	15	760	15	660
読 み 聞 かせ 絵 本 等 児 童 書	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	55	6,780	50	3,000
大 型 絵 本	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	58	1,775	48	490

b 学習支援セット

児童生徒の学習支援や読書活動の推進等を支援するため、協力用図書を利用して「学習支援セット」を作成し、希望する小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。（小・中学校は市町村立図書館等を経由して貸出。）

利 用 対 象	前 期		後 期	
	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	8	647	7	470

c ミニセット

各図書館等での展示・貸出を支援するため、協力用図書を利用して全国的なイベント等に対応した「ミニセット」を作成し、希望する高等学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。

利 用 対 象	前 期		後 期	
	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
市町村立図書館等（一部高等学校・特別支援学校を含む。）	30	872	19	538

エ 学校図書館アシスト事業プラス

小・中学校及び県立学校等を県立図書館職員が訪問し、学校図書館が抱える疑問などを解決するための具体的な助言や情報提供、学校図書館の活動に関する研修を行った。

また、必要に応じて追加の訪問や助言、情報を提供した。

訪問学校数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	計
	13校	4校	3校	0校	3校	23校

オ 関係機関との連携・協力

ア 図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに歴史的音源（れきおん）サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を公共図書館等で閲覧・複写できる「図書館向けデジタル化資料送信サービス」並びに、歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化した、1900年当初から1950年頃までに製作されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を公共図書館等で視聴できる「歴史的音源（れきおん）サービス」に参加館として加入。県民への資料提供の充実を図った。

図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに歴史的音源（れきおん）サービス	利用者数	65人
--------------------------------------	------	-----

イ 国立国会図書館及び県外公共図書館等との連携

県域を越えた図書館資料資源の共有化及び効率的利用の促進を目的とする、和図書の総合目録ネットワーク「国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）」にデータ提供館・参加館として加入し、全国的な図書館連携に協力するとともに、県民への資料提供の充実を図った。

他都道府県公共図書館との相互貸借	貸出点数	579点	借受点数	156点
------------------	------	------	------	------

ウ 大学等図書館との連携

平成21年度から県内大学等図書館と連携・協力に関する協定（覚書）を締結している。

大学等図書館とは、横断検索システムを活用した相互貸借や県立図書館で借受けた資料を在籍する大学等図書館に返却できるサービスを行った。

大学等図書館との相互貸借	貸出点数	121点	借受点数	30点
--------------	------	------	------	-----

エ 行政支援サービス

県職員を対象に、政策立案や行政サービスの改善に資するため、業務に関するレファレンス（調査・相談）や資料及び関連図書リストの提供を行った。また、県が主催する様々なセミナー等の会場において、参加者を対象に関連図書の展示・貸出を行った。

レファレンスサービス件数	88件
業務に関する図書貸出点数	187点
セミナー等における図書貸出点数	246点
県立図書館施設利用人数	1,833人

オ 産業支援サービス

県民を対象に、幅広く産業やビジネスを支援するため、創業・起業や経営改善に関する情報、農林水産資源を活用した商品開発などに関する情報等をデータベースで提供した。

また、創業・起業に関する相談会場等で、関連図書リストの提供を行った。

データベース情報検索件数	291件
相談会等におけるオーダーメイドリスト提供件数	1件

近代文学館

ア 資料の収集・保存

収集方針に基づき、佐藤紅緑・秋田雨雀・葛西善蔵・福土幸次郎・石坂洋次郎・北村小松・北畠八穂・高木恭造・太宰治・今官一・三浦哲郎・長部日出雄・寺山修司の13人の重点作家を中心とした本県ゆかりの作家の文学資料について、継続的に収集・整理・保存を行った。

令和5年度は、特別展「あおもりのえほん」、企画展「あもり文学食堂」の開催を契機に、関連する資料の収集に力を注いだ。

受 入 数	9,283点	所 蔵 数	176,230点
-------	--------	-------	----------

イ 資料の展示

常設展示、企画展等の観覧者は13,575名であった。

開 館 日 数	332日	観 覧 者 数	13,575人
---------	------	---------	---------

ア 常設展示

常設展示室では、青森県を代表する13人の作家の図書、雑誌、原稿、書簡、書画、遺品等の資料を展示し、その作品と生涯を紹介しているほか、青森県ゆかりの作家33人をジャンルごとに紹介した。

令和5年度は、常設展示室の中央スペースを利用し、平成及び令和の時代に活躍する青森県ゆかりの作家たちからピックアップして拡大展示する「平成・令和の作家」を開催した。

イ 特別展・企画展の開催

企画展示室では、特定のテーマを設けて特別展・企画展を開催しており、開館以来、令和5年度までに計112回の特別展と企画展を開催した。

a 特別展「あおもりのえほん」

三戸町出身の漫画家・馬場のぼるによる絵本「11ぴきのねこ」シリーズをはじめとして、作家や児童文学者、漫画家、芸術家など、様々な分野で活躍する青森県出身者が絵本を作成している。そのような「青森に関わりのある絵本」を紹介した。

b 企画展「あもり文学食堂」

いつの時代も生活の中に必ず存在するのが「食」であり、文学作品にも少なからず食事に關わる場面が登場する。「食」という観点から作品や作家を捉えることで、その作品や作家の背景となっている「生活」や「郷土」、「食文化」といった、本質的な部分を垣間見ることができる。「食」という切り口から、青森に關わる作品、作家が好きだった食べ物や行きつけの店、作家や作品をモチーフにした食品などを紹介した。

ウ 各種展示・コーナーの設置

「近代文学ガイドコーナー」では、DVD(約18分)で、明治以降の青森県の文学の流れを解説しており、AVブースでは、青森県ゆかりの作家の業績や作品の世界、分野、地域、時代等特定のテーマで、1本15分~20分のDVD計38作品を鑑賞することができる。

また、展示ギャラリーには、13人の作家が青森県について語った文章と風景写真を組み合わせ「文学ギャラリー 作家が語る青森」パネルを展示した。

エ パネル展の開催

特別展・企画展の内容を再構成したパネル展を、文化施設や作家にゆかりの地域の高等

学校など、延べ13回開催し、若い世代や遠隔地の県民に観覧の機会を提供した。

ウ 文学活動の環境づくり

ア 特別展関連イベント

特別展を記念して、絵本の講演会、劇場アニメ「11ぴきのねこ」上映会、「あおもりのえほん」おはなし会を実施し、参加者は177人であった。

イ 文学ゼミの開催

特別展や企画展の開催に併せて、当館職員による「あおもり文学ゼミ」を開催し、出品資料や展示内容に対する理解を深めてもらう機会を提供した。令和5年度は、1回開催し、参加者は17人であった。

ウ 出前講座

職員が依頼を受けて学校等に出向き、青森県の近代文学についての講義を行う出前講座を2回実施し、参加者は46人であった。

印刷物の発行

印刷物の名称	摘 要
要覧	令和5年度版
青森県の図書館	令和5年度版
青森県立図書館報	第46号～第48号（年3回発行）

分類別資料受入冊数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	開架資料	一般資料	349	363	826	2,135	873	952	490	968	186	2,002	0	0	0	9,144
		児童資料	18	14	55	112	142	111	54	84	19	381	964	50	0	2,004
		参考資料	18	4	19	75	13	14	23	26	4	4	0	0	0	200
		郷土資料	36	3	143	272	49	68	84	57	2	13	0	0	0	727
		個人文庫等資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	421	384	1,043	2,594	1,077	1,145	651	1,135	211	2,400	964	50	0	12,075
	書庫資料	一般資料	309	18	140	349	65	34	101	128	16	328	0	0	0	1,488
		児童資料	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	30	4	0	40
		参考資料	3	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12
		郷土資料	706	37	296	1,001	239	157	226	290	13	911	0	0	0	3,876
		個人文庫等資料	0	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	0	0	10
		計	1,018	56	436	1,359	304	191	328	426	29	1,245	30	4	0	5,426
	図書資料計			1,439	440	1,479	3,953	1,381	1,336	979	1,561	240	3,645	994	54	0
非図書資料			92	6	66	104	32	8	48	20	0	90	0	0	0	466
電子書籍			20	18	66	209	40	28	30	51	9	95	0	0	0	566
本館資料計			1,551	464	1,611	4,266	1,453	1,372	1,057	1,632	249	3,830	994	54	0	18,533
近代文学館資料																9,283
協力用資料																4,612
図書館資料計																32,428

分類別所蔵資料冊数（令和6年3月31日現在）

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	開架資料	一般資料	3,949	5,606	9,880	24,271	8,778	10,978	6,901	9,045	2,767	26,845	0	0	0	109,020
		児童資料	505	280	1,304	1,626	2,540	1,034	706	1,161	450	7,320	10,454	727	0	28,107
		参考資料	662	341	1,095	735	548	298	238	627	434	536	0	0	0	5,514
		郷土資料	756	110	2,766	2,237	423	555	856	669	60	243	0	0	0	8,675
		個人文庫等資料	626	4	104	24	13	9	11	604	0	2,196	0	0	0	3,591
		計	6,498	6,341	15,149	28,893	12,302	12,874	8,712	12,106	3,711	37,140	10,454	727	0	154,907
	書庫資料	一般資料	54,765	22,150	48,941	124,954	40,535	38,788	38,441	48,984	9,572	97,624	0	0	0	524,754
		児童資料	1,008	318	1,918	2,149	5,282	1,546	674	1,972	513	15,954	18,704	1,039	0	51,077
		参考資料	2,049	181	1,074	3,567	666	884	1,076	832	479	470	0	0	0	11,278
		郷土資料	17,814	2,054	14,097	46,247	7,122	6,824	18,647	11,135	468	38,012	0	0	0	162,420
		個人文庫等資料	6,579	2,453	10,424	14,260	1,041	466	6,983	1,779	1,717	6,933	1	0	9,302	61,938
		計	82,215	27,156	76,454	191,177	54,646	48,508	65,821	64,702	12,749	158,993	18,705	1,039	9,302	811,467
	図書資料計			88,713	33,497	91,603	220,070	66,948	61,382	74,533	76,808	16,460	196,133	29,159	1,766	9,302
非図書資料			4,129	66	10,725	2,302	310	496	1,368	2,491	102	918	0	0	719	23,626
電子書籍			44	144	149	735	218	187	146	270	40	336	0	0	0	2,269
本館資料計			92,886	33,707	102,477	223,107	67,476	62,065	76,047	79,569	16,602	197,387	29,159	1,766	10,021	992,269
近代文学館資料																176,230
協力用資料																49,777
図書館資料計																1,218,276

4 令和5年度事業の実績

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

[趣 旨]

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

[概 要]

図書セットの内容		利用対象	前 期		後 期	
			配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
1 市町村 村内巡回図書 セット	小学校	低学年	41	3,340	40	2,340
		中学年	43	3,480	41	2,300
		高学年	40	3,440	40	2,340
	中学校	中学校	15	760	15	660
	読み聞かせ絵 本児童書等 (4)大型絵本	幼稚園・保育所等	55	6,780	50	3,000
2 学習支援セット	幼稚園・保育所等	小・中学校、高等 学校、特別支援学 校、市町村立図書 館等	8	647	7	470
		市町村立図書館 等(一部、高等学 校・特別支援学校 を含む。)	30	872	19	538

読書パラフリー推進事業

[趣 旨]

視覚障がい者等さまざまな障がいのある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデジジー図書等のアクセシブルな書籍の購入や拡大鏡等の読書パラフリーのための機器・用具を整備する事業である。

[概 要]

アクセシブルな書籍の購入及び新しい用具の整備
耳マーク及び補助犬マークの導入

近代文学館 特別展開催事業

[趣 旨]

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

[概 要]

名称：特別展「おもりのえほん」

会期：7/1(土)～10/9(月・祝)

内容：展示、特別展イベントを実施する。

展 示 三戸町出身の漫画家・馬場のぼるによる「11びきのねこ」シリーズをはじめ

として、作家や児童文学者、漫画家、芸術家など、様々な分野で活躍する青森県出身者が絵本を作成している。そのような「青森に関わりのある絵本」を紹介する展示を開催。

展示資料数：278点

来館者数：3,749名

特別展イベント

特別展と青森県の文学に関心を持ってもらうことを目的として、特別展のテーマに関連したイベントを開催。

ア 絵本の講演会

内容：講演「心とことばを育てる絵本の力 親子の時間を楽しむために」
絵本がこどもに与える影響や絵本の魅力を伝えるため、三戸町出身の漫画家・馬場のぼるの担当を22年間務めた、元こぐま社編集長の関谷裕子氏による講演を実施した。

講師 関谷 裕子 氏(元こぐま社編集長)

日時：7/29(土) 14時～15時30分

場所：県立図書館集会室

参加者数：31名

イ 劇場アニメ「11ぴきのねこ」上映会

内容：昭和55年に公開された劇場アニメ「11ぴきのねこ」(16mmフィルム)の上映会。

日時：7/30(日) 14時～15時30分

場所：県総合社会教育センター大研修室

参加者数：111名

ウ 「あもりのえほん」おはなし会

内容：稲葉千秋氏による絵本「11ぴきのねこ」の読み聞かせと、青森南高校JRC部によるオリジナル絵本の読み聞かせを交え、「あもりのえほん」について紹介した。

出演 稲葉 千秋 氏(青森朝日放送アナウンサー・三戸町ふるさと応援大使)

県立青森南高等学校JRC部

日時：8/6(日) 14時～15時

場所：県立図書館集会室

参加者数：35名

近代文学館 企画展開催事業

[趣 旨]

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

[概 要]

名称：企画展「あもり文学食堂」

会期：12/7（木）～3/10（日）

内容：展示、企画展イベントを実施する。

展 示 生活の中に必ずあるものが食であり、文学作品にも少なからず食事に関わる場面が登場する。「食」という観点から作品や作家を捉えることで、その作品や作家の背景となっている「生活」や「郷土」、「食文化」といった、本質的な部分を垣間見ることができる。「食」という切り口から青森に関わる作品や作家を紹介する展示を開催。

展示資料数：282点

来館者数：2,388名

企画展イベント

企画展と青森県の文学に関心を持ってもらうことを目的として、企画展のテーマに関連したイベントを開催。

あおもり文学ゼミ

内容：講演「あおもり文学食堂」

青森県ゆかりの作家の食についてのエピソードなど、企画展の内容について詳細に解説。

日時：1/7（日）14時～15時

場所：県立図書館研修室

参加者数：17名

アウトリーチサービス推進事業

[趣 旨]

心身に障がいがあるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

[概 要]

登録者数：18名(うち新規登録者数4名)

貸出：件数158件 / 冊数835点

県立図書館資料整備

[趣 旨]

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

なお、令和3年度から電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

[概 要]

受入資料数(R5/4/1～R6/3/31)

区分	受入資料数
県立図書館(本館)	18,533冊
(うち電子書籍)	(566冊)
市町村等協力用	4,612冊
近代文学館	9,283冊
合 計	32,428冊

図書館利用状況(R5/4/1～R6/3/31)

図書館利用者数	226,331名	
近代文学館利用者数	39,283名	
年間利用資料数	一般閲覧室	145,263冊
	児童閲覧室	58,082冊
	オンライン貸出	11,492冊
	新聞未合冊等	17,978冊
	アウトリーチ(全体の内数)	(835冊)
	市町村一括(協力)貸出等	44,713冊
	計	232,815冊
年間登録者数	新規登録者数	2,446名
	総登録者数	8,685名

アウトリーチサービス：
身障者等への配本サービス。

それぞれの登録者数には、
アウトリーチ登録者数を含む。

市町村立図書館等への貸出の状況(R5/4/1～R6/3/31)

市町村一括(協力)貸出等	44,713冊	
相互貸借 (県立図書館からの貸出)	県内市町村立図書館等	3,473冊
	県内大学等図書館	121冊
	県外公共図書館・大学図書館等	579冊
	計	4,173冊

市町村立図書館等職員研修事業

[趣 旨]

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的に、初任者研修、基本研修及び学校図書館支援研修等を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために図書館相互協力事業等担当者会議を開催する事業である。

[概 要]

図書館相互協力事業等担当者会議

ア 開催日	5/18(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 参加者	市町村立図書館等職員29名
エ 内容	県立図書館と市町村立図書館等の間で行われる相互協力事業に関する説明、情報交換会

初任者研修

ア 開催日	6/7(水)～6/8(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	勤務経験が2年以内の図書館・公民館等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員
エ 参加者	1日目：市町村立図書館等職員20名、学校図書館業務担当職員13名 2日目：市町村立図書館等職員19名、学校図書館業務担当職員9名
オ 内容	図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための研修 「講話、関係法規、公共図書館・学校図書館の現状と課題、資料管理、読書バリアフリー法関係の取組等、児童サービス、グループワーク」

基本研修

ア 開催日	7/12(水)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員38名、学校図書館業務担当職員6名、その他2名
オ 内容	テーマ「レファレンス・サービス基礎のきそ～利用者の知りたいココロに応えるために～」
カ 講師	くにたち中央図書館 藤村 せつ子 氏

市町村立図書館等職員ステップアップ研修兼学校図書館支援研修

ア 開催日	11/30(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員23名、学校図書館業務担当職員5名、その他5名
オ 内容	テーマ「誰もが読書のできる社会を目指して」
カ 講師	専修大学 教授 野口 武悟 氏

2章 県立少年自然の家

1節 梵珠少年自然の家

1 施設・設備

施設

名 称	青森県立梵珠少年自然の家	
所 在 地	青森県五所川原市大字神山字殊ノ峰117 - 602	
設 置 年 月 日	昭和46年 8月 1日	
敷 地 面 積	6,514.42㎡	
建 物 面 積	2,196.35㎡	
構 造	鉄筋コンクリート2階建、体育館鉄骨平屋建	
収 容 人 員	160人	
屋 内 施 設	研 修 棟	研修室1(60人)、研修室2(60人)、和室、身体障害者用宿泊室兼医務室
	宿 泊 棟	宿泊室13(14人用2室、12人用11室)、指導者室1(5人用)
	体 育 館 (兼大研修室)	バレーボール(1面)、バスケットボール(1面)、バドミントン(2面)、卓球台(4台)、研修(160人)
屋 外 施 設	屋 外 施 設	キャンプセンター(120人)、キャンプ場、営火場、つどいの広場、星見の広場
	そ の 他	車庫

設 備

視 聴 覚 用 具	液晶プロジェクター、ビデオデッキ、CDラジカセ、ポータブルアンブ、テレビ、スクリーン
自 然 観 察 用 具	天体望遠鏡、双眼鏡等
野 外 活 動 用 具	スノーシュー、6人用ドームテント、タープテント、ロールマット、シュラフ、炊事用具一式、火起こし体験用具一式、無線機
レクリエーション ス ポ ー ツ 等	バレーボール用具一式、バスケットボール用具、バドミントン用具一式、ユニホック用具一式、卓球用具一式、ディスクゴルフ用具、チャレンジ・ザ・ゲーム用具等

2 運営の方針と重点

方針

少年たちが、恵まれた自然の中で、多様な体験活動を行うことにより、豊かな感性、社会性、創造性等を培い、自ら学び、考え、行動する、社会を生き抜く力の養成が図れるよう諸条件を整備し、魅力ある活動の場や機会の提供に努めます。

重点

利用の促進

ア 主催事業の充実

- ・魅力あるプログラムの開発と提供
- ・ボランティアの養成と活用

イ 受入事業の促進

- ・多様な利用体系への対応
- ・幼稚園・保育園・社会教育団体の利用促進

支援体制の充実

ア 自然体験活動支援の充実

イ 指導者研修の充実

ウ ホームページ等による情報提供の充実

活動プログラムの充実

ア 発達段階に対応した活動プログラムの開発

イ 自然環境を活用した活動プログラムの開発

ウ 郷土の素材を活用した活動プログラムの開発

安全管理の徹底

ア 定期的な施設整備・活動エリアの安全点検の実施

イ 緊急時における適切な対応の徹底

ウ 給食における衛生管理の徹底

施設設備の充実

ア 施設設備の保守と計画的な整備

イ 活動エリアの保守と整備

3 令和5年度主催事業の実績

看板事業

[趣 旨]

小学生から中学生までの幅広い年代の「子ども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣の確立や仲間と協力しようとする態度を育てていく事業である。

[概 要]

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
9歳チャレンジキャンプ～ひとりできるぞ～	7/15(土)～ 7/17(月)	小学3年～小学 4年の児童	24名	ダンボール基地作り、野外活動(アドベンチャーゲームほか)、キャンドルサービス、炊事体験、思い出クラフト
夏の7daysキャンプ～自転車と川下りで仲間とともにゴールを目指す真夏のチャレンジ!～	8/5(土)～ 8/11(金)	小学5年～中学 3年の児童生徒	20名	自転車隊列移動、ラフティング、トレッキング、テント泊、野外炊事、りんごもぎ体験、花火大会、煎餅焼き体験、思い出クラフト
冬の3daysキャンプ～かまくら基地をつくって冬を楽しもう～	1/12(金)～ 1/14(日)	小学4年～中学 2年の児童生徒	25名	かまくら基地作り、野外活動(チューブそり、スノーシューハイク)、屋内活動(館内QRゲーム)、炊事体験、思い出クラフト
7歳わんぱくキャンプ～寒さに負けないぼんじゅキッズの冬遊び～	2/17(土)～ 2/18(日)	小学1年～小学 2年の児童	29名	ぼんじゅスノーランド作り・遊び、屋内活動(ぼんチャレンジピック)、炊事体験、思い出クラフト

養成事業

[趣 旨]

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催を通して、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[概 要]

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/14(金) (個別研修会) 利用日の14 日前までに 実施	令和5年度利用予 定団体の引率者	(全体会) 33名	(全体会) 講義、説明、活動プログラム 体験(野外活動、屋内活動、創 作活動)

<p>自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー</p> <p>【必修】 入門セミナー ふりかえりセミナー 実践レポート</p> <p>【選択】 9歳チャレンジキャンプ 夏の7daysキャンプ 冬の3daysキャンプ 7歳ワンソウキャンプ</p>	<p>実施日は各事業を参照 5/13(土) 3/9(土)</p>	<p>高校生及び大学生</p>	<p>36名 14名 8名 12名 5名 6名 12名</p>	<p>各事業は実施期間に応じて単位が付与されており、7単位以上取得したものは「ぼんじゅマスターボランティア」、10単位以上取得したものは「指導補助員」としてそれぞれ認定する。</p> <p>【対象事業での活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管轄グループの活動支援、グループメンバーの体調管理及び安全管理 ・自主企画立案と運営 ・キャンプ等の野外活動における、基本的な知識や技術を習得するための研修や施設ボランティアとしての連携を深めるための実習
<p>ぼんじゅ出前講座</p>	<p>通年実施 【各回即日】 直接指導は11月～3月のみ</p>	<p>小・中学校、各種学校、青少年教育団体、幼児施設等</p>	<p>2,008名</p>	<p>対象の団体が開催する各種行事(事業)において、直接指導又は間接指導を行う。</p> <p>なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。</p>

親子事業

[趣 旨]

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動を通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

[概 要]

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
春を楽しむサンday～ 五感を使って、春の自然を楽しく学ぼう～	4/29(土)	小・中学生を含む保護者とその家族	145名 (39家族)	野外活動(春の自然観察)、 野外炊事(カートンドック)、 創作活動
ファミリースプリング キャンプ～家族で初めての キャンプ体験をしてみませんか～	5/27(土)～ 5/28(日)		76名 (21家族)	テント泊、野外炊事(ダッチ オープン料理、ライスクック カー料理)、野外活動、キャン プファイヤー体験、創作 活動
自然体験ぼんじゅフェ スタ～学・創・食・遊の 体験ブースで梵珠の秋 を満喫しよう～	10/22(日)		87名 (27家族)	ダッチオープン体験、ホット サンドメーカー体験、た き火・火起こし体験、本格 ライス作り体験、創作プロ グラム体験、遊びリンピ ック、自然ふれあいハイク、館 内食体験、セルフカフェ

冬をいどるクラフトday～クリスマス・お正月飾りを親子でつくろう～	12/10(日)		100名 (27家族)	クラフト 「ミニ門松」 クラフト 「森の羽子板」 クラフト 「クリスマスフォトフレーム」 クラフト 「クリスマスきになる木」 その他、昼食提供やセルフカフェの開設あり
冬を楽しむホワイトday～親子で白銀の世界へとびだそう～	2/4(日)		76名 (23家族)	野外活動 (ミニ雪灯籠作りなど選択活動)、館内炊事、野外活動 (チューブそり遊びなど自由活動)

学習・生活習慣支援事業

【概要】

小学生から中学生までの「子ども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら、主体的に学んだり、規則正しい生活を送ったりする活動をととして、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的態度を育てていく事業である。

【趣旨】

活動名	期日	対象	参加者数	内容
ぼんじゅネイチャー クラブ	7/22(土) 8/19(土) 10/14(土) 11/18(土)	小学3年～小学 6年の児童	13名 10名 4名 4名	カブトムシシトラップ、ホタル観察 水中生物の観察 秋の植物観察 ネイチャークラフト作り
ぼんじゅウィンター スクール	12/25(月)～ 12/27(水)	小学4年～中学 2年の児童生徒	11名	学習タイム、館内食、歯みがきタイム、野外活動タイム(雪灯籠作り、スノーシューハイク、雪上運動会)、フリータイム

2 節 種差少年自然の家

1 施設・設備

施設

名 称	青森県立種差少年自然の家	
所 在 地	青森県八戸市大字膠町字膳並平 2 - 26	
設 置 年 月 日	昭和50年12月 1 日	
敷 地 面 積	65,976.73㎡	
建 物 面 積	3,487.71㎡	
構 造	鉄筋コンクリート 2 階建 但し体育館棟鉄骨平屋建	
収 容 人 員	200人	
屋 内 施 設	研 修 棟	統括室、事務室、会議室、医務室、食堂、ホール、大ホール(大研修室、200人)、小ホール(小研修室、50人)、自然観察室(50人)
	宿 泊 棟	宿泊室26(車椅子利用者対応3人用2室、8人用24室)、リーダー室(2、和室)、浴室2、トイレ4、車椅子利用者対応トイレ1
	プレーホール (体 育 館)	バレーボール(1面)、バドミントン(2面) 648.90㎡ 移動式バスケットゴール2
屋 外 施 設	屋 外 施 設	キャンプセンター、炊事場、営火場(2)、うんどろ広場、トイレ
	そ の 他	つどいの広場、あそびの広場、なかよし広場、自然観察林、常設テント(13張、5~10月)電気室、車庫、ライフジャケット乾燥室、活動資材置場、倉庫

設 備

視 聴 覚 用 具	C Dプレーヤー、MDプレーヤー、液晶プロジェクター、デジタルカメラ、ポータブルワイヤレスアンプ、実物投影機
自 然 観 察 用 具	顕微鏡、双眼実体顕微鏡、天体望遠鏡、双眼鏡、星座早見盤、クリノメーター、磯の生物観察用具、野山の生物観察用具、魚釣り用具、救命胴衣、懐中電灯、フィールドスコープ
体 育 用 具	卓球台、バレーボール用具、バドミントン用具、肋木、グラウンドゴルフ用具、デジタルタイマー
野 外 活 動 用 具	放送機、簡易無線機、テント、シュラフ、炊事用具
レ ク リ エ ー シ ョ ン ス ポ ー ツ 等	ソフトバレーボール用具一式、バドミントン用具一式、卓球用具一式、フリスビーゴルフ用具、昔遊び用具、ノルディックポール、フロアカーリング、キンボールスポーツ用具一式、室内用ベタンク2セット、ヒットだターゲット、バグジー、モルック2、ミニモルック1、卓球バレー2、ラダーゲッター

2 運営の方針と重点

基本方針

少年たちが、豊かな自然の中でのびのびと体験活動をすることにより、自然と人間のかかわりを理解しながら、生きる力を養うことをめざす。

重点事項

利用団体の主体的活動を促進するために、引率指導者との連携強化を図る。

活動プログラムの開発と見直しを推進する。

主催事業及び自主事業の充実を図る。

教育環境整備と安全確保に努める。

学校・地域・教育関係団体・民間団体との連携強化を図る。

学校・教育機関・団体・報道機関等への資料提供と積極的な広報活動に努め、利用の促進を図る。

職員研修の充実を図る。

3 令和5年度事業の実績

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典)

[趣 旨]

年長児・小・中学生が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

[概 要]

自然と遊ぼう

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容	
たねさしワールド 「春を感じて」	5/14(日)	年長児・ 小・中 生と その 保護者	97名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他	
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」 4回開催	7/1(土)		119名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト作り、磯遊び 他	
	7/2(日)		113名	9/2、9/3は荒天のため、館内活動となった。実施内容は、ニュースポーツ、キーホルダーづくり、海の創作活動 他	
	9/2(土)		108名		
	9/3(日)		133名		
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/15(日)		109名	秋の自然を楽しもう ・フィールドビンゴ、モビール制作 他	
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 2回開催	12/2(土)		56名	・クリスマスリースづくり	
	12/3(日)		71名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」 2回開催	2/3(土)		4歳以上の 幼保・ 小・中 生と その 保護者	109名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、せんべい焼き、ぐにやぐにゃ風あげ、こま回し 他
	2/4(日)		119名		
たねさしワールド 「こども大作戦」 2回開催	2/24(土) ~25(日)	小学3年 ~4年	116名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、レクリエーション、夜の森探検、創作活動 他	
	3/2(土) ~3(日)	小学1年 ~2年	120名		

子どもの祭典

事 業 名	期 日	対 象	参加人数	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/29(土) ~30(日)	小学5年 ~ 中学3年	37名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー
おいでよ! サマーキャンプB	8/5(土) ~6(日)		24名	・追跡ハイキング ・火おこし体験 他
わくわくどきどきウ インターキャンプ	12/25(月) ~27(水)		26名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・星空観察 ・ボンファイヤー ・発見ウォーク ・花炭づくり 他

自然体験活動支援事業

[趣 旨]

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[概 要]

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 * 6～9月 は原則として 実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童 館、公民館、放課 後児童クラブ、青 少年団体や成人団 体 等	155団体 13,519名	種差少年自然の家のプログラムの 中で出前対応可能なもの(せんべ い焼き、フォトフレーム、どんぐ りアート、動物マグネット、たね さし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	6/3(土) ～4(日)	小学校・特別支援 学校教諭、市町村 教育委員会職員、 高校生、ボラン ティアの会 他	68 (34)	ネイチャーゲーム、ツリークライ ミング、ランタン作り、ナイトハ イク、野外炊事、避難・救助訓練 (海活動)、AED操作法 他

在学少年宿泊指導者研修

[趣 旨]

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

期日：4/27(木)～28(金)

場所：種差少年自然の家

対象：令和5年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

[概 要]

講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業

[趣 旨]

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族及び小・中学校の教員を対象に行う研修事業である。

[概 要]

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/23(土) ～24(日)	幼・小・中学生と 保護者、市立公民 館長	84 (42)	・人命救助システムについて ・防災講話 ・テント設営 ・炊き出し体験 ・救命入門コース講習会

3章 青森県総合社会教育センター

1 施設・設備

施設

所在地	青森市荒川字藤戸119 - 7
設置年月日	平成元年7月1日
敷地面積	16,815m ²
建物延床面積	7,053m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階
研修室	大研修室、第1研修室～第10研修室
実習室	和室、調理実習室、第1工作室、第2工作室、教材編集室、第1多目的研修室、第2多目的研修室、第1～3教材開発室
その他	ラーニングスペース、学習情報サービス室、学習相談室、保健室、ほのぼのルーム、団体連絡室、情報処理室、視聴覚ライブラリー

設備(主なもの)

学習情報サービス室(ありず)	ビデオ教材、DVD教材、インターネット端末
教材編集室	モニターテレビ、編集・調整機器一式、VHSデッキ、カムVT R編集機、ダビング装置一式
第1教材開発室	プロジェクター、実物提示装置、モニターテレビ、DVDプレイヤー
第10研修室	パーソナルコンピュータ、プリンタ、サーバー
視聴覚ライブラリー	スライド映写機、モニターテレビ、DVDプレイヤー、16ミリフィルム教材
共用機器	テレビ、VHSプレイヤー、OHP、ビデオプロジェクター、アン プ、DVDプレイヤー、DVDレコーダー、ブルーレイプレイヤー、 ブルーレイレコーダー
情報処理室	サーバー、パーソナルコンピュータ
第1工作室	糸のこ盤、グラインダー、木工具
第2工作室	金工具、土練機、ろくろ

2 運営の方針と重点

青森県総合社会教育センターは、社会教育の充実振興を図り、県民の生涯にわたる学習意欲の高揚と学習活動の進展に資するため、市町村及び関係機関・団体と連携しながら、次の事業を総合的に実施する。

人 財 育 成

地域を支える人財の育成

次代を担う青少年の育成

教育活動支援

地域学校協働活動の促進

家庭教育支援の充実

地域によるキャリア教育支援の充実

市町村・団体支援

生涯学習・社会教育関係職員等の養成と資質向上

学習情報等の充実

生涯学習活動支援

県民の学習活動への支援

県民の社会参加活動への支援

施 設 提 供

研修施設・視聴覚機材の提供

3 事業内容

概 況

センターは、人財育成、教育活動支援、市町村・団体支援、生涯学習活動支援の4区分により事業を実施した。

人財育成は、地域を支える人財や次代を担う青少年を育成するため、受講者の実践活動を含め専門的・実践的な研修を行った。

教育活動支援は、家庭や地域の教育力の向上を図るため、地域づくりや家庭教育支援の人財育成に関する専門的・実践的な研修を行った。

市町村・団体支援は、生涯学習・社会教育関係職員の資質向上及び社会参加活動を推進するため、生涯学習・社会教育に関する専門的な研修や社会参加活動支援機関の研修と情報交換を行った。

生涯学習活動支援は、県民の学習活動や社会参加活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供、学習相談を行うとともに、今日的課題や生涯の各時期における課題に対応した学習講座を行った。

相談状況
生涯学習相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数(計)		17	14	9	3	6	7	10	9	7	2	12	5	101
相談者	個人	2	3	1	2	6	7	9	7	6	1	12	4	60
	機関	10	9	8	1					1				29
	団体	5	2					1	2		1		1	12
形態	窓口		4	2	1	2	3	4	9	2	1	8	4	40
	電話	17	10	5	1	2	3	5		5	1	3	1	53
	FAX													0
	郵便													0
分野	Eメール			2		2	1	1						6
	その他				1							1		2
	人材	1		4										5
	学習機会	5	1	2			1	3		2			1	15
別	施設													0
	教材						1	1	1			4		7
	学習プログラム					3	2		3					8
	団体サークル		1											1
別	資格					1	1							2
	調査研究													0
	活動		2					1			1			4
その他	11	10	3	3	2	1	6	5	4	2	8	4	59	

分類別

	個人 60					機関 29					団体 12					総計 101									
	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール	そ の 他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール	そ の 他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール	そ の 他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール	そ の 他	
計	33	21	0	0	4	2	3	24	0	0	2	0	4	8	0	0	0	0	40	53	0	0	6	2	101
人材						2				2			1						2	1	0	0	2	0	5
学習機会	3	5			1		5					1							4	10	0	0	1	0	15
施設																			0	0	0	0	0	0	0
教材	5	1											1						5	2	0	0	0	0	7
学習プログラム	4	1			3														4	1	0	0	3	0	8
団体サークル												1							1	0	0	0	0	0	1
資格		2																	0	2	0	0	0	0	2
調査研究																			0	0	0	0	0	0	0
活動	2	2																	2	2	0	0	0	0	4
その他	19	10			2	1	19						2	6					22	35	0	0	0	2	59

家庭教育相談

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計									
電話・メール別		電話 3	メール 1	電話 1	メール 0	電話 4	メール 0	電話 3	メール 0	電話 2	メール 0	電話 1	メール 0	電話 1	メール 0	電話 2	メール 0	電話 1	メール 1	電話	メール	面談	合計
来所面談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	2	0	32
月別計		4	1	1	4	4	3	2	6	2	1	1	2	2									
相談者	父		1				1	1												4	0	0	4
	母	2	1		3	4	3	1	4	1		1	1						1	20	2	2	22
	祖父母				1						1									2	0	0	2
対象	本人	1							1	1									1	4	0	4	4
	その他																			0	0	0	0
	乳幼児				1	1		1		1		1								4	0	0	4
対象	小1		1		1						1								2	1	0	3	3
	小2				1														1	1	0	1	1
	小3				1	1													2	0	0	2	2
	小4							1											1	0	1	1	1
	小5																		0	0	0	0	0
	小6				1		1												2	0	2	2	2
	中1	1		1		1	1	1	1				1						6	0	6	6	6
	中2	2	1	1					1					1					1	4	0	4	4
	中3																			0	0	0	0
	高1					1														1	0	1	1
高者	高2								2										2	0	2	2	2
	高3									2									1	2	1	3	3
その他(一般)		1						1					1						3	0	3	3	3
食事	1 母乳・ミルク											1							1	0	1	1	1
	2 食事・離乳食					1														1	0	1	1
計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2
発達	3 身体																			0	0	0	0
	4 ことば																			0	0	0	0
発達	5 性格				1															1	0	1	1
	6 行動					1														1	0	1	1
発達	7 発達障害		1					1	1					1						3	1	4	4
	8 その他																			0	0	0	0
計		0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
養育・しつけ	9 しつけ・習慣																			0	0	0	0
	10 睡眠																			0	0	0	0
	11 排泄																			0	0	0	0
	12 その他				1								1							2	0	2	2
計		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2
疾病等	13 疾病・異常																			0	0	0	0
	14 けが																			0	0	0	0
	15 予防接種																			0	0	0	0
	16 その他(関係機関問合せ)																			0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対人関係	17 友達																			0	0	0	0
	18 家族								1											1	0	1	1
	19 教師																			0	0	0	0
	20 その他									1										1	0	1	1
計		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2
内行動	21 いじめ																			0	0	0	0
	22 虐待									1	1									2	0	2	2
	23 不応(引きこもり等)																			0	0	0	0
	24 不登校		1	1		1	1	1	1				1							6	0	6	6
	25 非行・暴力																			0	0	0	0
	26 反抗						1													1	0	1	1
	27 その他					1	1				1									3	0	3	3
計		0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12
学習・進路	28 態度																			0	0	0	0
	29 不振																			0	0	0	0
	30 勉強法																			0	0	0	0
	31 進学									1										1	1	1	2
	32 就職																			0	0	0	0
	33 その他	1				1														2	0	2	2
計		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	4
心性	34 男女交際																			0	0	0	0
	35 性について																			1	1	0	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	36 情緒不安定																				0	0	0
その他	37 神経症的反応																			0	0	0	0
	38 心身症状																			0	0	0	0
	39 その他																			0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	40 園・学校等への要望	1			1															2	0	2	2
	41 相談者自身(一般)	1																		1	0	1	1
	42 問い合わせ																			0	0	0	0
	43 その他																			0	0	0	0
計		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3

4 施設利用状況

	研修室等利用								学習情報サービス室 (ありす)		ロビー (ラウンジスペース)		総計	累計
	主催事業		個人		団体利用		計							
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	人員	人員	
4月	173	8	40	3	4,061	27	4,274	29	941	29	538	5,753	5,753	
5月	260	12	55	5	3,438	24	3,753	28	818	27	561	5,132	10,885	
6月	301	11	45	4	3,883	29	4,229	30	994	29	660	5,883	16,768	
7月	969	17	40	3	3,502	27	4,511	30	1,026	29	666	6,203	22,971	
8月	180	10	20	2	2,148	21	2,348	25	944	29	780	4,072	27,043	
9月	97	7	71	6	4,058	27	4,226	28	973	28	632	5,831	32,874	
10月	1,083	14	47	5	2,593	25	3,723	29	1,080	29	423	5,226	38,100	
11月	202	12	60	5	3,827	27	4,089	27	1,102	27	420	5,611	43,711	
12月	193	10	43	4	3,289	24	3,525	27	1,049	27	437	5,011	48,722	
1月	95	5	67	4	2,656	23	2,818	25	1,029	26	435	4,282	53,004	
2月	659	9	64	5	3,362	24	4,085	27	1,110	26	401	5,596	58,600	
3月	376	8	99	6	2,712	27	3,187	28	999	29	294	4,480	63,080	
合計	4,588	123	651	52	39,529	305	44,768	333	12,065	335	6,247	63,080		
(昨年度)	(2,910)	(110)	(484)	(50)	(33,771)	(322)	(37,165)	(327)	(12,544)	(337)	(4,492)	(54,201)		

団体利用状況

	団体利用		内 訳													
			社会教育団		学校教育団		学校		大学等		モデル団体等		公共団体		民間団体	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
4月	4,061	27	1,264	16	1,678	16	0	0	0	0	0	0	499	8	620	13
5月	3,438	24	820	19	1,437	17	0	0	0	0	0	0	811	12	370	11
6月	3,883	29	895	17	1,269	22	0	0	0	0	16	1	873	16	830	17
7月	3,502	27	564	17	689	15	200	1	0	0	0	0	1,297	17	752	19
8月	2,148	21	430	11	853	15	0	0	0	0	0	0	580	14	275	11
9月	4,058	27	741	19	1,446	17	0	0	0	0	30	1	977	12	864	18
10月	2,593	25	910	18	320	11	91	1	0	0	95	3	725	11	452	13
11月	3,827	27	1,434	20	943	17	0	0	20	1	0	0	644	8	786	19
12月	3,289	24	983	21	950	14	0	0	0	0	28	2	1,033	16	295	6
1月	2,656	23	582	13	731	15	0	0	0	0	13	1	913	16	417	7
2月	3,362	24	1,123	19	794	14	0	0	0	0	75	1	872	11	498	11
3月	2,712	27	1,182	19	75	7	0	0	0	0	0	0	234	9	1,221	19
合計	39,529	305	10,928	209	11,185	180	291	2	20	1	257	9	9,468	150	7,380	164
(昨年度)	(33,771)	(322)	(9,974)	(222)	(9,112)	(168)	(251)	(7)	(20)	(1)	(422)	(13)	(8,046)	(159)	(5,946)	(196)

5 令和5年度主催事業の実績

人 財 育 成

地域を支える人財の育成

パワフルAOMORI！創造塾

[趣 旨]

地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、地域を担う人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、講義・演習や企画・運営をする事業である。

[概 要]

講座内容

回	期日	内容・講師
1	7/22(土)	【開講式、オリエンテーション】 【講義・演習】「地域(自分)を知る、楽しむ、挑戦する」 講師 NPO法人ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子 氏
2	8/26(土) 8/27(日)	【活 動 紹 介】「地域活動を通して」 紹介者 卒塾生(過去のパワフル参加者) 6名 【演 習】「実践活動に向けて」 コーディネーター 町田 直子 氏
3	9/30(土)	【講義・演習】「地域のよさを伝えるヒント～受信者の立場から」 講師 青森朝日放送ディレクター (株)トラストネットワー ク青森事業部主任 山内 さおり 氏 【実 践 活 動】「実践活動に向けて」 コーディネーター 町田 直子 氏
4	10/21(土)	【講義・演習】「地域活動のやりがいと楽しさ」 講師 フリーランスタレント 平沼 日菜子 氏 【演 習】「研修成果に係る発表会に向けて」
5	12/2(土)	【発 表】「研修成果に係る発表会」 講評者 町田 直子 氏 【閉 講 式】
実践 活動	11/25(土)	【実 践 活 動】「 - できた！を応援 - ちゃれんじラボ」 於 八戸市種差少年自然の家

場所

県総合社会教育センター

参加者

塾生17名

内訳：(年代別) 10代1名、20代6名、30代2名、40代5名、50代3名

(地域別) 東青地域9名、西北地域2名、中南地域3名、上北地域1名、三八地域2名

(職種別) 会社員・自営業8名、公務員3名、学生4名、その他(主婦等)2名

元気青森人を創造するeラーニング推進事業

[趣 旨]

県民の誰もが、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材を配信するため、各種学習教材の管理を行うとともに、配信に要するサーバ機器等を維持管理する事業である。

[概 要]

インターネットによるeラーニング学習教材の配信

ア	元気青森人PowerUpコンテンツ	計	92本 (アクセス件数: 305件)
	ア はたらく心		92本
イ	あおもり学インターネット講座	計	21本 (アクセス件数: 892件)
	ア あおもリエトセトラ		6本
	イ 青森県の先人		1本
	ウ 青森県の山		7本
	エ わがふるさと		7本
ウ	あおもり子育てネット	計	39本 (アクセス件数: 5,263件)
	ア 子育て動画		39本
	サーバ機器等維持管理		

次代を担う青少年の育成

青森で生きる未来人財育成事業

[趣 旨]

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われるボランティア活動に派遣し、異年齢交流などの多様な体験活動に参加させる事業である。

[概 要]

ボランティアチーム養成講座の実施

異年齢交流などの多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。

	実施日時	内容・講師	受講者数	動画再生回数
1	6/11(日) 14:00~15:00	テーマ:「ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部事業推進課 主事 岩井 雄太郎 氏	67名	110回
2	6/25(日) 14:00~15:00	テーマ:「災害ボランティア」 青森県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理心得 木村 亨 氏	54名	121回
3	7/9(日) 14:00~15:00	テーマ:「国際ボランティア」 JICA青森デスク 国際協力推進員 阿部 翔太 氏	48名	69回

ボランティアチーム員の登録者数及び派遣、コーディネート先

(令和5年度登録者の居住地)

[単位：人]

青森市	蓬田村	五所川原市	つがる市	弘前市	平川市	十和田市
16	1	2	2	6	1	8
三沢市	野辺地町	六戸町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	むつ市
2	1	1	1	1	3	1
東通村	八戸市	三戸町	五戸町	〔計 18市町村〕		
1	14	1	1			

団体名	活動名及び活動内容	回数/人数
青森スポーツクリエイション株式会社	ホームゲーム運営 / 競技運営会場設営・撤去	2/2
農園カフェ日々木	Cars & Coffee in Towada 2023 / 接客・販売	1/4
Family caféあづま～る	Family caféあづま～る / 子育てサロン手伝い	4/4
日本人財発掘育成協会	ギビングツリー / プレゼント受け渡し	1/2
平川市教育委員会	こつこつ教室 / 学習支援	1/1

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業

[趣 旨]

大学生が在学中に専門的な研修(コミュニケーション、コーチング等)を受講し、一定のスキルを獲得した上で、中学生・高校生を対象にワークショップを企画運営してもらい、社会人としての実践力を身につけるための一助とする。

また、中学生・高校生には、ワークショップで、少し年上の大学生と自分の今と将来等について「カタル」ことにより、自分自身と向き合うためのきっかけづくりとする。

ワークショップの開催を通して、参加者全員が自らの夢や目標に向かい、主体的に行動できる人材の育成に繋げるとともに、双方のキャリア形成のサポートに資する事業である。

[概 要]

中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる、大学生によるワークショップ「キャリアサポ」(高校企画)、「Jr.キャリアサポ」(中学校企画)の実施

ア 実施校数 17校(高等学校16校、中学校1校)

イ 参加生徒数 1,988名(高校生1,863名、中学生125名)

ウ 延べ参加大学生数 654名

	期 日	実施校	対象中学生・対象高校生	参加大学生
1	8/22(火)	県立七戸高等学校	1学年(3クラス86名)	32名
2	8/24(木)	県立弘前南高等学校	1学年(5クラス195名)	57名
3	8/25(金)	県立北斗高等学校	2・3学年(9クラス121名)	51名
4	8/29(火)	県立三本木農業恵拓高等学校	1・2学年(7クラス219名)	58名
5	8/31(木)	県立浪岡高等学校	1学年(2クラス18名)	16名
6	9/1(金)	県立大間高等学校	1・2学年(4クラス83名)	30名
7	9/5(火)	野辺地西高等学校	1学年(3クラス45名)	27名
8	9/6(水)	県立大湊高等学校	1学年(4クラス106名)	36名
9	9/8(金)	県立六ヶ所高等学校	1・2学年(2クラス68名)	32名
10	9/11(月)	県立黒石高等学校	1学年(5クラス139名)	46名

	期 日	実施校	対象中学生・対象高校生	参加大学生
11	9/14(木)	中泊町立中里中学校	全学年(5クラス125名)	38名
12	9/19(火)	県立鱒ヶ沢高等学校	全学年(3クラス26名)	21名
13	9/21(木)	柴田学園高等学校	1学年(5クラス165名)	50名
14	2/14(水)	八戸工業大学第二高等学校	1学年(8クラス149名)	40名
15	2/20(火)	県立青森南高等学校	2学年(5クラス186名)	48名
16	2/22(木)	県立青森中央高等学校	1学年(5クラス191名)	44名
17	3/7(木)	県立柏木農業高等学校	2学年(4クラス66名)	28名

オンラインワークショップの実施

ア オンライン企画 11/25(土) 参加大学生69名

全員がオンラインで参加

キャリア形成の支援

ア 大学生会議 4回(5/13(土)、7/16(日)、12/17(日)、3/8(金))

イ 合同研修会(11/24(金)) 参加者11校 14名(高校生スキルアッププログラムと共催)

講演:「未来の大人と未来を創る」

講師: 皇学館大学 現代日本社会学部教授、一般社団法人「未来の大人応援プロジェクト」 代表理事 岸川 政之 氏

事例紹介: 発表者 県立七戸高等学校 実習講師 佐藤 未来 氏

野辺地西高等学校 教諭 太田 智博 氏

ウ 大学生対象研修会の開催

基本研修(計4回) 受講者数 192名

ワークショップ演習(計4回) 受講者数 180名

中学校対応研修(計3回) 受講者数 38名

応用研修(計2回) 受講者数 12名

高校生スキルアッププログラム推進事業

[趣 旨]

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

[概 要]

高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営

合同研修会の実施

「合同研修会」の開催(大学生とカタル!キャリア形成サポート事業と共催)

ア 期日: 11/24(金)

イ 場所: 県総合社会教育センター

ウ 対象: 県内高等学校教員及び高校生スキルアッププログラム担当者、参加を希望する高等学校教員

エ 参加者: 11校 14名

オ 事業説明・情報交換: 県総合社会教育センター職員

評価サービス

参加校数・参加生徒数・奨励証および認定証交付者数

地区	参加校数	参加生徒数	奨励証交付者数	認定証交付者数
東青	9校	743名	14名	21名
西北	4校	485名	2名	2名
中南	3校	186名	6名	6名
上北	2校	24名	1名	4名
下北	3校	1,106名	2名	6名
三八	6校	1,888名	31名	11名
合計	27校	4,432名	56名	50名

県民カレッジとの連携

事業連携によるあおもり県民カレッジ新規入学人数 1,222名

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

〔趣 旨〕

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策の研究を目的として、高校生・大学生・専門学校生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

〔概 要〕

団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)

団体の指定

【社会参加活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	人数
1	キャリアサポートクラブコンソーシアム(キャリアサポ連合)	大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学生とカタル！キャリア形成サポート事業」へのボランティア参加 ・スキル向上イベントの企画 ・県内大学生参加交流会の企画 	718名
2	Lesta(レスタ)	高校 大学	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流活動の企画、運営 ・小中学生対象の学習支援 ・発達障がい等についての研修 	22名
3	青森大学三味線部(あおしゃみ)	大学	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流活動の企画、運営 ・伝統芸能継承活動の企画、運営 ・スキル向上のための練習、講習会 	16名
4	よさこいチーム彩華	大学	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県内のよさこい団体を対象としたイベントの企画、運営 ・異年齢交流活動の企画、運営 ・伝統芸能継承活動の企画、運営 	4名

【創作活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	人数
1	確原色	高校	<ul style="list-style-type: none"> ・青森市内の高校生を主体としたイベントの企画、発表 	9名

団体の活動に対する支援

ア 研修室等使用料の減免

- イ 運営会議・研修・作業等での教材開発室の使用承認
- ウ 発表の場の提供（生涯学習フェア等）
- エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置
- オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介
- カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
- キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整
- ク 協力名義使用の承認（「協力 青森県総合社会教育センター」など）
代表者会議の開催

教育活動支援

地域学校協働活動の促進

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

[趣 旨]

学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携することを目的として、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組みの目的と重要性を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

[概 要]

期日：11/16（木）

場所：県総合社会教育センター

対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員等

受講者数：49名

事業内容

- ア 講 義：地域とともにある学校づくり ～コミュニティ・スクールと地域の未来～
講師 CSマイスター、高校と地域の協働・共創 研究所代表、一般社団法人まなびのみなと代表理事 取贈 宏行 氏
- イ 事例報告：「地域とともにある学校づくり」に向けた県内事例の紹介
県立黒石高等学校、県立森田養護学校
コーディネーター CSマイスター、高校と地域の協働・共創 研究所代表、一般社団法人まなびのみなと代表理事 取贈 宏行 氏

家庭教育支援の充実

あおもり家庭教育力向上事業

[趣 旨]

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する事業である。

[概 要]

あおもり家庭教育アドバイザー養成講座

- ア 場所：県内2地区 中南地区（弘前総合学習センター）

下北地区（下北文化会館）

イ 回数：両地区 6 回

ウ 受講者数（1 回以上の受講者数）：37 名（中北地区 18 名、下北地区 19 名）

エ あおもり家庭教育アドバイザー登録者：15 名（中北地区 8 名、下北地区 7 名）

オ 内容：家庭教育支援講座・演習（全 6 回：6～11 月）

回	開催地区 期日	内 容
1	中北地区 6/15(木)	講義 「家庭教育支援者の心構え」 講師 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美 氏
	下北地区 6/21(水)	講義 「家庭教育支援者の心構え」 講師 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美 氏
2	中北地区 7/11(火)	講義 「子どもをもつ親の気持ち」 講師 スクールカウンセラー 岩田 彩子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
	下北地区 7/25(火)	講義 「子どもをもつ親の気持ち」 講師 スクールカウンセラー 岩田 彩子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
3	中北地区 8/8(火)	講義・演習 「家庭教育支援チーム・子育て団体等参観」 講師 社会福祉法人 清光福祉会 城東保育園 園長 三浦 テツ 氏
	下北地区 8/2(水)	講義・演習 「家庭教育支援チーム・子育て団体等参観」 講師 学校法人星美学園 幼保連携型認定こども園星美幼稚園 園長 關 洋子 氏
4	中北地区 9/7(木)	講義 「子どもの気持ちを理解するために」 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
	下北地区 9/12(火)	講義 「子どもの気持ちを理解するために」 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
5	中北地区 10/19(木)	講義 「今、親が悩むこと～食育～」 講師 柴田学園大学生生活創生学部 健康栄養学科 准教授 今村 麻里子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
	下北地区 10/3(火)	講義 「今、親が悩むこと～食育～」 講師 柴田学園大学生生活創生学部 健康栄養学科 准教授 今村 麻里子 氏 演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
6	中北地区 11/9(木)	演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員
	下北地区 11/15(水)	演習 「あおもり親楽プログラム」 進行 県総合社会教育センター職員

あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座

ア 期 日：9/9(土)9:30~12:15

イ 実施方法：あおもり家庭教育アドバイザーを対象としたオンライン講座

ウ 受講者数：12名

エ 内 容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。

講義 「家族のコミュニケーション」

講師 柴田学園大学生生活創生学部 こども発達学科 助教 萩葉 美紀氏
情報交換

あおもり親楽プログラム普及活動

「あおもり親楽プログラム」を活用した研修会等に、あおもり家庭教育アドバイザーを派遣する。

・派遣数14回 延べ派遣人数28名

あおもり家庭教育アドバイザー登録情報の管理

あおもり家庭教育アドバイザーの活用

家庭教育支援動画制作普及事業

[趣 旨]

子育てに対する不安や悩みを解決する糸口とし、家庭教育の充実を図ることを目的として、子育て情報を動画により発信する事業である。

[概 要]

家庭教育支援動画制作普及委員会の設置

委員

	氏 名	所 属 等
1	川 内 規 会	青森県立保健大学 教授
2	松 谷 泰 英	県教育庁生涯学習課 学校地域連携推進監・課長代理
3	吉 田 圭 子	青森県子ども家庭支援センター 部長 (指定管理者 未来へつなぐネットあおもりグループ)
4	横 岡 千和子	青森県PTA連合会 会長
5	遠 藤 弥 生	あおもり家庭教育アドバイザー

家庭教育支援動画制作普及委員会の開催

ア 6/12(月) 委託業者の審査・選定

イ 2/14(水) 次年度に向けてのテーマ等意見を述べる(書面開催)

家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの制作(委託業者制作)

家庭教育の重要性を広く普及するため、以下の動画やCMを作成した。

ア 虫歯予防 子どものうちから身につけよう!

イ Z世代のネットリテラシー

ウ 「考える力」を伸ばせる子育てスキル

エ 子どもの悩みと心のケア

オ 子どもの体のよりよい成長 ~家庭で楽しく運動~

カ 親子の絆を育む ~絵本の読み聞かせ~

キ 「あおもり子育てネット」CM

家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの放映・配信

12月1日よりYoutubeへの配信を開始し、県総合社会教育センターホームページにも反映した。

12月1日～1月31日の期間、以下の放映・広告を実施した。

ア RAB青森放送にて、毎朝5:50～6:30に、「あおもり子育てネット」CMを計62回放映。

イ YouTubeでの「あおもり子育てネット」CM広告を298,487回表示。

ウ Facebookでの「あおもり子育てネット」CM広告を139,970回表示。

エ Instagramでの「あおもり子育てネット」CM広告を72,709回表示。

あおもり子育てネットのポスター・チラシの制作

あおもり子育てネットに関するポスター・チラシを制作し、県内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校、子育てに関する各関係機関、大型商業施設等へ12月上旬より順次発送し、周知した。

家庭教育相談事業

[趣旨]

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

[概要]

対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族

実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日（祝日・年末年始を除く）13:00～15:00
メール相談・24時間受付

場所：県総合社会教育センター電話相談室

対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について

相談体制：家庭教育相談員が対応

相談件数：32件（電話相談30件、メール相談2件）

地域によるキャリア教育支援の充実

地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業

[趣旨]

地域のこどもたちの望ましい職業観や人生観を育むことを目的として、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者が相互に理解を深め、キャリア教育推進に向けた体制を整備するための研修を行う事業である。

[概要]

学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会

ア 期日・場所：下北地区 6/22（木）むつ市立むつ中学校 受講者31名

西北地区 11/7（火）鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校 受講者40名

イ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員等

ウ 講師：認定NPO法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治 氏

地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム

- ア 期日：10/27(金)
- イ 場所：県総合社会教育センター
- ウ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員、一般県民等
- エ 内容：あおもりキャリア教育応援企業の表彰式、表彰企業による近年の活動状況の報告、講演
- オ 講師：一般社団法人 十勝うらほる^{がくしゃ}楽舎 代表理事 近江 正隆 氏
- カ 参加者：68名
- 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
- ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
登録企業から報告された令和4年度実績の集計結果（令和6年2月調査まとめ）
出前授業：1,305件、職場見学：529件、職場体験・インターンシップ：450件、
その他：340件
登録企業数：734社(令和6年2月現在)
- イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録 13社
- ウ 学校からの依頼に対する仲介 10件

市町村・団体支援

生涯学習・社会教育関係職員等の養成と資質向上

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

[趣 旨]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[概 要]

センター研修（全6回）

	実施日時	場所	内 容	受講者数
第1回	5/11(木) 13:00 ～15:00	県総合社会教育センター	テーマ：「生涯学習・社会教育概論」 講師：岩手県教育委員会 教育委員 新妻 二男 氏	39名
第2回	6/16(金) 13:00 ～15:00	県総合社会教育センター	テーマ：「青少年体験活動の充実」 講師：國學院大學人間開発学部子ども支援学科 准教授 青木 康太郎 氏	25名
第3回	7/5(水) 13:00 ～15:00	県総合社会教育センター	テーマ：「次代の地域を担う若者の育成」 講師：NPO法人「おむすび」 副理事長 大畑 伸幸 氏	21名
第4回	8/22(火) 13:00 ～15:00	県総合社会教育センター	テーマ：「学ぶって楽しい」 講師：Mr.マサックこと 工藤 貴正 氏(県民公開講座として実施)	39名

	実施日時	場所	内 容	受講者数
第5回	10/11(水) 13:00 ~15:00	県総合社会教育センター	テーマ:「障害者の学びの機会充実に向け」 講師:ボランティアサークル「麦の会」 代表 若木 政人 氏	21名
第6回	11/1(水) 13:00 ~15:00	県総合社会教育センター	テーマ:「社会教育関係職員の資質向上」 講師:岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木 勉 氏	10名

地区研修

	実施日時	場所	内 容	受講者数
東青	5/18(木) 13:00 ~15:00	県総合社会教育センター	テーマ:「多様な人々のつながりと新しい技術の活用による生涯学習・社会教育の推進」 講師:弘前大学 教育学部 講師 深作 拓郎 氏	25名
西北	9/22(金) 13:30 ~16:10	つがる市生涯学習交流センター 松の館	テーマ:「地域と防災」 講師:一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子 氏	22名
中南	8/29(火) 13:30 ~16:00	黒石公民館(旧黒石市民文化会館)	テーマ:「異文化共生」 講師:アイビーコンフィグ株式会社 取締役 リー ニョクペン 氏	42名
上北	5/31(水) 14:00 ~16:00	六戸町文化ホール	テーマ:「持続可能な地域づくりに向けた、生涯学習・社会教育関係職員の役割と人材の育成」 講師:日本人財発掘育成協会 理事長 坂本 徹 氏	65名
下北	9/26(火) 13:30 ~16:00	むつ合同庁舎	テーマ:「事業の企画力の向上」 講師:弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英 氏	16名
三八	10/4(水) 13:30 ~15:40	階上町道仏交流センター	テーマ:「地域を活性化させるためのつながりづくり」 講師:いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹 氏	26名

ボランティア関係機関職員養成講座

[趣 旨]

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型の講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

[概 要]

期日:7/7(金)13:00~15:30

場所:県総合社会教育センター

対象:あおもり県民カレッジ連携機関、NPO、ボランティア関係団体、ボランティアに関心のある高校生・大学生、一般県民等

受講者数:会場受講21名、オンライン受講119名、計140人

事業内容

ア 講 義 「今だから、ボランティアそもそも論」

講師：大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長 永井 美佳 氏
 イ 事例発表 ひろさきボランティアセンター ボランティア支援員 鶴見 智之 氏
 NPO法人日本人材発掘育成協会 事務局長 大鷹 依子 氏
 学生団体レスタ 前代表 須藤 優海 氏

学習情報等の充実

学習情報の収集・提供事業

[趣 旨]

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、インターネットにより県民へ提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

[概 要]

学習情報の収集・提供

4情報（学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材）の収集・提供

登録データ件数	学習機会情報	1,999件
	指導者人材情報	138件
	団体・サークル情報	145件
	視聴覚教材情報	6,169件
	計	8,451件

ありすネットアクセス回数	学習機会情報	1,470回
	指導者人材情報	457回
	団体・サークル情報	663回
	視聴覚教材情報	340回
	計	2,930回

サーバ・パソコン機器等維持管理

学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

青森県視聴覚ライブラリー運営事業

[趣 旨]

16mmフィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともに、その活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

[概 要]

生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
 全国視聴覚教育連盟への加入
 視聴覚教材の購入 6本
 視聴覚教材のデジタル化業務 222本

生涯学習活動支援

県民の学習活動への支援

あおもり県民カレッジ運営業務

[趣 旨]

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

[概 要]

あおもり県民カレッジの運営全般

学生募集

ア ポスター、チラシ(入学申込書)による募集

募集チラシを更新、子どもカレッジコースの募集チラシを新たに作成し、各学校等に配布

イ イベント時にあおもり県民カレッジ(子どもカレッジ)コーナーを設置

ウ 各種講座・映画鑑賞会等の開催時に周知

エ 生涯学習情報誌「てのひら」、ホームページ等による周知

学生対応

ア 入学受付(随時)

イ 学生数 29,729名(新規1,676名)

教養学習コース 25,682名

子どもカレッジコース 4,047名

ウ 単位認定サービス

認定証交付件数 268件(教養学習コース168件、子どもカレッジコース100件)

奨励賞交付件数 72件(教養学習コース 28件、子どもカレッジコース44件)

校友会活動支援(中南地区及び三八地区)

あおもり県民カレッジ連携機関との連携・協力

ア 連携機関数:393機関(体験施設93か所を含む)

イ 連携機関連絡会議の開催

県民の生涯学習活動と社会参加活動の活性化に向け、6地区であおもり県民カレッジ連携機関の会議を開催し、地域キャンパス講座、生涯学習フェア、ボランティア活動支援等について意見交換するとともに、連携機関を含めた出席者相互の情報共有の場とする。

地区	日時(令和5年)	会 場	参加機関数
東青	5月24日(水) 13:30~15:30	県総合社会教育センター第1研修室	33
西北	5月26日(金) 13:30~15:30	西北教育事務所1C会議室	5
中南	5月31日(水) 13:30~15:30	中南合同庁舎本館2階会議室	13
上北	6月1日(木) 13:30~15:30	七戸庁舎1階大会議室	8
下北	5月30日(火) 13:30~15:30	下北教育事務所会議室	4
三八	5月29日(月) 13:30~15:30	三八合同庁舎会議室	11

ウ 教育事務所訪問により、あおもり県民カレッジの各地区の状況を説明
普及啓発事業

ア 生涯学習フェアの開催（10/7（土））

参加者：515名

主な内容 オープニング(青森大学三味線部による演奏)

あおもり県民カレッジ認定証交付式

あおもり県民カレッジ公開授業

公演(声優劇団「津軽カタリスト」による参加体験型ドラマリーディング)

学びと体験のひろば(ものづくり体験)

古本交換会

食彩ひろば

イ 子ども向けイベント

ア 夏のこどもまなびフェスタの開催（7/29（土））

参加者：443名

主な内容 オープニング(油川幼稚園園児によるミュージックベル演奏)

巨大糸掛け曼荼羅のおひろめ

「みんなが先生！」ゼミナール

世界でたった一つの宝物をつくろう！

物語を楽しもう！

仲間と一緒に体を動かそう！

イ 冬のこどもまなびフェスタの開催（2/23（金・祝））

参加者：553名

主な内容 ステージ発表(キッズシアタガス / 青森市立篠田小学校合唱クラブ)

「みんなが先生！」ゼミナール

モノを大切に！（おもちゃ病院 / 絵本・児童書交換会）

体験・遊び(スノーランドで遊ぼう！ / アイスクリームを作ろう！ / 青森

市立新城中学校生徒と一緒に遊ぼう！ / タグラグビーを体験しよう！)

子どもカレッジ〇×クイズ

ウ 県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の作成・発行（年6回）

エ 映画鑑賞会開催（毎月1回）

オ ホームページ<https://www.manabi-aomori.com>、フェイスブック、インスタグラムによる情報提供

学習相談・学習情報提供事業

ア 学習相談の実施

窓口、電話、FAX、郵便、メール等による学習相談の受付 相談件数：84件

イ 学習機会情報の収集及び提供

青森県学習情報提供サイト(ありすネット)への学習情報の登録 登録件数：1,637件

ウ マスメディア活用による情報提供

テレビ、ラジオ、新聞を通して、講座、イベント情報や展示内容について告知

学習機会提供事業

ア 地域キャンパス講座（県内6地区）の開催

開催数：計26回（東青4回、西北7回、中南4回、上北3回、下北3回、三八5回）

受講者数：延べ961名

社会参加活動支援

ア ボランティア講師による自主講座の開催 講座数：97講座、受講者数：延べ577名

講師登録数：126名

イ まなびサポーター(各種講座やイベントにおける運営ボランティア)の登録・活動奨励

登録者数29名（内高校生14名）

延べ活動者数：141名

ウ イベント時における高校生・中学生ボランティアの活動奨励

延べ活動者数：113名

ボランティア活動証明書の発行

県民の社会参加活動への支援

インフォメーションプラザありすの運営

[趣 旨]

インフォメーションプラザありす(学習情報サービス室)は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービスの業務を行っている。

[概 要]

窓口対応時間 9：00～19：00

視聴覚教材貸出サービス

ポスター、チラシの配架

学習成果の展示

ア 階段ギャラリー、コリドー展示室、2階展示ギャラリー「画伯のたまご」、ギャラリーありす、1階ロビー等を活用して、多様な作品を展示した。

イ 季節ごとの館内装飾と展示

4章 青森県総合学校教育センター

1 施設・設備

所在地 青森市大字大矢沢字野田80 - 2

敷地面積 40,000㎡ 建物敷地 11,484㎡ 多目的広場等 13,285㎡ その他 15,231㎡

建 物 (鉄骨・鉄筋コンクリート造、4階建、他にピロティ及び塔屋)

延床面積 15,439㎡ (管理研修棟 10,210㎡ 大研修室棟 1,113㎡

体育館棟 1,342㎡ 食堂・宿泊棟 2,774㎡)

管理研修棟 (10,210㎡)

ピロティ階 駐車場 (洪水時の遊水施設)

1 階 (2,837㎡)

[管 理] 所長室、職員室、応接室、講師室、会議室等

[特別支援教育・管理] 相談室、ブレイルーム、検査室、職員室等

2 階 (2,359㎡)

[研修・一般] 中研修室 (70人)、第1～第3研修室 (32人)、

第4～第6研修室 (30人)、第7研修室 (20人)等

[共 用] 図書資料室

[教育相談・管理] 相談室、ブレイルーム、学びの部屋、職員室等

3 階 (2,351㎡)

[研修・情報教育] 応用技術研修室 (40人)、情報教育研修室1 (36人)、情報教育研

修室2 (32人)、情報教育研修室3 (24人)、CAD・CG研修室

(76人)、産業教育研修室 (76人)等

4 階 (2,498㎡)

[研修・実験実習] 音楽・美術・技術・食物・被服・物理・化学・有機化学・生物・

地学研修室、初等理科準備室等

プラネタリウム (26席+補助14席)

走査電子顕微鏡 (35～20万倍まで)

塔 屋 (165㎡)

[研修・実験実習] 天体望遠鏡 (60cm反射望遠鏡)

大研修室棟 (1,113㎡)

大研修室座席 (410席)、控室、ロビー等

体育館棟 (1,342㎡)

アリーナ (バスケットボールコート2面又はバレーボールコート2面又はバドミントン

コート6面)、器具庫、更衣室 (男女別)、体育準備室等

食堂・宿泊棟 (2,774㎡)

[1 階] 食堂 (収容椅子席133人、和室84人)

[2～4階] 宿泊室 (一般用84室、身障者用1室、ゲスト用1室)

多目的広場等 (13,285㎡)

駐 車 場

500台 (ピロティ階220台、屋外280台)

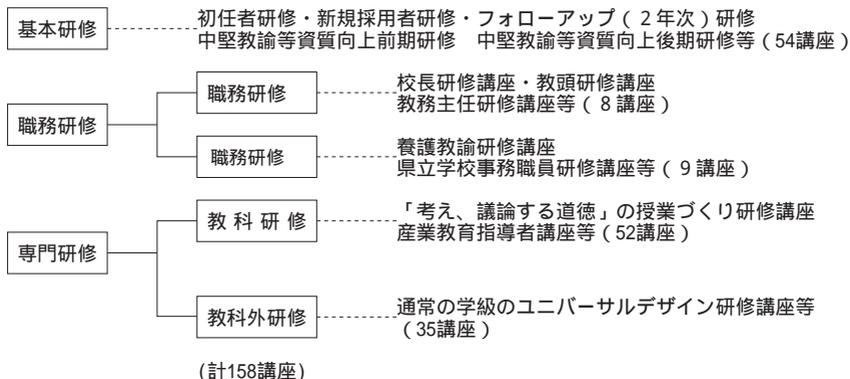
2 運営の方針

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

3 研修事業

概要

青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行った。



実績

基本研修

ア 初任者研修

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
初任者研修 (小学校) 学級経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小62	5/11～5/12	<ul style="list-style-type: none"> 信頼関係を築き上げる学級経営への取組 ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営 望ましい集団へと変容を促す学級担任の取組 学級経営案から考えるこれまでとこれからの学級経営 社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子
初任者研修 (小学校) 学級経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小62	9/7	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における生徒指導とは 教師のメンタルヘルスについて 教育相談の進め方 危機管理を通じた学級経営の見直し
初任者研修 (小学校) 学級経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小61	12/7	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営の評価と改善 学級経営の評価と改善策

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座	令和5年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小62	6/8	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎・基本 ・「主体的な学び」の授業を目指して
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座	令和5年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小62	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力し、実践する学級活動の展開 ・情報モラルの指導について ・児童がよりよく生きるための道徳科の展開
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中47	5/18	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の意義とねらい ・学級経営を支える「道徳科」の授業の在り方 ・生徒や保護者との信頼関係の築き方 ・教師のメンタルヘルスについて
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中47	8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の進め方 ・一人一人を大切にす学級経営 ～いじめ・不登校への対応～ ・一人一人を大切にす学級経営 ～特別支援教育の視点から～ ・学級活動を核とした学級経営
初任者研修 (中学校) 教科等教育 基礎講座	令和5年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中46	6/1～6/2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり ・授業改善に向けて ・社会人としてのビジネスマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・単元計画の作成
初任者研修 (中学校) 教科等教育 基礎講座	令和5年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中46	10/12	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の果たす役割 ・総合的な学習の時間の進め方 ・教科指導におけるICT活用
初任者研修 (中学校) 教科等教育 基礎講座	令和5年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中45	11/16	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルとデジタル・シティズンシップの指導 ・授業実践を振り返って ・採用初年度のこれまでの実践を振り返って
初任者研修 (高等学校) 教職基礎講座	令和5年度初任者 研修(高等学校)対 象教諭	高17	4/13～4/14	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・社会人としてのマナー 講師：国家資格キャリアコンサルタント 森 岩樹 ・初任者研修ガイダンス ・生徒理解への取組 ・温かい人間関係づくり ・特別な配慮を要する生徒への対応 ・初任者に期待すること
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座	令和5年度初任者 研修(高等学校)対 象教諭	高17	5/18～5/19	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で身に付けさせる資質・能力 ・資質・能力を育む授業づくり

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座	令和5年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高17	6/15～6/16	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業づくり ・ユニバ-サルデザインを取り入れた授業づくり ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ・資質・能力を育む授業の工夫
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座	令和5年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高17	11/9～11/10	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返り ～授業改善に向けて～ ・資質・能力を育む学習指導と評価の工夫
初任者研修 (高等学校) ホームルーム 経営基礎講座	令和5年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高17	7/27～7/28	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム担任としての心構え ・SOSの出し方教育 ・不登校への理解と対応 ・いじめと問題行動への理解と対応 ・特別活動におけるホームルーム活動 ・ホームルーム担任としての在り方 ・ホームルーム経営目標の作成
初任者研修 (高等学校) 協力校研修	令和5年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高17	10/19,20, 26,27	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業について ・参観授業について
初任者研修 (高等学校) まとめ研修	令和5年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高17	1/6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体で進める道德教育 ・探究的な学びに向けて ・学校において初任者に期待すること ・1年間の研修を振り返る～学び続ける教員となるために～
初任者研修 (特別支援 学校)教職 基礎講座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特38	4/13～4/14	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・社会人としてのマナー 講師：国家資格キャリアコンサルタント 森 岩樹 ・初任者に期待する ・本県の特別支援教育 ・効果的な協議・発表の仕方 ・初任者研修を終えて ・新たに教員になって
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特37	5/25～5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の教育課程 ・自立活動の基礎・基本 ・障害特性に応じた指導 ・個別の指導計画の作成と活用 ・障害のある幼児児童生徒の実態把握と目標設定

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特37	6/29～6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり ～教科指導の基礎・基本～ ・特別支援学校における授業づくり ～教科別の指導・各教科等を合わせた指導の基礎・基本～ ・特別支援学校における授業実践 ・特別支援学校における授業づくり ～ICTの活用～ ・一人一人のニーズに応じた指導 ～授業づくり～
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特35	11/30～12/1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習評価の基本的な在り方 ・一人一人のニーズに応じた指導 ～評価と改善～ ・小・中学校等における特別支援教育 ～インクルーシブ教育システムの観点から～
初任者研修 (特別支援 学校)学級 経営基礎講 座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特38	4/28	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の基礎・基本 ・保護者との関係づくり ・学級経営で大切なこと
初任者研修 (特別支援 学校)生徒 指導基礎講 座	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特37	6/8～6/9	<ul style="list-style-type: none"> ・発達を踏まえた幼児児童生徒の理解 ・特別支援教育における教育相談 ・生徒指導上の課題への対応 ～情報モラル～ ・生徒指導上の課題への対応 ～いじめ・不登校～ ・発達障害の理解と支援 ・青森県発達障害者支援センターの役割について 講師：青森県発達障害者支援センター 「わかば」 所長 今 幸子 ・安心・安全な生活を支える児童相談所の機能 講師：青森県中央児童相談所・女性相談所 総括主幹 石田 大地 ・生徒指導における幼児児童生徒理解
初任者研修 (特別支援 学校)まと め研修	令和5年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特37	1/11	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教員に期待すること 講師：県立青森第二高等養護学校 前校長 奈良岡 守 ・1年間の研修を振り返って ～実地研修、校外研修をとおして～

イ 新規採用者研修

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
新規採用養護教諭研修	令和5年度採用養護教諭	小3 中3 特1	5/25～5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健の現状と課題 ・養護教諭に関する法規と職務内容 ・スクールカウンセラーとの連携 ・感染症・食中毒の知識 ・養護教諭が行う救急処置活動 講師：女子栄養大学 教授 遠藤 伸子 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子
新規採用養護教諭研修	令和5年度採用養護教諭	小3 中3 特1	7/27～7/28	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭が行う健康相談の考え方と進め方 ・学校管理下における災害 講師：独立行政法人日本振興センター 課長補佐 千葉 清文 主任 小関 伽奈 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の理解と対応 ・保健室経営について
新規採用養護教諭研修	令和5年度採用養護教諭	小3 中3 特1	12/19～12/20	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育の工夫 ・学校における健康教育の進め方 ～健康状態の評価、健康問題の原因と分析と対応、健康診断の事前・事後措置～ ・養護教諭のメンタルヘルス ・心肺蘇生法の理解と実習 ～様々な状況への対応～ 講師：日本赤十字社青森県支部 救急法指導員 佐藤 千雪 中堤 大介 <ul style="list-style-type: none"> ・保健室経営について ～学級（HR）担任との連携～ ・養護教諭のためのICT活用
新規採用公立学校事務職員研修	令和5年度採用の公立学校事務職員（臨時事務職員を含む）	小9 中9 高2	5/25～5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・服務について ・給与制度について ・福利厚生制度について ・学校における事務職員としての役割 ・旅費制度について ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
新規採用県立学校実習助手研修(前期)(後期)	令和5年度採用県立学校実習助手	高1 特1	前期 4/13 後期 9/1	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス <p>講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナー <p>講師：国家資格キャリアコンサルタント 森 岩樹</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習助手の職務について <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の視点に立った生徒理解への取組 ・実習助手の職務と課題について ・学校における人間関係づくり・役割について ・私の実践発表 ・ICT機器の接続 ・実習時における安全管理について
幼児教育基礎講座	幼稚園教諭、保育教諭	幼・こ・保 14	5/22	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県の幼児教育 ・特別な配慮を要する幼児との関わり方 ・健やかな成長のための環境と習慣づくり <p>講師：千葉幼稚園 園長 岡本 潤子</p>
幼児教育基礎講座	幼稚園教諭、保育教諭	幼・こ・保 14	9/29	<ul style="list-style-type: none"> ・素材に親しみ工夫して遊ぶためのつくる活動 ・幼児期における発達の理解と幼小連携 <p>講師：弘前大学 准教授 武内 裕明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の展開と援助の在り方 <p>講師：青森明の星短期大学 准教授 高橋 多恵子</p>

ウ 経験者研修

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
小・中学校フォローアップ(2年次)研修講座(前期)(後期)	令和4年度初任者研修(小学校)(中学校)対象教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小50 中27	前期 5/31 後期 12/15	<ul style="list-style-type: none"> ・教員2年目としての心構え ・学びと社会を関連付けるキャリア教育の実践 ・学習指導を振り返る ・実践を振り返って(中堅教諭等資質向上後期研修と合同) ・カリキュラム・マネジメントの実際
高等学校フォローアップ(2年次)研修講座	令和4年度初任者研修(高等学校)対象教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	高27	5/23～5/24	<ul style="list-style-type: none"> ・学び続ける教員を目指して ・創意を生かしたホームルーム経営 ・ホームルーム担任のための教育相談 ～保護者との連携を深めるために～ ・ホームルームにおける課題解決に向けて ・学校安全と危機管理 <p>講師：日本災害医学会 災害セミナーインストラクター 吉川 靖之</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考力を引き出す教科指導

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
特別支援学校フォローアップ(2年次)研修講座	令和4年度初任者研修(特別支援学校)対象教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	特32	9/21~9/22	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画に基づく授業改善 講師：東北福祉大学 教授 大西 孝志 ・授業検討 ・これからの教員に求められること
養護教諭フォローアップ(2年次)研修講座	令和4年度新規採用養護教諭研修対象者 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小6 中3 特1	10/31	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室経営について ・現代的健康課題に対応した保健室経営について
栄養教諭・学校栄養職員フォローアップ(2年次)研修講座	令和4年度新規採用栄養教諭・学校栄養職員研修対象者 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	中1 特1	6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・給食業務の実際 ・給食業務の実際・管理運営上の諸問題 ・教科等における食に関する指導の実際 ・児童生徒の心理
中堅教諭等資質向上前期研修(小・中学校)共通講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(小・中学校)	小69 中32	7/4~7/5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の理解と指導について振り返る ・“児童生徒が育つ”働きかけ 講師：日本大学 文理学部 教授 藤平 敦 ・特別の教科 道徳の授業づくり ・後期中堅教諭までの研修プランを考える ・中堅前期教諭に期待すること
中堅教諭等資質向上前期研修(高等学校)共通講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(高等学校)	高63	5/16	<ul style="list-style-type: none"> ・前期中堅教諭に期待すること ～本県教育の現状と課題をふまえて～ ・地域との連携・協働を生かしたキャリア教育 ・いじめのない学校づくり ～情報モラル教育～ ・いじめ・不登校のない学校づくり ～温かいホームルームづくり～ ・保護者との連携について
中堅教諭等資質向上前期研修(高等学校)共通講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(高等学校)	高65	9/12	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校教育を考える ～生徒の主体的・対話的で深い学びのために～ ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で行う授業改善
中堅教諭等資質向上前期研修(特別支援学校)共通講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(特別支援学校)	特31	5/16	<ul style="list-style-type: none"> ・前期中堅教諭に期待すること ～本県教育の現状と課題をふまえて～ ・関係機関との連携 ・主体的・対話的で深い学びとキャリア発達支援 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
中堅教諭等 資質向上前期 研修(特別支 援学校)共通 講座	令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(前 期)対象者(特 別支援学校)	特30	10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 講師：上越教育大学大学院 教授 村中 智彦 ・メインティーチャーとしてのティーム ティーチング ・授業を見直す
中堅教諭等 資質向上前期 ・後期研修(養 護教諭)	令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(前 期)対象者(養 護教諭) 令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(後 期)対象者(養 護教諭)	小15 中 8 高 3 特 4	6/22～6/23	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の今日的課題 ・養護教諭に関する法規と職務内容 ・救急処置の理論・応用 講師：日本赤十字社青森県支部 救急法指導員 山野内 博見 船橋 訓子 岩井 雄太郎 小寺 芳人 三浦 一郎 大坂 美保 ・保健教育の在り方/保健教育の実際 講師：鎌倉女子大学 藤原 昌太
中堅教諭等 資質向上前期 ・後期研修(養 護教諭)	令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(前 期)対象者(養 護教諭) 令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(後 期)対象者(養 護教諭)	小14 中 8 高 3 特 4	11/21～11/22	<ul style="list-style-type: none"> ・学校環境衛生と保健室における薬剤管理 講師：青森大学 教授 川村 仁 ・中堅養護教諭の役割と資質能力の向上 講師：神奈川県立保健福祉大学 准教授 高橋 佐和子 ・中央研修会伝達 ・SOSの出し方教育 ・ネットトラブルへの対応 ・危機管理と保護者対応
中堅教諭等 資質向上前期 ・後期研修(栄 養教諭・学校 栄養職員)	令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(前 期)対象者(栄 養教諭・学校 栄養職員) 令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(後 期)対象者(栄 養教諭・学校 栄養職員)	小 3 中 2	6/22～6/23	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の今日的課題 ・歯と口に関する基礎知識 ・衛生管理責任者の役割 ・保健教育の在り方・保健教育の実際 講師：鎌倉女子大学 講師 藤原 昌太
中堅教諭等 資質向上前期 ・後期研修(栄 養教諭・学校 栄養職員)	令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(前 期)対象者(栄 養教諭・学校 栄養職員) 令和5年度中 堅教諭等資質 向上研修(後 期)対象者(栄 養教諭・学校 栄養職員)	小 3 中 2	10/5～10/6	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等における食に関する指導 ・栄養教諭・学校栄養職員の食に関する指 導の在り方と進め方 ・食に関する指導の充実 ・児童生徒の心理 ・給食業務の実際 ・アレルギー対応食の取組 ・健康教育と栄養教諭・学校栄養職員の役 割

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
中堅事務職員資質向上前期・後期研修(小・中学校)	平成24年度及び平成30年度に公立学校(小・中学校)の事務職員として採用された者 受講を希望する公立学校(小・中学校)の事務職員(臨時事務職員を含む)	小9 中5	9/7	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校教職員の身分制度と服務 ・学校における情報公開と個人情報 ・これからの学校組織と事務職員の役割 ・学校における事務職員の役割
中堅教諭等資質向上後期研修(小・中学校)スクールマネジメント講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(小・中学校)	小18 中21	7/6~7/7	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭に必要なマネジメント意識 講師：上越教育大学大学院 教授 安藤 知子 ・協働で取り組む校務分掌 ・協働で取り組む特別支援教育 ・協働で取り組む職場のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・協働で取り組む危機管理 ・P D C Aサイクルを基にした授業実践に向けて
中堅教諭等資質向上後期研修(小・中学校)授業実践力アップ講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(小・中学校)	小18 中21	12/14~12/15	<ul style="list-style-type: none"> ・P D C Aサイクルを基にした授業の自己評価 ・同僚性を発揮した授業改善のために ・P D C Aサイクルを基にした授業改善に向けて ・同僚性を高める実践に向けて ・中堅後期研修後に向けたキャリアデザイン ・中堅後期教員に期待すること
中堅教諭等資質向上後期研修(高等学校)共通講座	令和5年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(高等学校)	高58	6/27~6/28	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育の担い手として ~カリキュラム・マネジメント~ 講師：國學院大學 教授 田村 学 ・教職員の服務規律について ・組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・学校改善に向けた組織的な取組 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 教授 三戸 延聖 教授 甲田 隆 教授 吉田 美穂 ・温かい人間関係づくり ~保護者・同僚との接し方~ ・配慮を要する生徒への組織対応

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
中堅教諭等 資質向上後 期研修(高 等学校)共 通講座	令和5年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者(高 等学校)	高59	8/25	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を生かす学習指導 講師：教育コンサルタント 盛岡白百合学園 (元花巻北高等学校長) 講師 下町 壽男 資質・能力を育む学習指導と評価の工夫 資質・能力を育む授業づくりに向けて
中堅教諭等 資質向上後 期研修(高 等学校)共 通講座	令和5年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者(高 等学校)	高53	12/8	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善に向けた取組 後期中堅教諭に期待すること
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特 別支援学 校)共通講 座	令和5年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者(特 別支援学校)	特26	6/27～6/28	<ul style="list-style-type: none"> これからの教育の担い手として ～カリキュラム・マネジメント～ 講師：國學院大學 教授 田村 学 教職員の服務規律について 組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 学校改善に向けた組織的な取組 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 教授 甲田 隆 教授 三戸 延聖 教授 吉田 美穂 本県の特別支援教育の現状と課題 中堅教員としての資質向上に向けて
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特 別支援学 校)共通講 座	令和5年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者(特 別支援学校)	特24	9/6	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向け た組織的な授業改善 講師：北海道教育大学函館校 教授 北村 博幸 自校の教育活動についての課題分析と改 善策の検討
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特 別支援学 校)共通講 座	令和5年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者(特 別支援学校)	特26	12/8	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある生徒の自立と社会参加 講師：独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 主任研究員 榎本 容子 学校安全に向けた組織的な取組 後期中堅教諭として期待すること

職 務 研 修

講 座 名	対 象	人数 (聴講者を含む)	期 日	内 容
校長研修講座（前期） （後期） <指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の新任教長 前年度までの受講 対象者のうち、本 研修を受講又は修 了していない者	小33 中24 高 9 特 2	前期 4/26 後期 7/25	前期 ・新任校長に期待する ・学校における情報公開・個人情報保護 ・私の学校経営（校種別） ・学校課題への取組（校種別） 後期 ・学校の組織力とスクールリーダーシップ 講師：筑波大学 教授 浜田 博文
教頭研修講座（前期） （後期） <指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の新任教頭 前年度までの受講 対象者のうち、本 研修を受講又は修 了していない者	小26 中30 高17 特 4	前期 5/9 後期 8/29	前期 ・新任教頭・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・学校におけるリスクマネジメント 講師：有限会社 エンカツ社 代表取締役社長 宇於崎 裕美 後期 ・教頭の職務と役割 後期 ・学校組織を活性化させるためのマネジメント 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一
県立学校事務長研修講座（前期） （後期） <指定>	高等学校、特別支 援学校の新事務長 ・事務長心得 前年度までの受講 対象者のうち、本 研修を受講又は修 了していない者	特 1	前期 5/9 後期 8/29	前期 ・新任教頭・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・学校施設の管理について ・情報公開・個人情報保護について 後期 ・事務長の職務と役割について ・学校事務室経営について
教務主任研修講座 <一部指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の教務主任 （指定）新任教務 主任 （希望）教務主任	小22 中24 高20 特 4	5/17	・教務主任に期待する ・教育活動と教育法規について ・教務主任の職務について（講義） ・教務主任の職務について（協議）
学年主任研修講座 <一部指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の学年主任 （指定）新任学年 主任 （希望）学年主任、 その他学年経営の 中核となる教員	小15 中30 高17 特13	5/30	・学年主任の役割とは ・組織経営とミドルリーダー 講師：日本大学 教授 藤平 敦
保健主事研修講座 <一部指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の保健主事 （指定）新任保健 主事 （希望）保健主事 及び学校保健活動 の中核となる教員	小17 中12 高 9 特11	5/29	・保健主事の職務と役割 ・学校保健活動の実践 ～健康教育実践研究支援事業指定校として～ ・保健主事としての取組について

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
生徒指導主任・主事研修講座 <一部指定>	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の生徒指導主任・主事 (指定) 新任生徒指導主任・主事 (希望) 生徒指導主任・主事、その他生徒指導の中核となる教員	小24 中21 高 8 特11	4/27	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任・主事の役割と生徒指導上の諸課題への対応 ・県内の生徒指導上の諸課題について ・不登校・いじめを生まない魅力ある学校づくりを目指して 講師：国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官 高橋 典久
中学校進路指導担当者研修講座	中学校、特別支援学校 中学校の進路指導主事及び進路指導に関わる教員	中10 特 1	5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の考え方と進路指導主事の役割 ・自校における進路指導の課題と対策 ・自校における進路指導の進め方
校内研修担当者研修講座(前期) (後期)	小学校、中学校の新任研修主任 特別支援学校の新任研修担当教員 上記以外で希望する教員	小26 中19 特 6	前期 5/15 後期 8/18	前期 <ul style="list-style-type: none"> ・研修主任の職務 ・校内研修の充実・活性化 ・本校の校内研修 後期 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントと校内研修 講師：甲南女子大学 教授 村川 雅弘 ・校内研修プランの見直しと今後の対策
道徳教育推進教師研修講座	小学校、中学校の新任道徳教育推進教師 特別支援学校の新任道徳教育担当教員 上記以外で希望する教員	小 6 中15 特16 その他2	6/6～6/7	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教師の役割と取組 ・我が校の道徳教育 ・学校の特色を生かした道徳教育 講師：十文字学園女子大学 教授 浅見 哲也 ・自校の特色を生かした道徳教育展開プランづくり
特別支援教育コーディネーター研修講座 <一部指定>	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等の特別支援教育コーディネーター (指定) 教頭以外の新任特別支援教育コーディネーター (希望) 新任以外の特別支援教育コーディネーター (希望) 特別支援教育コーディネーターの教頭	小12 中 9 高 3 特10	6/6	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターの役割 ・特別支援教育コーディネーターの実践 ・事例検討の進め方
養護教諭研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の養護教諭、養護助教諭	小 6 中 5 高 2 特 1	9/6	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハット事例から学ぶ保健管理・危機管理 講師：女子栄養大学 教授 大沼 久美子

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
食育研修講座	小学校、中学校、特別支援学校の教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員	小12 中4 特3	7/28	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動における食育の授業づくり ・子どもの食育活動の充実に向けて 講師：文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 食育調査官 山上 望
県立学校事務職員研修講座	高等学校、特別支援学校の事務職員（臨時事務職員を含む）	高4 特1	10/4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務条件について ・学校における災害対応 講師：日本赤十字社青森県支部 事業推進課長 山野内 博見 <ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金の手続きについて
県立学校臨時講師等研修講座	令和5年度に採用された高等学校、特別支援学校の臨時講師・臨時養護助教諭（本研修講座当日において勤務している者）	高19 特14	4/11～4/12	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての心構え ・教職員の服務規律について ・学校安全について ・生徒理解について ・教職員として知っておきたいこと ～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～ ・教科指導について ・教育課程・特別支援教育について ・各教科における指導について ・指導上の課題とその対応について
県立学校臨時講師等研修講座	令和5年度に採用された高等学校、特別支援学校の臨時講師・臨時養護助教諭（本研修講座当日において勤務している者）	特6	10/10～10/11	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての心構え ・教職員の服務規律について ・学校安全について ・生徒理解について ・教職員として知っておきたいこと ～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～ ・教科指導について ・教育課程・特別支援教育について ・各教科における指導について ・指導上の課題とその対応について
寄宿舎指導員研修講座	特別支援学校の寄宿舎指導員、臨時寄宿舎指導員	特16	7/26	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務について ・身に付けさせたい社会生活力 講師：青森大学 教授 船木 昭夫 <ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎指導員としての私の実践 ・寄宿舎における指導・支援

専 門 研 修
ア 教科研修

講 座 名	対 象	人数 (聴講者を含む)	期 日	内 容
「考え、議論する道徳」の授業づくり研修講座	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校教員	小 8 中10 特 8 その他7	10/30～10/31	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」の実現に向けて ・「考え、議論する道徳」の授業づくり ・「特別の教科 道徳」の教材研究と授業構想 講師：秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威 ・「特別の教科 道徳」の授業改善とICT活用 ・「考え、議論する道徳」の授業実践
小学校国語科授業づくり講座〔読むこと〕	小学校及び特別支援学校小学部教員 特別支援学校中学部・高等部の国語科担当教員	小15 特 4 その他2	8/29～8/30 一部オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・読む力を育てる授業改善 ・読む力を育てる言語活動 ・タブレット端末を活用した国語科の授業 ・主体的・対話的で深い学びを実現する「読むこと」の指導 オンライン 講師：京都女子大学 教授 水戸部 修治 ・書く力を育てる単元構想
中学校国語科授業づくり講座	中学校国語科担当及び特別支援学校中学部・高等部の国語担当教員	中 7 特 3	6/22～6/23	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」指導の授業改善 ・「読むこと」指導の授業改善 ・ICTを活用した国語科の授業 ・「深い学び」の実現に向けた授業づくりの考え方 講師：岩手大学 教授 藤井 知弘 ・「深い学び」を実現する授業づくり 講師：岩手大学 教授 藤井 知弘
高等学校国語科授業づくり講座	高等学校国語科担当及び特別支援学校高等部の国語担当教員	高13	6/20～6/21	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり 講師：筑波大学 教授 島田 康行 ・主体的・対話的で深い学びを実現する指導と評価の工夫 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
主体的・対話的で深い学びを実現する国語科「言語活動」実践力アップ講座	小学校、中学校、高等学校の国語科担当教員 特別支援学校小学部、特別支援学校中学部・高等部の国語担当教員	小 6 中 8 高 7 特 4	7/13～7/14	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に応じた言語活動の実践 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動の実践 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動のモデルづくり〔話すこと・聞くこと〕 ・新聞で育てる言語能力 講師：東奥日報 販売局NIE・NIB推進部 次長 三浦 博史 部長 久保 信行 主任 安田 武史 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動のモデルづくり〔書くこと〕

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
考える力を高める小学校社会科教育講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小12 その他3	9/14～9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の授業改善 ・ICTを活用した社会科の授業 ・思考力、判断力、表現力等を育てる社会科教育の実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：大妻女子大学 教授 澤井 陽介
中学校社会科教育講座	中学校社会科担当及び特別支援学校中学部社会科担当教員	小1 中10 特1 その他1	9/14～9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力等の育成を図る社会科の授業 ・ICTを活用した社会科の授業 ・思考力、判断力、表現力等の育成を図る社会科の授業実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：大妻女子大学 教授 澤井 陽介
社会科教材開発講座	中学校及び特別支援学校中学部の社会科担当教員 高等学校及び特別支援学校高等部の地理歴史科、公民科教員	小1 中2 高2 特3	7/24～7/25 一部オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育む授業づくりに向けて ・裁判員制度及び刑事事件について 講師：青森地方裁判所弘前支部 裁判官 渋谷 俊介 ・刑事裁判の傍聴等 講師：青森地方裁判所弘前支部 裁判官 渋谷 俊介 ・「社会的な見方・考え方を働かせる授業づくり ～法教育を中心に～ オンライン 講師：福井大学 教授 橋本 康弘 ・「社会的な見方・考え方を働かせる授業づくり（演習）」 ・「社会的な見方・考え方を働かせる授業づくり（協議）」
高等学校地理歴史科公民科教育講座	高等学校及び特別支援学校高等部の地理歴史科、公民科教員	高12 特2	8/31～9/1	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育む「歴史総合」の授業づくり 講師：文部科学省初等中等教育局 教科調査官 空 健太 ・思考力を深めるICTを活用した授業づくり ・金融リテラシーを育む「公共」の授業づくり 講師：東洋大学文学部 教授 栗原 久 ・社会的な見方・考え方を働かせる授業づくりに向けて
小学校算数科教育講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小23 特3 その他5	7/27	<ul style="list-style-type: none"> ・既習をいかす授業づくり ・指導と評価の一体化に向けた授業の在り方 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
小学校算数 科授業づくり 講座	小学校及び特別支 援学校小学部教員	小29 特 3 その他3	8/16	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した算数科の授業 ・数学的な見方・考え方を広げる授業 ・深い学びのある授業 講師：弘前大学大学院教育学研究科 教授 中野 博之
中学校数学 科教育講座	中学校数学担当及 び特別支援学校中 学部数学担当教員	中 8 特 1 その他1	6/29	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの資質・能力を育む授業 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人 <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業実践
中・高等学 校数学科授 業づくり講 座	中学校、高等学校 及び特別支援学校 中学部・高等部の 数学担当教員	中 4 高12 特 2	8/22～8/23	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決の過程をイメージした授業づくり ・「中高の接続を見通した付けさせたい力」を明確にする ・明確にした課題から改善策を考え、協議する ・ICTを効果的に活用した数学科の授業づくり ・「付けさせたい力」を明確にした授業づくり ・これからの授業づくりに向けて
高等学校数 学科教育講 座	高等学校及び特別 支援学校高等部の 数学担当教員	高14	9/1	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における探究的な学び 講師：東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授 西村 圭一 <ul style="list-style-type: none"> ・統計教育の充実 ～仮説検定を軸とした数学 ABの授業づくり～ 講師：東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授 西村 圭一 <ul style="list-style-type: none"> ・数学的に考える活動を意識した授業づくり
小学校理科 実践力向上 研修講座	小学校及び特別支 援学校小学部教員	小 3 その他1	6/6～6/7	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業改善の視点 ・観察、実験の工夫 ・問題解決の力を育む観察、実験 ・理科におけるプログラミング学習
小・中学校 理科授業づ くり講座	小学校、中学校、 特別支援学校小学 部及び中学部の理 科担当教員	小 5 中 4	8/17～8/18	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業改善の視点 ・問題解決の力を育む観察、実験 ・問題解決の力を育む授業づくり ・問題解決の力を育む授業の在り方
中学校理科 実験講座	中学校及び特別支 援学校中学部の理 科担当教員	中13	6/20～6/21	<ul style="list-style-type: none"> ・理科授業改善の視点 ・授業で使える観察・実験の工夫
高等学校理 科研修講座 [物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎]	高等学校及び特別 支援学校高等部の 理科担当教員 実習助手も対象	高 8 特 1	6/23	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を取り入れた授業づくり ～物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎～

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
学びを実感させる高等学校理科研修講座〔物理〕	高等学校及び特別支援学校高等部の理科担当教員 実習助手も対象	高 5	8/30～8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせる授業デザイン ・身近な素材を用いた観察・実験とその教材開発 ・単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ～資質・能力をバランスよく育むために～ ・思考力・判断力・表現力を引き出す実践とその工夫
学びを実感させる高等学校理科研修講座〔化学〕	高等学校及び特別支援学校高等部の理科担当教員 実習助手も対象	高 6	8/23～8/24	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせる授業デザイン ・身近な素材を用いた観察・実験とその教材開発 ・単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ～資質・能力をバランスよく育むために～ ・思考力・判断力・表現力を引き出す実践とその工夫
学びを実感させる高等学校理科研修講座〔生物〕	高等学校及び特別支援学校高等部の理科担当教員 実習助手も対象	高 4	7/12～7/13	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせる授業デザイン ・単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ～資質・能力をバランスよく育むために～ ・地域の素材を用いた観察・実験とその教材開発 ・地域の素材を活用した授業実践とその工夫
時間的・空間的な関係を探る理科野外実習講座〔地学〕	小学校及び特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の理科担当教員 実習助手も対象	中 2 高 1	7/10～7/11	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察の方法 ・地域素材の活用の方法 <p>講師：弘前大学 教授 折橋 裕二</p>
学びを実感させる理科実習講座〔天体観察〕	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の理科担当教員 実習助手も対象	小 4 高 1	10/16	<ul style="list-style-type: none"> ・天体望遠鏡の基本操作 ・天体観察の方法 <p>講師：NPO法人星のソムリエ 理事 甲田 昌樹</p>
気付きの質を高める小学校生活科講座	小学校、特別支援学校小学部、幼稚園等教員	小 5 特 4	9/4～9/5	<ul style="list-style-type: none"> ・気付きの質を高める生活科の授業づくり <p>講師：千葉大学 教授 鈴木 隆司</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付きの質を高める生活科の授業 ・身近な素材を通じた指導と評価の在り方 ・望ましい動物飼育の在り方

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
感性を育む音楽科実践講座	中学校、特別支援学校中学部の音楽担当教員	中 8 特 2	10/24	・鑑賞から広がるこれからの学び 講師：武蔵野音楽大学 講師 山崎 正彦 ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくりについて
豊かな表現力を育む音楽科講座	中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の音楽担当教員	小 1 中 6 高 1 特 2	11/28	・表現から広がるこれからの学び 講師：新潟大学 名誉教授 伊野 義博 ・資質・能力を育む授業づくりについて
芸術系教科の資質・能力を育む授業づくり講座	中学校、特別支援学校中学部の音楽または美術担当教員 高等学校、特別支援学校高等部の芸術担当教員	中 3 高 1 特 2	6/30	・芸術科が育む資質・能力について ・資質・能力を育む授業づくり ～単元・題材構成の工夫～ ・資質・能力を育む授業づくり ～指導と評価の一体化について～
「見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する！小学校図工・音楽科講座	小学校、特別支援学校小学部、幼稚園等教員	小 9 特 9 幼・こ・保 3	8/17～8/18	・図画工作科における指導と評価の一体化 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小林 恭代 ・「造形的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する造形遊び ・「音楽的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する表現活動 ・造形と音楽のコラボレーション ・これからの図工と音楽の授業づくり
鑑賞の学びを考える！小学校図工・音楽科講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小 4 その他1	10/23～10/24	・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習 ・見方や感じ方を深める美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子 研究員 飯田 茂雄 ・感性を育むこれからの資質・能力 ・鑑賞から広がるこれからの学び 講師：武蔵野音楽大学 講師 山崎 正彦 ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくり
創造活動を通じた学びを考える美術科教育講座	中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部美術担当教員	中 3 特 3	9/22	・指導と評価の一体化を目指す美術の授業 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 平田 朝一 ・指導と評価の一体化を目指す美術の授業づくり
見方や感じ方を深める美術科教育講座[鑑賞]	中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部美術担当教員	中 1 特 3	10/23	・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習 ・見方や感じ方を深める美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子 研究員 飯田 茂雄

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
家庭科教育講座	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中部・高等部の家庭科担当教員	小 2 中 2 高 2 特 5	11/1	・ICTを効果的に活用した調理実習の授業デザイン
中学校技術・家庭科（家庭分野）・高等学校家庭科教育講座	中学校、高等学校、特別支援学校中部・高等部の家庭科担当教員	中 6 高 4 特 3 その他1	8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高家庭科における「幼児と高齢者との触れ合いを取り入れた授業」について ・幼児と触れ合う活動を取り入れた家庭科の授業について 講師：社会福祉法人 黎明会 ひなづる 保育園 園長 林 秀雄 ・高齢者の理解や接し方等を取り入れた家庭科の授業について 講師：青森県社会福祉協議会 福祉人材課長 青田 俊枝 ・幼児と高齢者との触れ合いを取り入れた授業デザイン
中学校技術・家庭科教育講座 [材料と加工・生物育成]	中学校及び特別支援学校中学部教員	中 2 特 2	5/25～5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・木材製品の設計・製作 ・技術の見方・考え方を働かせた授業づくり
中学校技術・家庭科教育講座 [情報]	中学校及び特別支援学校中学部教員	中 5	9/28～9/29	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツの設計・制作 ・計測・制御システムの設計・制作
中学校技術・家庭科教育講座 [エネルギー変換]	中学校及び特別支援学校中学部教員	中 1 特 1	7/26	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術の指導内容と指導計画 ・電気機器の設計・製作
小学校体育科研修講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小12 特 4 その他1	8/17	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した体育科の授業づくり ・表現運動系の特性や魅力を生かした授業づくり 講師：東海大学 准教授 田巻 以津香
小・中学校体育授業づくり研修講座	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校及び特別支援学校中部の保健体育担当教員	小 5 中10 特 2 その他2	9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した体育科・保健体育科の授業づくり ・豊かなスポーツライフの基礎を築く共生体育の在り方 講師：横浜国立大学 教授 梅澤 秋久
豊かなスポーツライフを実現する保健体育授業研修講座	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中部・高等部の保健体育担当教員	中12 高11 特 3	11/17	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業における課題と工夫 ・新学習指導要領に基づいた体育授業づくり 講師：日本女子体育大学 教授 高橋 修一

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
保健授業づくり研修講座	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の保健体育担当教員	小 1 中 7 高16 特 4	7/24	・保健における課題と工夫 ・新学習指導要領に基づいた保健の授業づくり ～保健におけるがん教育の進め方～ 講師：横浜国立大学 教授 物部 博文
体育授業ICT利活用研修講座	小学校、特別支援学校小学部教員 中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の保健体育担当教員	小 3 中 3 高 1 特 1 その他2	8/22	・主体的・対話的で深い学びを支える体育のICT利活用 講師：東京学芸大学 准教授 鈴木 直樹
小学校外国語・外国語活動研修講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小10 中 1 特 4 その他2	6/13	・ICTを活用した外国語・外国語活動の授業づくり ・わたしの実践発表 ・外国語・外国語活動の指導の在り方 講師：東京学芸大学 教授 粕谷 恭子
中学校英語指導法研修講座	中学校、特別支援学校中学部の外国語（英語）科担当教員	中11 特 1	9/25	・中学校英語における課題とICTを活用した授業改善の方向性 ・中学校英語教師に求められる役割 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 入之内 昌徳
中学校英語授業づくり研修講座	中学校、特別支援学校中学部の外国語（英語）科担当教員	小 1 中13 特 3	10/10	・ICTを活用した英語の授業改善 ・子どもの資質・能力を高める授業づくり 講師：信州大学学術研究院 教授 酒井 英樹
高等学校英語科言語活動実践講座	高等学校、特別支援学校高等部の外国語（英語）科担当教員	高14	7/4～7/5	・生徒の英語運用能力を育成する言語活動の実際 ～授業デザイン、ICT活用、指導と評価の一体化～ ・言語活動を取り入れた授業デザインの構築
高等学校英語指導法改善講座	高等学校、特別支援学校高等部の外国語（英語）科担当教員	高13	8/30～8/31	・英語指導法の改善に向けて 講師：上智大学 教授 和泉 伸一 ・統合的な言語活動を重視した授業づくり
情報科教育講座	高等学校、特別支援学校高等部の情報科担当教員	高 5 特 2	12/5～12/6	・情報科の指導と評価について ・データベースとSQL ・表計算ソフトによるデータの活用と分析 ・プログラミングによるデータの活用と分析 ・情報 の指導について
高等学校プログラミング基礎講座	プログラミングを担当している高等学校及び特別支援学校高等部教員 実習助手も対象	高 9 特 1	9/26～9/27	・プログラミング教育と環境構築 ・アルゴリズムと基本制御構文 ・応用的プログラム ・プログラムの関数化 ・ライブラリとWebAPIの活用 ・事象のモデル化とシミュレーション

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
産業教育指導者講座 (前期)(後期)	高等学校で産業教育に携わる教員 特別支援学校高等部の産業養育担当教員 実習助手も対象	高 8	前期 6/9 後期 9/19	前期 ・本県における産業の現状と展望 講師：株式会社 ジョイ・ワールド・パシフィック 代表取締役 木村 祝幸 ・本県における産業の現状と展望 講師：紅屋商事株式会社 取締役SM事業部 部長 秦 武史 後期 ・探究する学習のデザイン ・学習活動の設計と評価 講師：東北学院大学 教授 稲垣 忠
農業教育指導者講座	高等学校の農業科担当教員 特別支援学校高等部の農業科担当教員 実習助手も対象	高 6 特 1	7/11～7/12	・「指導と評価の一体化」のための学習評価 ・「高等学校における農業教育について」 ・「青森県のスマート農業の取組について」 ・ICTを活用した教科指導の実践 ・GAPやHACCPを取り入れた農業の6次化・ブランド化 講師：タムラファーム株式会社 代表取締役 田村 昌司 ・スマート×有機農業で地域をデザインする 講師：株式会社アグリーンハート 代表取締役 佐藤 拓郎
工業教育指導者講座	高等学校の工業科担当教員 特別支援学校高等部の工業科担当教員 実習助手も対象	高 7	11/7～11/8	・学習指導要領 教科「工業」について ・3Dプリンタ ・シーケンス制御
商業教育指導者講座	高等学校の商業科担当教員 特別支援学校高等部の商業科担当教員 実習助手も対象	高 7	7/11～7/12	・学習指導要領教科「商業」について ・ビジネスゴールを達成するWebマーケティング戦略 講師：株式会社 コンシス 代表取締役 大浦 雅勝 ・ビジネスにおける資産形成とリスク管理 講師：R&C株式会社 青森支社 セミナー推進部 マネージャー 石澤 枝美子 ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業デザインの構築

イ 教科外研修

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
総合的な学習の時間研修講座	小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部教員	小 7 中 3 特 1 その他1	5/29～5/30	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の役割 置かれた場所で、夢を叶える方法 講師：有限会社 リンゴミュージック 代表取締役 樋川 新一 探究的な学習の過程で学ぶ総合的な学習の時間 探究的に学ぶ総合的な学習の時間の実践 探究的な学習の過程で取り組む総合的な学習の時間 講師：山形大学学術研究院 教授 野口 徹
高等学校総合的な探究の時間研修講座	高等学校及び特別支援学校高等部教員	高21	9/19	<ul style="list-style-type: none"> 探究する学習のデザイン 学習活動の設計と評価 講師：東北学院大学 教授 稲垣 忠
小・中学校特別活動研修講座	小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部教員	小15 中17 特 2 その他3	8/28	<ul style="list-style-type: none"> 自主的・実践的な態度を育てる学級活動とICTの活用 生きる力の育成と特別活動の役割 講師：文部科学省初等中等教育局 視学官 安部 恭子
教育活動全体をつなぐキャリア教育研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小 1 中 6 高10 特 6 その他1	9/9	<ul style="list-style-type: none"> いま、なぜキャリア教育なのか？ ～学校教育におけるキャリア教育の役割～ 講師：筑波大学人間系 教授 藤田 晃之 キャリア教育への取組
高等学校における道徳教育講座	高等学校、特別支援学校高等部教員	高36	6/12	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校における道徳教育の推進 小・中学校における道徳教育の実践 本校の道徳教育 自校の特色を活かした道徳教育の展開に向けて
高等学校における特別支援教育講座	高等学校教員	高15	10/3	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校における特別支援教育 高等学校における特別支援教育の実践に向けて 高等学校における特別支援教育 ～個別の指導計画の作成に向けて～
「気になる子供」のかかわり方研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等教員	小 8 中13 高18 特12 幼・こ・保 7 その他8	9/29	<ul style="list-style-type: none"> 「気になる子供」の視点でかかわり方を見直す 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子
SOSの出し方教育研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小10 中12 高10 特10 その他5	7/31	<ul style="list-style-type: none"> 子供の安心・安全な生活を支える児童相談所の機能 SOSの出し方教育の実践 講師：中央大学 客員研究員 高橋 聡美

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
今日から始めるいじめ対策研修講座 一部指定	(指定) 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の新任ハートフルリーダー (希望) 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小 8 中 7 高 11 特12 その他2	5/19	・いじめについての認識と理解 ・いじめの理解といじめ防止のための取組 講師：上越教育大学大学院・いじめ生徒指導研究センター 教授・センター長 高橋 知己
今日から始める保護者対応研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等教員	小 8 中10 高 7 特 9 幼・こ・保 9 その他2	9/20	・保護者とのより良い関係のつくり方 講師：明治大学 教授 諸富 祥彦
今日から始める学級(HR)集団づくり研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小 6 中 9 高 8 特 3 その他3	8/17	・教育相談アプローチによる学級経営実践 ・より良い学級(HR)集団づくり 講師：文教大学 教授 会沢 信彦
今日から始めるグループ・アプローチ研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小 6 中 6 高 7 特 7 その他3	8/16	・グループ・アプローチについて 講師：聖徳大学 教授 鈴木 由美 ・グループ・アプローチの実際
今日から始める不登校対策研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員	小 2 中15 高10 特 4 その他5	7/3	・不登校児童生徒の理解・対応とチーム連携 講師：東京家政大学・同大学院 名誉教授・客員教授 相馬 誠一
今日から始める教育相談研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等教員	小 3 中 5 高 7 特 2 その他5	10/11	・教育相談の理論と実践 講師：秋田公立美術大学 教授 野々口 浩幸
特別支援教育新担当教員研修講座 [知的、肢体、病弱、通級コース]	小学校、中学校の特別支援学級(弱視、難聴、自閉症・情緒障害)の新担当教員	前期 小38 中21 後期 小34 中21	前期 5/10 後期 10/2	前期 ・特別支援教育の基礎・基本 ・保護者との関係づくり ・障害特性に応じた指導 後期 ・特別支援教育におけるICT活用の基礎・基本 ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内 容
特別支援教育新担当教員研修講座 〔自・情、弱視、難聴コース〕	小学校、中学校の特別支援学級（知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱）及び通級指導教室の新担当教員	前期 小40 中12 後期 小40 中11	前期 5/23 後期 10/13	前期 ・特別支援教育の基礎・基本 ・保護者との関係づくり ・障害特性に応じた指導 後期 ・特別支援教育におけるICT活用の基礎・基本 ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～
自立活動研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等教員	小 3 中10 高 2 特 6	6/14	・自立活動の指導の基本的理解 ・カード整理法による実態把握の進め方 講師：筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭 佐々木 高一 ・「実態把握図」作成による指導すべき課題の整理 ・自立活動の指導の充実に向けて
教育相談（特別支援教育）研修講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等教員 寄宿舎指導員も対象	小 1 中 4 高 1 特 9 幼・こ・保 4 その他1	7/14	・本人・保護者の思いに寄り添う教育相談 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹 ・学校における教育相談の実際 ・保護者との面談
特別支援学級授業づくり研修講座	小学校、中学校の特別支援学級担当2年目以降の教員	小 3 中 2	前期 7/25 後期 9～12月から 1日	前期 ・特別支援学級における授業づくり ・授業における課題解決 後期 ・現地研修（授業実践、協議）
特別支援学校授業力アップ講座	特別支援学校採用3年目以降の教員	特 2	前期 7/31 中期 9～11月から 1日 後期 12/6	前期 ・特別支援学校における実践研究の進め方 講師：弘前大学 准教授 天海 丈久 ・PDCAサイクルによる授業改善 中期 ・PDCAサイクルによる授業改善 現地研修（授業実践、協議） 後期 ・授業実践のまとめ方 ・PDCAサイクルによる授業改善 ・PDCAサイクルによる授業改善
特別支援教育におけるICT活用「基礎・基本」研修講座	小学校、中学校の特別支援学級担当教員、特別支援学校教員	小 3 中 3 高 2 特17 その他1	8/30	・特別支援教育におけるICT活用について ～基本的な考え方と実践で大事にしたいこと～ 講師：東北福祉大学 准教授 杉浦 徹 ・特別支援学校におけるICTを活用した実践 ・授業改善に向けて

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
通常の学級のユニバーサルデザイン研修講座	小学校、中学校、 高等学校、特別支援学校教員	小29 中12 高10 特5 その他4	10/5	<ul style="list-style-type: none"> 通常の学級における学習のユニバーサルデザイン ～どの子も分かる授業づくり～ 講師：新潟大学大学院 教授 長澤 正樹 授業改善に向けて
読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援研修講座	小学校、中学校、 高等学校教員	小10 中5 高2 特2 その他3	10/20	<ul style="list-style-type: none"> 読み書きに困難のある児童生徒の学び方を考え支援する 講師：宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 読み書きの困難さを補うタブレットPCの活用方法
発達支援と教材教具研修講座	<ul style="list-style-type: none"> 小学校特別支援学級及び通級指導教室担当教員、特別支援学校教員 障害の程度の重い幼児児童生徒の初期の発達について学びたい教員 	小2 特21 幼・こ・保1 その他2	11/7	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援と教材教具 講師：淑徳大学 准教授 池畑 美恵子 発達を促す授業の検討
校内 LAN 講座 [はじめてのネットワーク]	小学校、中学校、 高等学校、特別支援学校教員	高4 特2	5/17	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスとネットワーク機器 PCのネットワーク設定
校内 LAN 講座 [Windows ServerAD 管理]	高等学校、特別支援学校教員	中1 高4 特2	7/25	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー・グループの管理 アクセス権の設定 バックアップとリストア
ゼロから学ぶ！ Chromebook 初心者講座	小学校、中学校、 高等学校、特別支援学校教員	小1 中1 高2 特2 その他2	6/2	<ul style="list-style-type: none"> Chromebookの基本操作 標準アプリの活用 電子黒板との接続 授業への活用
はじめての Google Workspace [Chromebook 編]	小学校、中学校、 高等学校、特別支援学校教員	小2 中1 高4 その他2	9/5	<ul style="list-style-type: none"> クラウドの活用について Googleアプリの機能と基本操作 Google Classroomの活用
はじめての Google Workspace [iPad編]	小学校、中学校、 高等学校、特別支援学校教員	小3 高7 特2	9/5	<ul style="list-style-type: none"> クラウドの活用について Googleアプリの機能と基本操作 Google Classroomの活用

講座名	対象	人数 (聴講者を含む)	期日	内容
はじめての Microsoft Teams	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校教員	小 7 中 4 高 2	5/30	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドの活用について ・PowerPointによる動画作成 ・OneNoteの基本操作 ・Formsの基本操作 ・Teamsの基本操作 ・OneNoteとTeamsの連携 ・FormsとTeamsの連携
はじめての オンライン 授業実践講 座	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校教員	中 2 高 5 特 3	6/26	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学びの実現」とオンライン授業 ・オンライン授業における著作権 ・Web会議システムを活用したオンライン授業 ・動画共有サービスを活用したオンライン授業 ・クラウドサービスを活用したオンライン授業
NetCommons 活用講座 (6月開 催)	高等学校、特別支 援学校教員	高 9 特 2	6/20～6/21	<ul style="list-style-type: none"> ・WebページとCMS ・設定・管理画面 ・基本ページの作成 ・プラグインの利用 ・ルーム管理 ・SFTPによるファイル転送 ・総合演習
NetCommons 活用講座 (10月開 催)	高等学校、特別支 援学校教員	小 1 高 3 特 7	10/3～10/4	<ul style="list-style-type: none"> ・WebページとCMS ・設定・管理画面 ・基本ページの作成 ・プラグインの利用 ・ルーム管理 ・SFTPによるファイル転送 ・総合演習
小学校プロ gramming 教育研修講 座	小学校、中学校、 特別支援学校小学 部・中学部教員	小13 特 9	9/13	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校段階におけるプログラミング教育の在り方 講師：弘前大学 教授 上之園 哲也 ・自校におけるプログラミング教育 ・プログラミングツールの演習
幼保小連携 基礎講座	小学校、特別支援 学校幼稚部・小学 部、幼稚園等教員	小 3 特 4 その他20	11/10	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観：青森愛育学園愛育幼稚園 ・「幼保小の架け橋プログラム」について 講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課 幼児教育調査官 横山 真貴子

4 研究事業

本県学校教育の諸課題について調査研究を行い、その成果を公表及び提供します。

学校への還元を第一とし、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究を行います。

学校での活用を進めるため、研究報告書、実践の手引き、指導資料等を作成して学校に提供します。

研究成果や研究過程を、Web上へ掲載し、広く県民に理解いただくとともに、全国に向け発信します。

研究の種類

センター研究

本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究として、「学校におけるICTの効果的な利活用」をテーマとして、全指導主事が研究にあたり、成果物等をWebページに掲載した。

2023 センター研究 第 期（令和5年度）

グループ名	研究テーマ
国語	ICTを活用した国語科の授業づくりに関する研究
社会、地理歴史、公民	社会科・地理歴史科・公民科の授業における1人1台端末の日常的な活用
算数、数学	統計分野におけるICTを活用した算数・数学科教育の研究
理科	理科、物理、化学、生物、地学の授業におけるICTの効果的な利活用
音楽、図画工作、美術	ICTを活用した音楽・図画工作・美術の授業づくり
体育、保健体育	体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の活用
家庭、技術・家庭	家庭科、技術・家庭科の指導における主体的な学びに対応する、生徒の個別課題支援のためのICT活用の工夫・研究
外国語	授業の充実に向けた、ICTを効果的に活用した言語活動の研究
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳の学習指導におけるICTの効果的な利活用に関する研究
特別支援教育	読み書きに困難のある児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究～開発コンテンツの有用性の検証と研修パッケージの作成～

研究員研究（2年間）

義務教育課、産業教育課、特別支援教育課、教育相談課に所属する研究員が、所属課の領域に関する研究主題を設定して、個人研究を行い、研究論文を作成し、Web上に掲載した。

「あおり教育研究発表会2023」

2年目研究員の研究発表、センター研究の発表、外部講師による講演会等を行った。また、2年目研究員の研究発表については、オンデマンド配信も行った。

5 教育相談事業

幼児・児童及び生徒の教育に関する諸問題の解決に向け、医師等の専門相談員の指導助言を受けながら、本人、保護者及び教育関係者の相談に応じた。

相談件数

相談件数(件)		電話(件)	来所(件)
2,702	教育相談課 2,549	1,426	1,123
	特別支援教育課 153	97	56

6 資料・情報の収集・提供の事業

学校教育に関する資料及び情報を収集・整理し、これを保存するとともに、研修、研究その他に活用できるように提供した。

所蔵資料数

図書	20,850冊
資料(教科等関係)	4,122冊
視聴覚教材	429本

7 その他の事業

広報事業

センターの事業について理解を得、周知徹底を図るため、Webページ・刊行物、メール配信等により広報事業を進めた。

主な内容は次のとおりである。

- ・「センターだより」をWebページで発行
- ・「研修講座等」をWebページで公開
- ・「開催した講座の様子」をWebページで公開
- ・要覧の発行
- ・「青森県総合学校教育センターInformation」の発行
- ・リーフレットの配布「教育相談のご案内」「こころの教育相談センターのご案内」
- ・メール配信を活用した各種情報提供
- ・「青森県総合学校教育センター センターセミナー」の開催
- ・「広報あおもりけん」等の広報誌へ記事提供

情報化の推進

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークに関する技術支援を行った。

「教育の情報化」支援

学習者用コンピュータやICT機器の活用法など教育の情報化に関わる技術の提供。

授業に役立つ情報の提供

- ア 「教育情報の提供」、「WEB授業動画配信」・「ICT活用応援サイト」など、授業で役立つ情報の提供。
- イ 青森県教育ネットワーク（ASN）を活用した様々なサービスの提供。

校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する。

申込方法

当センターWebページの「Web申込みフォーム」から申し込む。

研修までの流れ

日時が決定し、文書が通知された後、担当者間で詳細な打合せを行う。

教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートする。

利用方法

当センターWebページの「質問入力フォーム」から入力する。

サポートの方法

当センター指導主事が、電話、電子メール、オンライン等により情報を提供してサポートする。

青森県総合学校教育センター センターセミナー（年2回）

教育の今日的課題や学校を取り巻く喫緊の課題についての理解を深めるため、著名な講師を迎えセミナーを開催した。

センターセミナー

「不登校児童生徒への支援」

参加者：74名

FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏を講師に迎え、年々増加傾向にある不登校児童生徒への支援について、花輪先生が出会った数多くの不登校児童生徒や保護者、教師との事例をもとに、子ども達の社会的自立や学校復帰に向けて、周囲の大人はどのような支援を行えばよいのかを、具体的な言葉や行動で示唆していただいた。

センターセミナー

「もっと聞きたい！授業のユニバーサルデザインVol.1 ～あらためて『視覚化』を考える～」

参加者：53名

星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 氏を講師に迎え、授業UDの3つの柱「焦点化」「視覚化」「共有化」のうちの「視覚化」にスポットを当てて多くの実践例を交えながら、分かりやすく御講演いただいた。講演を通して、授業のユニバーサルデザイン化の視点でこれまでの授業実践を振り返り、明日からの授業改善につなげるためのヒントを得ることができたという声が参加者からたくさん寄せられた。

5章 青森県営体育施設

[1] 施設の概要

1 新青森県総合運動公園

所在地 青森市大字宮田字高瀬22の2

設置年月日 平成15年1月8日

敷地面積 626,000㎡

施設 (~ の総合体育館には、「マエダアリーナ」、の陸上競技場には、「カクヒログループアスレチックスタジアム」の特定呼称が付与されています。)

メインアリーナ・サブアリーナ

構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造

競技施設

(メインアリーナ) 面積2,944㎡(64m×46m)

バレーボール4、バスケットボール3、テニス3、ハンドボール2、卓球24、バドミントン14、柔道、体操、その他
観覧席 5,348人(固定席3,368人、移動席1,980人)

(サブアリーナ) 面積1,472㎡(46m×32m)

バレーボール3、バスケットボール2、テニス2、ハンドボール1、卓球12、バドミントン6、柔道、その他
(その他)シャワー室、ロッカー室、研修室等

室内プール 25m 8コース

合宿所

構造 鉄筋コンクリート造

面積 3,700㎡

収容人数等 145名

部屋タイプ：シングル20、ツイン28、トリプル3、和室(15畳)6、
食堂約100名収容、談話室、ランドリールーム、浴室、その他

テニスコート(平成23年7月23日サブコート供用開始)

面積 20,800㎡

競技施設 砂入人工芝24面(内4面サブコート)、一部ナイター照明有

観覧席 4,213席

その他 クラブハウス(トイレ、ロッカー室、シャワー室、休憩ラウンジ)、
かべ打ちテニスコート

多目的運動場

面積 21,150㎡

競技施設 天然芝

球技場(平成24年6月23日供用開始)

面積 フィールド11,620㎡(140m×83m)

競技施設 天然芝、ナイター照明完備、電光掲示板

観覧席 3,300席(固定席1,500席、芝生席1,800席)

そ の 他 本部棟（本部室、放送室、審判控室、事務室、介護室）
更衣室・トイレ棟（更衣室2チーム分、トイレ、シャワー室）
トイレ棟
倉庫

陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）

面 積 43,438.1m²

競技施設 トラック1周400m、直線140m、9コース、フィールド（天然芝）、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2

観 客 席 20,809席

補助陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）

面 積 22,802.4m²

競技施設 トラック1周400m、8コース、フィールド（天然芝）、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2

観 客 席 320席

投てき・アーチェリー場（令和元年9月1日供用開始）

面 積 23,394.9m²

競技施設 フィールド（天然芝）、砲丸投3、円盤投・ハンマー投1、やり投1

スポーツ科学センター

面 積 3,089.21m²

施設内容 トレーニングルーム、体力測定室、メンタルトレーニング室、カウンセリング室、スポーツ科学研究室、スタジオ、リコンディショニング室、キッズルーム

遊具広場

面 積 11,000m²

整備施設 複合遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）

跳躍遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）

単体遊具 16基（児童用 14基、幼児用 2基）

健康遊具 10基（大人用）

監視カメラ 1台

四 阿 3基

ベンチ 3基

2 青森県総合運動公園

所 在 地 青森市大字安田字近野234の7

設置年月日 昭和41年6月5日

敷地面積 171,000m²

競技施設

野 球 場

グラウンド 本塁・センター間121m 両翼93m

観 覧 席 21,016人

メインスタンド 1,492人
内野スタンド 3,524人
外野スタンド 16,000人
水泳場 令和6年3月31日供用終了
競技施設 屋外プール(50m・日本水泳連盟公認)・屋内プール(25m)、徒渉プール(変形)・深水プール
観覧席 800人

公園施設

中央広場
展望広場 面積 1,052.2㎡
旧陸上競技場(旧主競技場及び旧補助競技場)
令和2年7月17日園地として一般開放

3 盛運輸アリーナ(青森県営スケート場)

所在地 青森市大字浜田字豊田地内

設置年月日 昭和60年11月1日

敷地面積 42,769.74㎡

建築面積 11,884.208㎡

施設規模

屋内施設

ア スケートリンク 冬期間はアイススケートリンク、夏期間はインラインスケートリンク
1周250mスピードリンク1面、ホッケーリンク1面
(30m×60m)

イ スポーツライミング施設 ボルダリング壁 高さ 約5.3m 幅 約18m
リード壁 高さ 約13.7m 幅 約12m

ウ 観覧席 1,058席(固定席)

エ 事務室、会議室、選手控室、食堂、ロッカー室、貸靴コーナー、採暖室他
オ 機械室(空調、ボイラー、電気室等)

屋外施設

ア 運動広場 3,900㎡

イ ジョギングコース 1周860m

4 青森県武道館

所在地 弘前市大字豊田2丁目3番

設置年月日 平成12年5月1日

敷地面積 22,810㎡

施設

武道館

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設

(主競技場) 面積2,265㎡(47.6m×47.6m)、相撲1(移動式土俵)、柔道8、剣道9、バスケットボール2、バレーボール2、卓球20、バドミントン10、テニス2、体操、その他

観覧席5,000人

(固定席1,700人、移動式席640人、移動椅子席2,660人)

(補助競技場) 面積 419㎡、各種競技の練習等の多目的利用

(柔道場) 面積 529㎡、2面

(剣道場) 面積 529㎡、2面

(相撲場) 面積 777㎡、常設土俵1、支度部屋、観覧席480人(ます席)

(近的弓道場) 面積 1,344㎡、射場12人立、射程28m、観覧席100人

(トレーニング室)、(会議室)、(軽食・喫茶室)

合宿棟

構造 鉄筋コンクリート造

面積 1,626.9㎡

宿泊人員等 宿泊100人程度、和室16室(1～4階)、ミーティングルーム兼食堂

遠的弓道場

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設 射場 6人立、射程 60m

観覧席 100人程度(固定席)

[2] 事 業

1 指定管理者による各施設の管理・運営

- ・新青森県総合運動公園

指定管理者 スポーツ青い森グループ

- ・青森県総合運動公園

指定管理者 スポーツ青い森グループ

- ・盛運輸アリーナ（青森県営スケート場）

指定管理者 豊産管理㈱

- ・青森県武道館

指定管理者 （公財）弘前市スポーツ協会

令和5年度に新青森県総合運動公園（マエダアリーナ、カクヒログループアスレチックスタジアム等）、青森県総合運動公園、盛運輸アリーナ（青森県営スケート場）及び青森県武道館で行われた主な大会等は、次の表のとおりである。

施設の利用状況

主な大会等

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	・マエダアリーナ（メイン/サブ）	
	東青地区バウンドテニス親善大会	4月2日
	STARDOM in AOMORI	4月8日
	青森県銃剣道選手権大会	4月9日
	青森山田高校バトミントン部練習	4月10日
	青森明の星中学校オリエンテーション	4月12日～14日
	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	4月14日～16日
	青森県中学校剣道錬成会	4月15日
	第42回全日本クラブ卓球選手権大会青森県予選会	4月16日
	第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」総合視察	4月19日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会 第1回ワーキングチーム会議	4月20日
	2023東北ジュニアトランポリンカップシリーズ第1戦	4月21日～22日
	令和5年度第23回青森県高等学校春季卓球選手権大会東青地区予選	4月22日
	第30回青森県バウンドテニス選手権大会	4月23日
	令和5年度あおもりスポーツアカデミー事業「第1回育成プログラム及び認定証交付式」	4月28日～29日
	東青地区春季中学校バスケットボール大会	4月28日～29日
	青森県中学校剣道春季大会	4月30日～5月2日
	第5回AOMORI VENUS CUP	5月2日～3日
	青森県中学校春季バドミントン選手権大会	5月3日～4日
	2023年度青森県小学生バレーボール審判伝達講習会	5月5日～6日
スプリングカップ第39回青森市小学生バレーボール強化交流大会	5月7日	
令和5年度青森県高等学校春季バレー選手権大会	5月12日～14日	
青森県私立高等学校春季バレーボール交流大会	5月12日	
スポーツ交流会	5月19日	
新日本プロレスBEST OF THE SUPER Jr.	5月19日	
令和5年度第76回青森県高等学校総合体育大会卓球競技会兼全国高等学校総合体育大会・東北大会青森県予選会東青地区予選会	5月20日	

区分	行 事 名	期 間
新	青森市社会人卓球リーグ戦(前期)	5月21日
	中学校バスケット合同練習試合	5月21日
青	青森ワッツ ブースター感謝祭	5月27日
	青森県ママさんバレーボール連盟審判講習会	5月28日
森	青森市小・中学生卓球大会	5月28日
	第76回青森県高等学校総合体育大会	5月31日～6月2日
青	第76回青森県高等学校総合体育大会バドミントン競技	6月2日～5日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会運営協議会	6月8日
森	第73回青森県高等学校定時制通信制総合体育大会卓球競技	6月10日
	第41回全国・第37回北日本ホープズ卓球大会青森県予選会	6月10日
森	令和5年度弘前第一養護学校中学部宿泊学習	6月15日
	令和5年度第74回東青地区中学校体育大会夏季大会バスケットボール競技	6月16日～19日
森	青森県フットサルリーグ	6月18日
	令和5年度東北高等学校バスケットボール選手権大会	6月19日
森	令和5年度東北高等学校バスケットボール選手権大会	6月23日～25日
	青森県立第二養護学校小学部第5学年宿泊生活学習	6月29日
県	第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレーボール競技	6月30日～7月1日
	第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭オープニングセレモニー準備	6月30日
森	第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭オープニングセレモニー、綱引・トランポリン競技	7月1日
	第43回全日本バレーボール小学生大会青森県大会	7月2日
総	青森県特別支援学校技能検定・発表会 第2回ワーキングチーム会議	7月6日
	令和5年度東北地区聾学校卓球大会青森大会	7月7日～9日
森	令和5年度第3回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月12日～13日
	令和5年度第74回青森県中学校体育大会夏季大会卓球競技	7月15日～17日
合	青森FC交流大会	7月15日
	バスケットボール大会夏	7月16日
運	青森県私立高等学校バレーボール選手権大会兼私立高等学校男女バレーボール選手権大会青森県予選会	7月17日
	第35回青森県小学生バレーボール親善交流大会	7月22日
森	青森県フットサルリーグ	7月23日
	青森市卓球協会創立100周年記念第2回VICTAS杯卓球選手権大会	7月23日
動	第39回全国選抜フットサル大会東北大会	7月29日～30日
	aolMOri COSplay	7月31日
公	青森県国スポ男子強化練習会事業	8月4日～7日
	青森県U15クラブリーグ戦	8月4日～6日
園	令和5年度第51回東北中学校ソフトテニス大会	8月7日～10日
	第38回青森県トランポリン競技選手権大会	8月11日～12日
森	JFA第29回全日本U-15フットサル選手権大会青森県大会	8月11日～12日
	第11回PIPE CLUB 交流大会	8月18日～20日
園	青森市夏季剣道練成大会兼飛龍杯争奪剣道大会	8月19日～20日
	社会福祉法人和幸福大運動会	8月26日
森	青森県フットサルリーグ	8月27日
	2023青森県ママさんバレーボール親善大会	8月27日
森	オールサンデーユニオンチーム対抗球技大会	8月28日
	第33回東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会	9月1日～3日
森	第32回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会東北ブロック予選会	9月8日～10日

区分	行 事 名	期 間		
新	令和5年度第74回青森市中学校体育大会秋季大会	9月15日～17日		
	青森県フットサルリーグ	9月18日		
	令和5年度第74回青森市中学校体育大会秋季大会	9月18日		
	聖ウルスラ学院英智高等学校吹奏楽部吹奏楽リハーサル	9月20日		
	青森県特別支援学校技能検定・発表会 第3回ワーキングチーム会議	9月21日		
	令和5年度第24回あおもりシニアフェスティバル「ラージボール卓球」「剣道」「なぎなた」「ソフトバレーボール」「バウンドテニス」交流大会	9月22日		
	令和5年度あおもりスポーツアカデミー事業「発掘プログラム（一次選考会）」	9月23日～24日		
	令和5年度第24回あおもりシニアフェスティバル「ラージボール卓球」「剣道」「なぎなた」交流大会	9月23日		
	令和5年度第24回あおもりシニアフェスティバル「ソフトバレーボール」「バウンドテニス」交流大会	9月24日		
	第42回全日本小学生バウンドフェスティバル東北大会・第36回全日本マーチングコンテスト東北大会	9月30日～10月1日		
青	2023ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場青森大会	10月2日		
	秋のEthics Fan Meeting 2023 in 東北	10月6日～7日		
	東北地区支部設立58周年記念講演会	10月6日～7日		
	令和5年度第24回あおもりシニアフェスティバル「太極拳」交流大会	10月8日～9日		
	第31回青森県障害者スポーツ大会バレーボール競技の部	10月8日		
	青森県U-10フットサル大会	10月9日		
	森	第41回青森県社会人バスケットボール大会	10月13日～15日	
		キッズキャンパス	10月16日	
		第21回臙懸杯バドミントン大会	10月21日	
		KIDS Campus Sports Festival 2023	10月21日	
令和5年度あおもりスポーツアカデミー事業「第3回育成プログラム」		10月22日		
青森県特別支援学校技能検定・発表会 第4回ワーキングチーム会議		10月24日		
青森県特別支援学校技能検定・発表会		10月25日		
第57回全日本社会人卓球選手権大会		10月26日～29日		
県		第34回ナガセ杯東北レディースインドア大会県予選	11月2日	
		第42回秋季選抜小学生バレーボール青森大会	11月2日～3日	
	令和5年度青森県高等学校卓球新人選手権大会	11月3日～6日		
	令和5年度青森県高等学校新人バスケットボール大会	11月10日～12日		
	運	第73回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会	11月17日～19日	
		第26回青森県ユニバーサルホッケー選手権大会	11月19日	
		あおもりマーチングフェスタ2023	11月23日	
		第65回青森県卓球選手権大会	11月24日～26日	
		動	青森県フットサルリーグ	11月26日
			青森山田高校バドミントン部練習	11月30日
第76回東京卓球選手権大会青森県予選会			12月1日～2日	
第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会青森県大会			12月3日	
公			青森県フットサルリーグ	12月3日
			第5回東北U-18選抜フットサル大会	12月9日～10日
	令和5年度ソフトテニス中学生強化事業合同練習会		12月9日～10日	
	aoIMOri COSplay		12月12日	
	園		2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	12月15日～18日
			WillISCソフトテニスクリニック	12月15日
		2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	12月20日～21日	
		Club D交流大会	12月22日～24日	
		JFA第29回全日本フットサル選手権大会東北大会	12月22日	

区分	行 事 名	期 間
新	JFA第29回全日本フットサル選手権大会東北大会	12月24日
	県下高校室内テニス大会	12月25日～26日
	令和5年度全国高体連卓球専門部冬季合宿兼海外遠征二次選考会	1月4日～7日
	令和5年度全国指導者講習会	1月4日～7日
	あおりフットサルリーグ2023	1月8日
	F.challenge2024強化大会青森インドア	1月8日
	青森中学校冬季バドミントン選手権大会	1月12日～13日
	第21回全国ホープス選抜卓球大会青森県予選会	1月14日
	あおりフットサルリーグ2023	1月14日
	全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会	1月18日～21日
青	2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	1月26日～2月1日
	TSC青森ソフトテニス強化大会	1月27日～28日
	森	
	教員指導者研修会	2月3日
	会長杯第2回青森オープン大会	2月3日～4日
	F.challenge スキルアップ講習会	2月3日～4日
	あおりフットサルリーグ2023	2月4日
	県	
	青森県選抜中学校インドアソフトテニス選手権大会	2月10日～11日
	F.challenge CUP	2月12日
総	2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	2月16日～18日
	青森県森林組合職員連盟 冬の大会運動会	2月16日
	F.challenge ソフトテニス講習会	2月17日
	あおりフットサルリーグ2023	2月18日
	令和5年度あおりスポーツアカデミー事業「第5回育成プログラム」	2月23日
	東青地区小・中学校ソフトテニス講習会(Step1地域講習会)	2月23日
	合	
	青森市ジュニア卓球選手権大会及び青森市カブ・バンビ卓球大会	2月24日
	青森市社会人卓球リーグ戦(後期)	2月25日
	あおりフットサルリーグ2023	2月25日
運	2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	3月1日～3日
	F.challenge ジュニアソフトテニス大会	3月2日
	あおりフットサルリーグ2023	3月3日
	F.challenge 練習会・講習会	3月3日
	FINAL STAGE2023 U-12バスケットボール選手権大会	3月8日～10日
	動	
	フットサル大会春	3月9日
	AOFA青森県フットサル大会	3月10日
	青森県マスターズテニス協会青森地区交流大会	3月12日
	榎引正敏カップフットサル大会	3月16日
公	F.challenge ジュニアソフトテニス大会	3月16日
	第26回青森県ユニバーサルホッケー交流大会	3月17日
	青森県ソフトテニスジュニアサーキット大会、青森県公認ソフトテニス審判講習会	3月17日
	第22回青森マスターズフットサルフェスタ	3月20日
	園	
	青森県少林寺拳法連盟 考試員・審判員講習会	3月20日
	F.challenge 練習会・講習会	3月20日
	第22回青森マスターズフットサルフェスタ	3月21日
	2023-24 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	3月22日～24日
	ユアテックユニオン青森支部 2023年度青年スポーツ大会～健康促進運動in青森～	3月23日

区分	行 事 名	期 間
	2023-24 B2. LEAGUE青森ワッツ公式戦 バスケットボール大会春	3月29日～31日 3月31日
	・テニスコート	
新	青森地区高等学校ソフトテニス春季大会	4月15日
	青森県シングルス・ソフトテニス選手権大会	4月16日
	令和5年度青森オープンジュニアチーム対抗テニス大会	4月22日～23日
	Princeレディーステニストーナメント2023	4月26日～27日
青	令和5年度県下高校春季テニス選手権大会中央地区予選会	4月29日～30日
	青森市民春季ソフトテニス大会	4月30日
	青森県ジュニア選手権	5月3日～5日
	第72回青森県高等学校ソフトテニス春季大会兼第52回コーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス大会2023青森県代表選考会	5月7日～9日
森	カトリア杯 チャリティ親睦試合	5月10日
	青森県マスターズテニス春季大会	5月11日～12日
	青森県春季シングルス選手権兼国スポ一次予選(男女A・B・ベテラン男女)	5月14日
	青森県ソフトテニス選手権大会	5月14日
県	第46回東北都市対抗テニス大会	5月20日～21日
	青森県中学生春季ソフトテニス選手権大会	5月27日～28日
	第45回全日本レディース青森県大会	6月1日
	第76回青森県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技	6月3日～6日
総	第73回青森県高等学校定時制通信制総合体育大会 ソフトテニス競技	6月10日
	令和5年度高体連テニス専門部中央地区強化練習会	6月10日
	青森県春季ダブルス選手権兼国スポ一次予選(男女A・B・ベテラン男女)	6月11日
	令和5年度 北東北マスターズテニス大会	6月15日
合	第37回東北レディーステニス県団体対抗戦 青森県予選会(第23回)	6月17日
	青森県成年国スポ二次予選・兼全日本県予選	6月18日
	Fチャレンジカップ	6月18日
	第37回東北レディーステニス県団体対抗戦 青森県予選会(第23回)	6月19日
運	第19回青森県レディースミズノカップ大会	6月23日
	東北6県職員対抗テニス大会	6月24日～25日
	弘前大学医学部 交流試合	6月25日
	青森県少年国スポ選手選考会 ダンロップジュニア選手権	7月1日～2日
動	第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭 テニス・ソフトテニス競技	7月2日
	青森市シングルス・ソフトテニス大会	7月8日
	第44回東北レディースソフトテニス大会	7月9日
	青森マスターズテニス協会ふれあい大会	7月12日～13日
公	令和5年度第74回青森県中学校体育大会	7月15日～17日
	ピンクリボンレディーステニス大会by Admiral	7月19日～20日
	第18回青森県ジュニア・オープンソフトテニス大会	7月22日～23日
	国体・インターハイ強化 合宿	7月26日～28日
園	青森県サマーカップジュニアテニス大会	7月26日～27日
	第9回青森県中学生学年別シングルス・ソフトテニス大会	7月29日
	第17回競技者育成プログラムStep3東北ブロック最終選考会兼第5回青森県ソフトテニス・クラブ選手権大会	7月30日
	青森県ヨネックスカップジュニア選手権	8月5日～6日
	令和5年度第51回東北中学校ソフトテニス大会	8月7日～10日

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	北海道・北東北テニス大会	8月11日～12日
	第73回東奥日報杯県下総合ソフトテニス選手権大会	8月13日
	青森県ジュニアテニス夏季強化練習会	8月16日～18日
	青森市民チーム対抗ソフトテニス大会	8月20日
	青森地区高等学校ソフトテニス新人大会 個人戦	8月26日
	第18回青森市小学生ソフトテニス大会	8月26日
	東北DUNLOP SRIXON県予選 男女ABベテラン男女	8月27日
	青森地区高等学校ソフトテニス新人大会 個人戦	8月27日
	ソニー生命カップ 第45回全国レディーステニス大会 青森県大会	8月30日
	第28回東北秋季ジュニアテニス選手権大会・中牟田杯選考会	9月2日～3日
	第45回県下レディースルーセント杯選手権大会(団体戦)	9月7日
	ソニー生命カップ 第45回全国レディーステニス大会 青森県大会	9月9日
	青森市民クラブ対抗ソフトテニス大会	9月9日
	MUFGジュニア24県予選	9月10日
	青森市中高生ソフトテニス講習会及び強化練習試合	9月10日
	令和5年度青森県高等学校テニス選手権大会	9月15日～17日
	第4回みちのくオープンベテランテニス選手権大会	9月18日～24日
	令和5年度 第24回あおもりシニアフェスティバル テニス・ソフトテニス交流大会	9月24日
	第16回YONEX杯青森県レディース大会	9月28日
	青森県下中学校ソフトテニス選手権大会	9月30日～10月1日
第18回北東北三県(秋田・岩手・青森)対抗戦	10月4日	
東北春季ジュニア県予選	10月7日～8日	
第18回青森県ミックスダブルス・ソフトテニス大会	10月9日	
DUNLOP SRIXONジュニアダブルス選手権	10月14日～15日	
東北インドアダブルス選手権	10月15日	
第16回YONEX杯青森県レディース大会	10月16日	
ヨネックスレディースチャレンジカップ2023	10月25日	
第24回ルーセントカップin青森	10月28日～29日	
第2回Fチャレンジカップ争奪戦	11月3日	
2023年度青森県学生テニス選手権大会	11月4日～5日	
Fチャレンジシングルス大会	11月5日	
KURO球納め交流試合	11月11日	
青森工業高校強化練習会	11月11日	
	・多目的運動場(旧アーチェリー場)	
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなるリーグ3部	6月3日～4日
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなるリーグ3部	6月24日～25日
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなるリーグ3部	7月8日～9日
	所沢トレセン招待大会	7月15日～17日
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなるリーグ3部	7月22日～23日
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなるリーグ3部	8月5日～6日
	青森FC サッカー交流戦	8月15日～17日
	AOFA2023 トンボ U-11サッカー青森大会	8月19日～20日
	AOFA2023 トンボ U-11サッカー青森県大会 青森地区予選	8月16日～18日
	令和5年度 第24回あおもりシニアフェスティバル ゲートボール・ベタンク交流大会	9月23日～24日

区分	行 事 名	期 間
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなろリーグ3部	9月30日～10月1日
	JFA 2023 U-12サッカーリーグ 青森県あすなろリーグ3部	10月9日
新 青 森 県	・球技場	
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	4月29日～30日
	中学生ラグビー選抜合宿	5月20日～21日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	5月27日～28日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	6月10日～11日
	第74回東北高等学校ラグビーフットボール大会	6月16日～19日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	6月24日～25日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	7月8日～9日
	第3回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月12日～13日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	7月22日～23日
森 県	青森ユースサッカーフェスティバル(中学)	7月26日～28日
	青森ユースサッカーフェスティバル(高校)	8月18日～20日
	第31回青森県民駅伝競走大会	9月3日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	9月9日～10日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	9月23日～24日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	9月30日～10月1日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月5日
	第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月21日～22日
	第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月27日～28日
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	11月11日～12日
総 合 運 動 公 園	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	11月18日～19日
	・室内プール	
	小学校体育実技(着衣泳)研修講座	5月23日
	令和5年度青森県公立学校教員採用候補者選考試験二次試験	9月23日
	第31回青森県障害者スポーツ大会水泳競技の部	10月8日
	・陸上競技場(主/補助)	
	2023マエダ桜まつり健康マラソン大会	4月15日
	青森県春季陸上競技選手権	5月4日～6日
	第37回東青地区中学校春季陸上競技選手権大会兼2023年東青小学生陸上競技記録会	5月13日～14日
	第70回青森県高等学校総合体育大会陸上競技兼第73回青森県高等学校校定時制・通信制総合体育大会陸上競技	5月26日～29日
第36回青森県自治体職員職域対抗駅伝大会	6月10日	
公 園	建設ICT施工講習会	6月14日
	第74回東青地区中学校体育大会夏季大会	6月17日～18日
	第70回青森市小学校体育デー	6月23日
	第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭・マスターズ陸上競技	6月24日
	全国小学生陸上競技交流大会青森県予選会	6月25日
	令和5年度青森県立青森工業高等学校運動会	6月30日
	全日本中学校通信陸上競技青森県大会	7月1日～2日
	第51回市職労団結駅伝大会	7月8日
	第3回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月13日

区分	行 事 名	期 間		
新	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	7月15日		
	第74回青森県中学校体育大会夏季大会	7月16日～17日		
	東奥学園高等学校体育祭	7月19日		
	第14回東青地区陸上競技選手権大会兼第42回青森県小学生交流陸上競技大会東青ブロック予選	7月22日～23日		
	青森ユースサッカーフェスティバル	7月28日		
	第25回JFLラインメール青森FCホーム戦	7月30日		
	青森県小学生交流駅伝競走大会	8月6日		
	東日本小学生陸上競技交流大会	8月11日		
	青	2026国スポ強化事業・2023年度中学校・高校合同夏季県内選抜強化合宿	8月16日～18日	
		青森ユースサッカーフェスティバルU-18	8月20日	
第30回青森県障害者スポーツ大会陸上競技の部		8月27日		
第30回青森県障害者スポーツ大会フライングディスク競技の部		8月27日		
森		第31回青森県民駅伝競走大会	9月3日	
		青森県高等学校新人陸上競技選手権大会	9月8日～10日	
		第74回青森市中学校体育大会秋季大会	9月16日～17日	
		青森県立青森南高等学校第48回マラソン大会	9月22日	
		県	全国統一かけっこチャレンジ2023	9月24日
			ユニバース・S&B杯ちびっこ健康マラソン大会	9月30日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会		10月5日	
	青森県秋季陸上競技選手権大会		10月6日～8日	
	総		第102回全国高校サッカー選手権大会青森県大会代表決定戦	10月5日
			JAAFアスリート育成プロジェクトU13・U10クリニック	11月12日
JAAF公認ジュニアコーチ兼日本スポーツ協会公認スポーツリーダー養成講習会			11月18日	
JAAF公認ジュニアコーチ兼日本スポーツ協会公認スポーツリーダー養成講習会			11月25日	
合			2026年国スポに向けた総合選手強化事業「冬季ADT」	12月10日
			令和5年度第1回冬季県内選抜週末強化練習会	12月16日～17日
		青森県中学生陸上競技選抜冬季練習会	12月24日	
		青森県中学生陸上競技選抜冬季練習会	1月7日	
		運	令和5年度第2回冬季県内選抜週末強化練習会	1月13日～14日
			2026年国スポに向けた総合選手強化事業「冬季ADT」	1月27日
	令和5年度第3回冬季県内選抜週末強化練習会		1月28日	
	2026年国スポに向けた総合選手強化事業「冬季ADT」		2月17日	
	動		青森県中学生陸上競技選抜冬季練習会	2月18日
			令和5年度第4回冬季県内選抜週末強化練習会	2月24日～25日
令和5年度第5回冬季県内選抜週末強化練習会			3月2日～3日	
令和5年度第6回冬季県内選抜週末強化練習会			3月9日	
公			2026年国スポに向けた総合選手強化事業「冬季ADT」	3月10日
			・投てき、アーチェリー場	
		青森県高等学校アーチェリー春季大会	4月28日～30日	
		青森県春季陸上競技選手権大会	5月4日～6日	
		第32回全日本学生アーチェリー東日本大会	5月19日～20日	
		第75回青森県高等学校総合体育大会陸上競技件第72回青森県高等学校校定時制・通信制総合体育大会陸上競技	5月26日～29日	
	第76回青森県高等学校総合体育大会アーチェリー競技	6月2日～4日		
	第1回青森県高校アーチェリー記録会	7月28日～29日		

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	リベルタベースボール大会初夏	6月18日
	令和5年度国民体育大会鹿児島大会アーチェリー競技青森県最終予選	7月1日～2日
	第74回青森県中学校体育大会夏季大会	7月16日～17日
	アーチェリー夏季選手強化講習会	7月22日～24日
	国スポ強化合宿	8月16日～17日
	2023年度中学校・高校合同夏季県内選抜強化合宿	8月17日～18日
	あおもり夏季投てき記録会	8月19日
	第31回青森県障害者スポーツ大会陸上競技の部	8月27日
	第31回青森県障害者スポーツ大会アーチェリー競技の部	9月2日
	第31回青森県民駅伝競走大会	9月3日
	青森県高等学校新人陸上競技選手権大会	9月8日～10日
	全国高等学校アーチェリー選抜大会青森県予選会	9月29日～10月1日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月5日
	青森県秋季陸上競技選手権大会	10月6日～8日
	・多目的広場	
	中学生ラグビー選抜合宿	5月20日～21日
第74回東北高等学校ラグビーフットボール大会	6月18日	
第3回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月12日～13日	
青森ユースサッカーフェスティバル(中学)	7月27日～28日	
第31回青森県民駅伝競走大会	9月3日	
第24回あおもりシニアフェスティバル「ターゲット・バードゴルフ」交流大会	9月23日～24日	
青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月5日	
第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月21日～22日	
第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月27日～28日	
青 森 県 総 合 運 動 公 園	・野球場	
	令和5年度春季青森地区高等学校交流試合	4月15日
	令和5年度春季青森地区高等学校交流試合	4月22日～23日
	第7回青森市軟式野球連盟会長杯争奪少年軟式野球大会兼第40回全日本少年軟式野球大会青森支部予選会	5月3日～5日
	令和5年度 春季青森県高等学校野球選手権大会	5月9日
	第16回青森県古希軟式野球大会	5月11日
	2023年度 北東北大学野球春季リーグ戦	5月13日～15日
	第16回青森県古希軟式野球大会	5月18日
	令和5年度 春季青森県高等学校野球選手権大会	5月20日～22日
	令和5年度 春季青森県高等学校野球選手権大会	5月27日
	令和5年度 春季青森県高等学校野球選手権大会	5月29日
	第16回青森県古希軟式野球大会	6月1日
	令和5年度東北地区高等学校野球連盟審判講習会	6月3日～4日
第5回青森県スーパーエイジ野球大会	6月5日	
高松宮賜杯第67回全日本軟式野球大会(1部)青森県予選	6月10日～11日	
第5回青森県スーパーエイジ野球大会	6月12日	
令和5年度第74回東青地区中学校体育大会夏季大会野球競技	6月17日～20日	
高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント青森県大会	6月24日～25日	
2023年度 北東北大学野球新人戦	7月1日～3日	

区分	行 事 名	期 間
青 森 県 総 合 運 動 公 園	第54回青森県少年軟式野球大会（小学生の部）青森支部予選会	7月8日～9日
	第13回エービッツ旗学童親善野球大会	7月17日
	第4回2023ロータスクラブ青森カップ少年軟式野球大会	7月22日～23日
	第47回全日本クラブ選手権第2次予選東北大会	7月28日～31日
	文部科学大臣杯第15回全日本少年春季軟式野球大会兼第21回東北少年軟式野球新人大会青森支部予選会	8月5日～6日
	令和5年度 青森県高校野球リーグ戦大会	8月11日～12日
	令和5年度 青森県高校野球リーグ戦大会	8月17日
	2023年度 北東北大学野球秋季リーグ戦	8月19日～21日
	第35回青森県選層野球大会	8月26日～27日
	2023CBS少年軟式野球東日本大会青森県強化交流試合	9月2日
	2023MLBドリームカップ全国軟式野球大会青森県予選会（後期）	9月3日
	令和5年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会	9月9日～11日
	令和5年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会	9月16日～18日
	令和5年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会	9月23日～24日
	第6回NEXTチャレンジカップ	9月30日
	令和5年第29回東奥日報社杯争奪青森県熟年野球選手権大会	10月1日
	令和5年第29回東奥日報社杯争奪青森県熟年野球選手権大会	10月8日
	第13回エービッツ旗学童親善野球大会	10月9日
	第3回YAMADAカップ	10月14日～15日
	第7回CBS少年軟式野球「学童新人」全国大会青森県予選会	10月28日～29日
第1回CBS中学生クラブ軟式野球東北大会青森県予選会	11月3日	
・水泳場		
第76回青森県高等学校選手権水泳競技大会第71回東北高等学校選手権水泳大会県予選会	6月16日～18日	
第27回青森県選手権水球競技大会	6月24日～25日	
令和5年度第74回青森県中学校体育大会夏季大会 水泳競技	7月15日～18日	
青森県選手権水泳競技大会（競泳）	7月29日～30日	
盛 運 輸 ア リ ー ナ （ 青 森 県 管 営 ス ケ ー ト 場 ）	インラインスケートリンクオープン・オープンイベント	4月22日～23日
	第78回国民体育大会スポーツクライミング競技青森県予選大会	4月29日
	スポーツクライミンググリード使用者認定講習会	5月7日
	ジュニアインラインホッケー教室(自主事業)	5月～8月
	インラインスケートスクール全9コース	5月～8月
	三代目JSOUL BROTHERS LIVE TOUR 2023 STARS	5月27日～28日
	水樹奈々LIVE TOUR 2023	7月2日
	クライミングチャレンジデー	7月15日
	スポーツクライミングデー(自主事業)	7月22日
	Housan Cup インラインホッケー大会	8月16日～25日
	ジャパンオープンインラインホッケー大会	8月26日～27日
	インラインスケートフェスタ	9月10日
	ブリヂストンタイヤ試乗会	10月12日～13日
	アイススケートリンクオープン・オープンイベント	10月14日～15日
	ヨコハマタイヤ試乗会	10月16日
ダンロップタイヤ試乗会	10月20日	
ジュニアアイスホッケー教室(自主事業)	10月～3月	

区分	行 事 名	期 間
青 森 県 武 道 館	公益財団法人弘前市スポーツ協会ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト新体操講習会	8月3日～4日
	公益財団法人弘前市スポーツ協会ターゲットエイジ育成・強化プロジェクトバレーボール講習会	8月12日～13日
	公益財団法人弘前市スポーツ協会ターゲットエイジ育成・強化プロジェクトバスケットボール講習会	8月16日
	弘前東高校球技大会	8月31日～9月1日
	日本柔道整復師会東北ブロック会「第29回東北少年柔道大会」「第10回東北少年形競技会」	9月2日～3日
	令和5年度第26回津軽地区ソフトバレーボール大会	9月3日
	令和5年度弘前地区・南地方中学校体育大会秋季大会バレーボール競技	9月9日
	第23回全東北空手道選手権大会	9月10日
	第27回県下高等学校弓道遠の大会	9月10日
	弘前学院聖愛中学高等学校スポーツ大会	9月15日
	令和5年度あおもりスポーツアカデミー事業「発掘プログラム(一次選考会)」	9月16日～17日
	第31回全国ソフトバレー・シルバーフェスティバルin弘前	10月7日～8日
	令和5年度秋季津軽地区高等学校弓道大会	10月7日～8日
	令和5年度青森県高等学校新人柔道津軽地区大会	10月8日
	ひろさき絆カップ2023バスケットボール、柔道大会	10月14日～15日
	令和5年度青森県高等学校体操競技・新体操選手権新人大会第37回東北ジュニア新体操選手権大会青森県予選会	10月21日～22日
	令和5年度秋季県下高等学校弓道大会	10月21日～22日
	県民共済カップ第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦	10月28日～29日
	第18回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会	11月4日～5日
	令和5年度青森県高等学校新人柔道大会兼全国高等学校柔道選手権大会県予選	11月11日～12日
第31回東北青森県高等学校相撲選抜大会	11月18日	
青森ワッツVS福島ファイヤーボンズ戦	12月2日～3日	
2023冬季ソフトバレーボール青森県フェスティバル	12月10日	
2023年青森県極真空手道新人錬成大会	12月10日	
第1回若の里杯相撲大会	12月10日	
青森県武道館トップアスリート交流事業柔道教室	12月15日～17日	
克雪弓道大会	12月17日	
青森ワッツホームゲーム青森VS福岡	2月2日～4日	

利用者数

ア 新青森県総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
メインアリーナ	2,351	9,620	16,757	4,841	5,088	10,986	8,068	10,644	5,107	11,669	3,692	3,034	91,857
サブアリーナ	3,631	5,913	12,658	3,191	4,058	6,786	7,688	5,990	3,401	10,794	2,637	2,793	69,540
プー ル	1,582	2,688	3,231	4,379	4,545	1,105	1,936	2,331	2,311	2,406	2,783	2,268	31,565
トレーニングルーム	3,884	4,259	4,043	4,571	4,286	2,978	3,861	4,284	4,298	5,078	5,372	4,646	51,560
庭 球 場	4,420	9,111	6,715	8,672	6,643	8,978	5,819	1,426	0	0	0	0	51,784
多目的運動場	20	0	450	790	843	885	300	73	0	0	0	0	3,361
球 技 場	158	328	2,534	725	300	378	1,367	314	0	0	0	0	6,104
合 宿 所	692	1,169	1,101	1,511	1,992	873	592	513	260	210	459	181	9,553
陸上競技場	2,021	14,439	9,216	8,834	5,052	11,851	4,826	943	765	1,005	995	840	60,787
室内練習場	611	554	313	296	300	394	548	1,363	1,601	1,814	1,519	1,774	11,087
周 回 走 路	655	283	267	203	291	278	459	978	2,539	2,447	2,053	1,621	12,074
陸上競技場 トレーニングルーム	449	305	341	260	419	424	500	438	650	655	740	567	5,748
補助競技場	220	12,282	6,347	7,514	2,479	9,087	3,876	0	0	0	0	0	41,805
投 て き ・ アーチェリー場	495	2,425	916	1,140	566	946	1,216	4	0	0	0	0	7,708
観 客 ・ 見 学	6,750	15,550	15,970	17,670	4,300	14,035	10,854	13,505	5,580	6,900	5,300	9,250	125,664
計	27,939	78,926	80,859	64,597	41,162	69,984	51,910	42,806	26,512	42,978	25,550	26,974	580,197

イ 青森県総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
陸上競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野 球 場	570	2,020	3,460	2,665	2,266	1,260	1,223	198	0	0	0	0	13,662
水 泳 場	0	0	1,300	4,726	1,263	0	0	0	0	0	0	0	7,289
観 客 ・ 見 学	350	2,050	3,120	2,550	1,915	2,110	1,140	320	0	0	0	0	13,555
計	920	4,070	7,880	9,941	5,444	3,370	2,363	518	0	0	0	0	34,506

ウ 盛運輸アリーナ（青森県営スケート場）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	894	22,661	2,665	7,305	2,379	623	2,945	7,602	8,023	13,118	9,124	6,097	83,436

エ 青森県武道館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主競技場	5,201	7,010	11,169	7,742	2,312	6,827	5,248	5,116	4,102	0	3,007	3,467	61,201
補助競技場	878	652	547	868	867	838	809	1,019	458	0	1,405	960	9,301
柔道場	1,152	1,241	861	1,214	1,277	1,162	940	1,007	415	0	888	727	10,884
剣道場	554	418	556	830	559	632	696	626	314	0	492	354	6,031
相撲場	0	260	218	188	0	0	0	185	625	0	0	0	1,476
近的弓道場	506	2,444	3,312	271	459	321	2,406	492	879	0	0	338	11,428
遠的弓道場	119	113	288	135	115	293	91	106	42	0	188	37	1,527
会議室	793	659	728	1,011	483	750	1,238	1,017	318	0	577	619	8,193
トレーニングルーム	2,105	2,109	2,421	2,435	2,162	2,116	2,407	2,391	1,468	0	2,365	2,177	24,156
合宿所	135	227	144	449	317	118	81	191	50	174	491	0	2,377
観客・見学	0	0	0	0	0	86	0	0	0	0	0	207	293
計	11,443	15,133	20,244	15,143	8,551	13,143	13,916	12,150	8,671	174	9,413	8,886	136,867

オ 過去3年間の利用状況

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新青森県総合運動公園	376,223	807,377	580,197
青森県総合運動公園	18,740	18,071	34,506
盛運輸アリーナ	46,131	95,552	83,436
青森県武道館	77,594	112,791	136,867

2 スポーツ事業

県民スポーツ関連事業

多様化するスポーツ・レクリエーション活動に対する県民ニーズに的確に対応し、「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽に楽しめる生涯スポーツの普及振興を図るため、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
第31回青森県民駅伝競走大会	9月3日	青森県観光物産館アスパム前を出発点とし、カクヒログループアスレチックスタジアムを決勝点とする片道コース	・対象 40市町村代表選手 ・内容 市町村対抗による駅伝競走大会	選手団 805名 関係役員 698名
第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭	6月～11月	県 内 7市5町1村	・対象 種目別大会参加者 ・内容 33種目別大会の開催	参加者 3,768名 関係役員 471名

競技スポーツ関連事業

本県競技力向上を図ることを目的として、指導者の資質向上やジュニア層の育成強化、県内外での強化合宿等をはじめとする各種競技力向上対策事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
総合選手強化事業	通 年	国 内	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 関係競技団体が実施する、国内における合宿に対する補助金交付	4,349名
中学生強化事業	通 年	県 内 外	・対象 中体連、関係競技団体 ・内容 中体連が実施する県内外における強化合宿に対する補助金交付	996名
高校生強化事業	通 年	国 内	・対象 高体連、指定高校及び関係競技団体 ・内容 高体連が実施する国内における強化合宿に対する補助金交付	1,160名
あおもりスポーツアカデミー事業	・発掘プログラム 9～10月 ・育成プログラム 年5回 ・選択プログラム 年2回	・発掘プログラム 県内3会場（青森市、弘前市、八戸市） ・育成プログラム マエダアリーナカクヒログループスタジアム 八戸大学 ・選択プログラム 八戸市東体育館 青森県武道館 マエダアリーナ	発掘プログラム ・対象 新体力テストA判定の小学4、6年生 ・内容 運動能力が高く優れた素質を有する選手を発掘するため、選考会を実施 育成プログラム ・対象 あおもりスポーツアカデミー生 165名（小5:35名、小6:35名、中1:28名、中2:36名、中3:31名） ・内容 スポーツ医・科学やトップアスリートを活用した講義、発達段階や競技特性に応じたトレーニング、県内外での競技体験の実施	・発掘プログラム 197名 ・育成プログラム 延べ260名 ・選択プログラム 延べ10名

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
			選択プログラム ・対象 小6・中3のアカデミー生 ・内容 中学校・高等学校進学以降にトップアスリートを目指す可能性のある最適な競技種目を選択できるよう、選手・保護者との面談を実施	
第50回東北総合体育大会	8月18日 ～20日 (主会期)	岩手県他	・対象 青森県代表選手・監督・本部役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競技団体等への補助金交付	役員・監督・選手 1,042名
特別国民体育大会(本国体)	10月7日 ～ 10月17日	鹿児島県	・対象 青森県代表選手・監督・本部役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競技団体等への補助金交付	役員・監督・選手 429名
第78回国民スポーツ大会(冬季)	スケート・アイスホッケー競技会 1月27日 ～ 2月3日	北海道	・対象 代表選手・監督・役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競技団体等への補助金交付	役員・監督・選手 79名
	スキー競技会 2月21日 ～24日	山形県		役員・監督・選手 52名
コーチスキルアップ事業	通 年	県 内 外	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 若手指導者の育成と資質向上を図るための指導者派遣事業、招聘事業並びに公認資格の取得支援を行う競技団体への補助金交付	指導者派遣 185名 トップレベル コーチ招聘 2,819名 資格取得支援 29名

スポーツ科学関連事業

県民の健康・体力の増進、本県競技力の向上及び体育・スポーツ指導者の資質の向上を図ることを目的として、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
アスリートプログラムサービス	通 年	県スポーツ科学センターほか	・対象 県民一般、県内外競技者 ・内容 体力、筋力、運動能力等の測定運動フォームの撮影と動作分析リコンディショニング心理サポート	体力測定 2,111名 動作分析 773名 リコンディショニング 2,849名 心理サポート 2,748名

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
チ ャーム サポート事業	通 年	県 内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 青森県高等学校体育連盟専門部から推薦を受けた高等学校の運動部（24チーム） ・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> 体力測定分野からのサポート（6チーム） ・ 定期的な体力測定と測定データの評価 ・ 評価に基づいたトレーニングプログラムの作成 ・ 作成プログラムによるトレーニング指導 動作分析分野からのサポート（6チーム） ・ 定期的・継続的なフォームの撮影と動作分析 ・ 分析結果に基づく技術改善のための情報提供 リコンディショニング分野からのサポート（6チーム） ・ スポーツ傷害予防プログラムの作成と実施指導 ・ テーピング・ボディケア等の指導 ・ 試合時におけるリコンディショニング指導 心理サポート分野からのサポート（6チーム） ・ 目標設定技法の実施と設定目標の見直し方の指導 ・ リラクゼーション技法の講義と実習 ・ イメージ技法の講義と実習 	体力測定分野 6校60回 延べ562名 動作分析分野 6校45回 延べ327名 リコンディショニング分野 6校58回 延べ464名 心理サポート分野 6校70回 延べ810名
スポーツ科学センター チームサポート指導者懇談会	第1回 (6月29日) 第2回 (2月15日)	県スポーツ科学センターほか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 チームサポート対象校顧問 ・ 内容 チームサポート事業におけるサポート内容の確認及び今後のサポートに向けた課題等についての意見交換 	第1回 24名 第2回 20名

6章 青森県立郷土館

[1] 施設・設備

所在地	青森市本町二丁目8番地14		
敷地面積	3,847.64㎡		
主要施設	旧「青森銀行本店」部分 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,123.40㎡		
増築部分	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地上3階、地下1階、塔屋2階 延床面積 6,483.43㎡		
延床面積合計	7,606.83㎡		
主要各室床面積			
展示室	常設展示室	8室	2,514㎡
	特別展示室	1室	487㎡
小ホール		1室	119㎡
収蔵庫		10室	853㎡
エントランスホール			267㎡
事務室等			3,366.83㎡

[2] 運営方針

青森県立郷土館基本的運営方針

青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

総合博物館としての当館の使命は、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及などの活動を通して、本県の歴史や自然、文化などについて誰もが幅広い理解を得られるように支援することにあります。今後も広く県民の意見を取り入れ、経営資源を最大限に生かしながら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。

1 資料の収集・保存

当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史、民俗、産業、自然などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料の収集・整理に努め、良好な状態で次の世代に継承していきます。

2 展示

収蔵資料の中からテーマごとに精選した資料を展示する常設展示室は、観覧者が分かりやすいよう資料や解説パネルを効果的に展示します。

常設展示室に解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、説明資料の配布により、来館者の学習活動を支援します。

調査研究の成果や県民の関心の高いテーマに関する資料を展示する特別展、民間事業者と連携した共催展など、多彩な展示活動を実施します。

3 調査研究

収蔵資料に関する館内研究や館外調査を実施するほか、教育普及活動を一層充実させるための研究を進めます。

4 教育普及

郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。

郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。

学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設等を支援する活動も実施します。

5 連携・交流・情報発信

県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者等と積極的に連携・協力し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。

国外の博物館や研究者との連携、訪日外国人旅行者の受入体制の整備など、博物館としての国際交流活動の充実を図ります。

郷土館の利用機会の拡大や調査研究の成果の普及に資するパンフレット、年報、展示図録、研究紀要等を作成し、県民の郷土理解の促進を図ります。

様々な広報・情報媒体を積極的に活用して郷土の歴史や文化を県内外に広く発信し、郷土館が行う博物館活動への一層の理解の促進を図ります。

6 施設管理

来館者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理を行います。

公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。

ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的維持管理を行います。

[3] 事 業

1 資料の収集・保存

資料収集・保存活動の結果、令和5年度は1点の減少となり、年度末時点における資料総数は101,624点となった。増減を分野別にみると次のとおりである。

考古 1点増（土器・石器等資料一式）

歴史 2点増（駅名標）

自然 4点減（動物剥製の管理換えによる登録解除）

2 展示

令和2年10月から休館中のため、サテライト展など館外での展示活動を行った。

サテライト展

県立美術館を会場に、日本の近代銅版画家の先駆者の一人 今純三が描いた戦前の青森の風景や暮らしを紹介するサテライト展「生誕130年 今純三 - 純三が描いた戦前の青森 -」（9月30日～1月28日）を開催した。

連携展

県内博物館・資料館など館外の施設を会場として、郷土の歴史・文化・自然をテーマとした展示を次のとおり行った。

県民福祉プラザ（青森市）との連携展

「絵はがきで見る昔の青森」（7月15日～8月31日）

深浦町歴史民俗資料館・美術館（深浦町）との連携展

「あおもり旅ものがたり」（10月21日～12月17日）

常盤ふるさと資料館あすか（藤崎町）との連携展

「加藤武夫版画展～津軽情景～」（1月5日～2月12日）

NHK青森放送局・青森市教育委員会との共催展

青森県立美術館コミュニティギャラリー

「NHK連続テレビ小説『ブギウギ』と淡谷のり子展」（2月17日～3月3日）

3 調査研究

分野ごとに設定したテーマに基づき調査を実施した。

考古分野「青森県出土考古資料の所在調査」（5年計画1年次目）

県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について、県外大学及び県内高等学校で調査を行った。

自然分野「青森県の鉱山調査」（6年計画1年次目）

青森県内で稼行していた鉱山について、文献調査と青森市東岳の鉱山跡の実地調査を行った。

歴史分野「青森県の交通史」（5年計画1年次目）

青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について、館蔵資料と弘前市立博物館所蔵資料の調査を行った。

民俗分野「現代社会の中の民俗」（7年計画1年次目）

近代の社会変化と現代の消費文化、観光などの社会的需要が、民間の儀礼や習俗にどのような影響を与え、現在の形態を形成したのかについて調査を行った。

美術分野「青森県関係の美術作品及び資料の調査研究」（5年計画1年次目）

青森県の美術作品について、昭和・平成期を中心に活躍した作家と関連資料の調査を行った。

4 教育普及

県民の郷土に対する理解を深めるため、各種講座・講演会などの実施と研究紀要・資料冊子などの刊行を行った。

土曜セミナー

一般を対象に、歴史・文化・自然に関わるテーマについて、当館職員が講演を行った。（実施回数13回）

講師派遣事業

当館の学芸員を、各分野に関する講演会・学習会などへ講師として派遣した。（実施件数14件）

移動博物館

郷土館が収蔵している資料を県内の公共施設などに運び、展示・解説を行った。（実施件数7件）

自然観察会

一般を対象に、大地のつくりや動植物の観察などを通じて、自然界の不思議や仕組みについて考え、自然に親しみ、自然のすばらしさを学ぶ「自然観察会」を行った。

夏の自然観察会（7月2日）

西目屋村 目屋溪谷

秋の自然観察会（10月1日）

今別町 高野崎

あおもり街かど探偵団

地域の歴史的建造物や街並みの歴史を探索する街歩きツアーを実施した。

第1回 「浅虫温泉と道」（6月25日）

第2回 「湯の町 浅虫の歴史」（10月15日）

博物館の仕事普及啓発事業

博物館活動や博物館資料への理解を深めるため、県内博物館職員等を対象に地域で作る博物館の展示に関する講演会を開催するとともに、当館の活動や資料解説などを掲載した小冊子を作成し関係機関に配布した。

出前授業

郷土館が収蔵している資料を県内の学校に運び、授業の中で実物資料の展示・解説を行った。（実施件数21件）

こどものくに

夏休み・冬休み中の子どもの学習を支援し、博物館に対する興味関心を深めるため、体験活動やものづくりを中心としたイベントを実施した。

夏休みこどものくに

ワークショップ「縄文を学んで作ろう ミニチュア土器&土偶」（7月30日）

冬休みこどものくに

「冬休みづくりまわし大会」（1月13日）

出版物

『青森県立郷土館報』通巻50号

『青森県立郷土館研究紀要』第48号

『青森県立郷土館だより』第54巻1～2号（通巻184～185号）

5 連携・交流・情報発信

在宅のままでも郷土館所蔵資料について楽しみながら知ることができるよう、動画投稿サイト・YouTubeに開設している公式チャンネル「キョドチャンネル」に、新たに動画コンテンツを1本追加した。

6 施設管理

耐震補強を含めた施設設備の長寿命化改修に向けて、令和4年度に取りまとめた基本計画を踏まえ、改修・展示の基本設計を行った。

[4] 利用状況

令和5年度利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	
開館日数		0	0	0	0	0	
展 示 事 業	常設展・特別展・移動展	小・中学生	0	0	0	0	0
		前年度	0	0	0	0	0
		対前年度	-	-	-	-	-
		高校・大学生	0	0	0	0	0
		前年度	0	0	0	0	0
		対前年度	-	-	-	-	-
		一般	0	0	0	2,823	5,792
		前年度	0	0	5,581	5,040	2,728
		対前年度	-	-	0.0	56.0	212.3
	観覧者合計	0	0	0	2,823	5,792	
	前年度	0	0	5,581	5,040	2,728	
	対前年度	-	-	0.0	56.0	212.3	
	1日当たり観覧者数	-	-	-	-	-	
教 育 普 及 ・ ホ ー ル 利 用 事 業	教育普及事業	資料の調査研究利用	0	0	0	0	0
		レファレンス利用	47	62	60	42	30
		講演会等への参加	0	25	29	70	9
		出前授業等の館外活動	0	40	0	9	88
		計	47	127	89	121	127
	ホール利用	展示の観覧	0	0	0	0	0
		講習会等の参加	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
	合計	47	127	89	121	127	
	前年度	33	50	69	267	177	
	対前年度	142.4	254.0	129.0	45.3	71.8	
利 用 合 計	利用者合計	47	127	89	2,944	5,919	
	前年度	33	50	5,650	5,307	2,905	
	対前年度	142.4	254.0	1.6	55.5	203.8	
	1日当たり利用者数	-	-	-	-	-	

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
-	-	-	-	-	-	-	-
325	8,697	8,441	6,921	7,610	5,385	1,174	47,168
1,361	3,246	924	4,079	3,581	0	0	26,540
23.9	267.9	913.5	169.7	212.5	-	-	177.7
325	8,697	8,441	6,921	7,610	5,385	1,174	47,168
1,361	3,246	924	4,079	3,581	0	0	26,540
23.9	267.9	913.5	169.7	212.5	-	-	177.7
-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	0	0	0	0
56	49	37	42	32	39	37	533
35	42	30	20	63	27	20	370
161	135	489	252	88	55	0	1,317
252	226	556	314	183	121	57	2,220
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
252	226	556	314	183	121	57	2,220
485	365	309	566	325	504	259	3,409
52.0	61.9	179.9	55.5	56.3	24.0	22.0	65.1
577	8,923	8,997	7,235	7,793	5,506	1,231	49,388
1,846	3,611	1,233	4,645	3,906	504	259	29,949
31.3	247.1	729.7	155.8	199.5	1,092.5	475.3	164.9
-	-	-	-	-	-	-	-

7章 青森県埋蔵文化財調査センター

[1] 施設

1 埋蔵文化財調査センター

所在地 青森市大字新城字天田内152 - 15

敷地面積 17,955.29m²

主要施設

- ア 新館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 3,123.08m²
収蔵・展示室、第1 - 第4整理室、写場、図書閲覧室、多目的室等
- イ 本館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,819.56m²
一般収蔵庫、水洗い室、PEG含浸室、木製品前処理室、木製品・金属製品保管室、種子等保管・分析室、樹脂含浸錆び落し室、脱塩処理室、注記室、写真・スライド保管室、ネガアルバム保管室、実測図保管室等
- ウ 体育館収蔵庫 鉄骨造 地上1階 床延面積 846.90m²
- エ 遺物乾燥室 軽量鉄骨造 地上2階 延床面積 129.60m²

2 六ヶ所収蔵庫

所在地 六ヶ所村大字倉内字笹崎1066 - 1

敷地面積 13,224.48m²

収蔵庫 木造 地上1階 延床面積 162.00m²

3 七戸収蔵庫

所在地 七戸町舟場向川久保243 - 1

敷地面積 8,760.00m²

収蔵庫

- ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 2,386.00m²
- イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,157.71m²
- ウ 東棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 668.70m²
- エ その他 機械室、物置

4 大鰐収蔵庫

所在地 大鰐町大字虹貝字中熊沢10 - 4

敷地面積 17,128.00m²

収蔵庫

- ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上5階 延床面積 3,591.85m²
- イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,211.23m²
- ウ その他 受水槽室、倉庫

[2] 事 業

1 埋蔵文化財発掘調査

国道394号榎林バイパス道路改築事業

七戸町 鉢森平(7)遺跡

〔所在地〕上北郡七戸町字鉢森平地内

〔調査期間〕令和5年5月9日～令和5年8月31日

〔調査面積〕1,450㎡

〔委託者〕青森県県土整備部(道路課)

〔調査結果〕検出遺構 縄文

竪穴建物跡1、掘立柱建物跡4、土坑61、柱穴36、溝状土坑8、土器埋設遺構3、焼土遺構1

出土遺物 縄文

土器、石器、土製品、石製品等 段ボール箱43箱

国道279号横浜北バイパス道路改築事業

横浜町 林ノ後遺跡

〔所在地〕上北郡横浜町字林ノ後、字中椏名木地内

〔調査期間〕令和5年9月1日～令和5年10月13日

〔調査面積〕3,000㎡

〔委託者〕青森県県土整備部(道路課)

〔調査結果〕検出遺構 縄文・時代不明

土坑10、溝跡1

出土遺物 縄文・平安・中世以降

石器、陶磁器、鉄滓等 段ボール箱1箱

常海橋銀線道路改築事業

青森市 郷山前村元遺跡

〔所在地〕青森市浪岡大字郷山前字村元地内

〔調査期間〕令和5年5月9日～令和5年7月28日

〔調査面積〕1,670㎡

〔委託者〕青森県県土整備部(道路課)

〔調査結果〕検出遺構 縄文・平安

竪穴建物跡1、円形周溝1、土坑3、掘立柱建物跡1、井戸跡2、柱穴7、性格不明遺構2

出土遺物 縄文・平安・近世

土器、石器、陶磁器等 段ボール箱2箱

弘前柏線道路改築事業

弘前市 鳴瀬遺跡

〔所在地〕弘前市大字三世寺字鳴瀬地内

〔調査期間〕令和5年9月5日～令和5年10月27日

〔調査面積〕900㎡

〔委託者〕青森県県土整備部（道路課）

〔調査結果〕検出遺構 平安以降・時期不明

堀跡1、溝跡2、小穴13、土坑1

出土遺物 縄文・平安

土器、石器、陶磁器等 段ボール箱1箱

新青森県総合運動公園整備事業

青森市 米山(2)遺跡

〔所在地〕青森市大字宮田字米山地区内

〔調査期間〕令和5年6月6日～令和5年9月22日

〔調査面積〕1,000㎡

〔委託者〕青森県県土整備部（都市計画課）

〔調査結果〕検出遺構 縄文・中世

掘立柱建物跡1棟を含む柱穴群、土坑20、焼土遺構1

出土遺物 縄文・中世

土器、石器、陶磁器等 段ボール箱89箱

2 刊行物

酪農(3)遺跡

（青森県埋蔵文化財調査報告書第641集）

鉢森平(6)遺跡

（青森県埋蔵文化財調査報告書第642集）

毛合清水(3)遺跡外

（青森県埋蔵文化財調査報告書第643集）

戸来館遺跡

（青森県埋蔵文化財調査報告書第644集）

研究紀要第29号

3 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業

事業の概要

「地元の縄文」の活用促進を目的とする「取組1」と、「地元の縄文」の魅力の再発見と情報の発信を行う「取組2」を実施した。

取組1 活用促進

地域連携会議

「地元の縄文」再発見フェア開催地域における発掘成果と出土品に関する概要報告、県所蔵出土品の活用案の提示、埋蔵文化財の保護と活用に関する事例報告等を行った。

〔第3回会議〕

開催日 7月5日

対象地域及び参加市町村 三八地域（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村）

会場 三戸町中央公民館（三戸町）

〔第4回会議〕

開催日 9月29日

対象地域及び参加市町村 西北地域（五所川原市、つがる市、深浦町、中泊町）

会 場 五所川原市中央公民館（五所川原市）

教材の制作

三八地域と西北地域の発掘調査による出土品を用いた教材及び指導者用の取扱説明書を制作した。

〔三八地域〕

制作数 40セット

1セットの内容 土器破片40点以上、石器10～12点

配布対象市町村 八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村

〔西北地域〕

制作数 20セット

1セットの内容 土器破片40点以上、石器10～12点

配布対象市町村 五所川原市・つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町・板柳町・鶴田町・中泊町

取組2 魅力再発見・情報発信

「地元の縄文」再発見フェアの開催

三八地域・西北地域を対象とした出土品展示会、体験学習会、講演会・シンポジウムの3要素で構成されるフェアを開催した。

〔三八地域〕

開催期間 9月16日～18日（月・祝）

名 称 「地元の縄文」再発見フェア in さんばち

共 催 三戸町教育委員会

会 場 三戸町民体育館、三戸町中央公民館（三戸町）

来場者数 488名（16日：108名 17日：208名 18日：172名）

・出土品展示会

展示対象市町村 八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村

展 示 遺 物 数 1,150点

展 示 パネル数 199点

・体験学習会

さ わ る 「ならべてみよう」・「なかもみつけ」、ハンズオン「さわってみよう」

つ く る 「JOMON缶バッジ作り」

たいけんする 射る（弓矢）・起こす（火おこし）・割る（木の実割り）・切る（紙を切る）

・講演会・シンポジウム

参 加 者 76名

基 調 講 演 「さんばちの縄文時代」野田尚志（三戸町教育委員会）

事 例 報 告 「八戸市と階上町の縄文時代」市川健夫（八戸市教育委員会）

「新郷村と五戸町の縄文時代」村本恵一郎（五戸町教育委員会）

「田子町・三戸町・南部町の縄文時代」岡本洋（県埋文センター）

シンポジウム 「再発見“さんばちの縄文” - 沿岸と内陸の縄文文化を語る - 」

パネリスト 野田尚志・市川健夫・村本恵一郎・岡本洋

コーディネーター 木村高（県埋文センター）

〔西北地域〕

開催期間 11月11日 ~ 12日

名 称 「地元の縄文」再発見フェア in せいほく

会 場 五所川原市中央公民館（五所川原市）

来場者数 413名（11日：184名 12日：229名）

・ 出土品展示会

展示対象市町村 五所川原市・つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町・板柳町・鶴田町・中泊町

展 示 遺 物 数 651点

展 示 パネル数 152点

・ 体験学習会

さ わ る 「ならべてみよう」・「なかまみつけ」、ハンズオン「さわってみよう」

つ く る 「JOMON 缶バッチ作り」

たいけんする 射る（弓矢）・起こす（火おこし）・割る（木の実割り）

・ 講演会・シンポジウム

参 加 者 75名

基 調 講 演 「せいほくの縄文時代」齋藤淳（中泊町博物館）

事 例 報 告 「津軽平野の縄文時代1」江戸邦之（五所川原市教育委員会）

「津軽平野の縄文時代2」小林和樹（つがる市教育委員会）

「西海岸の縄文時代」岡本洋（県埋文センター）

シンポジウム 「再発見“せいほくの縄文” - 平野と沿岸の縄文文化を語る - 」

パネリスト 齋藤淳・江戸邦之・小林和樹・岡本洋

コーディネーター 木村高（県埋文センター）

あおもり縄文カードの作成

所蔵する遺物写真に解説文を添えたカードを作成し、県内の道の駅、登録博物館・博物館類似施設、その他各地の拠点的な公開施設等で配布した。

〔制作種類〕100種類

〔制作枚数〕80,000枚（1種類につき800枚）

〔対象遺物の出土地〕青森県内全40市町村

8章 三内丸山遺跡センター

[1] 施設

特別史跡三内丸山遺跡と青森県総合運動公園の公園センターである縄文時遊館を合わせて教育機関「三内丸山遺跡センター」として平成31年4月に設置された。

- 1 所在地 青森市三内字丸山305
- 2 遺跡ゾーン 42.2ha（開園面積33.3ha）うち、特別史跡範囲25.2ha
- 3 縄文時遊館
 - 延床面積 10,385.37㎡（地階 1,464.71㎡、1階 8,474.82㎡、2階 445.84㎡）
 - 構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建地下1階建
 - 既存部分
 - ア 延床面積 7,347.96㎡
 - イ 主要各室
 - ア 1階 さんまるミュージアム（875㎡、約1,700点（うち重要文化財約500点）展示）、縄文シアター、体験工房等
 - イ 2階 会議室
 - 増築部分
 - ア 延床面積 3,037.41㎡
 - イ 主要各室
 - ア 1階 企画展示室（245.91㎡）、展示準備室（70.04㎡）、ギャラリー（269.91㎡）、整理作業室（404.44㎡）等
 - イ 地階 一般収蔵庫（680.84㎡）、特別収蔵庫（194.19㎡）、撮影室等

[2] 運営方針

三内丸山遺跡センター基本的運営方針

遺跡は、平成6年に保存・活用が決定されて以来、発掘調査を継続するとともに、遺跡公園としての整備を進め、公開・活用に努めてきました。平成31年4月に「三内丸山遺跡センター」を設置し、遺跡の保存・管理体制をさらに強化するとともに、国内外からより一層多くの見学者が遺跡を訪れ、縄文の「ムラ」のたたずまいの中で、遺跡を知り、体感し、親しむことができるよう、日本を代表する縄文遺跡にふさわしい調査・研究、保存・活用、展示、教育普及などの取組を進めていきます。

また、令和3年7月27日に縄文遺跡群の世界遺産登録決定を受け、縄文遺跡群を守り未来へ伝えていくため、縄文遺跡群の一体的な保存管理を推進していきます。

- 1 遺跡の保存・活用の推進と三内丸山遺跡センターの効率的な運営
 - 「特別史跡三内丸山遺跡整備計画（令和2年3月策定）」に基づき、遺構等を適切に保存するとともに見学者へ魅力や価値を伝達するため、着実に史跡整備を実施します。
 - 保存活用課、世界文化遺産課及び総務課の所掌事務を踏まえ、三課が連携して更なる魅

カづくりや来訪促進事業に取り組み、その効果を最大限に発揮できるよう、効率的な運営を推進します。

遺跡活用団体や地域住民の理解と協力のもと、積極的な保存・活用を実施します。

2 調査研究の推進

遺跡の全体像の解明、保存・活用の推進のため、発掘調査を継続するとともに特別研究推進事業や出土品に関する調査研究を実施します。

3 出土品及び資料の適切な管理と活用

出土品及び出土資料は、適切な環境の下で保存します。

4 遺跡の積極的な展示・公開

縄文の「ムラ」のたたずまいを体感・体験できる場として遺跡を整備公開するとともに、県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展など、多彩な展示活動を実施します。

5 遺跡についての学習の機会及び情報の提供

体験学習や講座、出前講座、発掘調査報告会、体感・体験イベントなどを実施します。

リーフレット、展示図録、研究紀要等を作成・配布し積極的な情報発信をします。

6 縄文遺跡群の一体的な保存管理の推進

縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を守り伝えていくため、包括的保存管理計画に基づき、資産の適切な保存と管理を実施します。

各構成資産の周辺に適切な範囲の緩衝地帯を設定し、顕著な普遍的価値を伝達する各属性に負の影響を及ぼさないよう、構成資産と一体的に保全します。

来訪者の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、施設及び受入体制の整備・充実に図ります。

構成資産及び緩衝地帯を適切に保護・保全するため、関係行政機関の連携・協働による管理を実施します。

縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を守るため、観察指標を設定し、構成資産及び緩衝地帯の継続的な経過観察（モニタリング）を実施します。

縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を確実に次世代に継承するため、学校、地域住民、民間団体等と連携・協働しながら、保存・活用を実施します。

7 縄文遺跡群の普及啓発の推進

縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を伝え、保護意識を高めていくため、県内外での様々な企画を実施します。

県内の構成資産を管理する自治体と連携し、さらなる魅力向上の取組を進め、縄文遺跡群の受入態勢の充実に促進します。

[3] 事 業

1 調査研究

発掘調査（第48次調査）

ア 調査期間 令和5年6月1日～10月31日

イ 調査面積 545㎡

ウ 調査結果

第48次調査は、第3期発掘調査計画の8か年目に当たり、以下を課題として調査を実施。

南地区東側の土坑墓及び竪穴遺構の分析と時期の確認

検出遺構

縄文時代の竪穴建物跡2棟、フラスコ状土坑1基、古代の竪穴建物跡1棟、縄文時代及び古代以降のピット4基を検出。

出土遺物

段ボール箱約4箱分の縄文土器・石器・土製品・石製品等が出土。

関連遺跡調査

ア 調査期間 令和6年2月27日

イ 調査地 群馬県立歴史博物館（高崎市）

（公財）群馬県立埋蔵文化財調査事業団（渋川市）

ウ 調査成果等

3Dデータの作成及び活用について先進事例の調査を実施

三内丸山遺跡特別研究推進事業

遺跡の全体像解明並びに円筒土器文化及び縄文文化に関する調査・研究を推進するため、三内丸山遺跡センターが実施する共同研究のほか、公募研究を実施。

ア 共同研究

「円筒土器文化における集落の実態をさぐる」

特定非営利活動法人 三内丸山縄文発信の会

ア 第1回研究会議（令和5年12月9日）

円筒上層c式、d式、e式の有効な属性を探り、細分できるか検討した。また、青森平野の遺跡を対象に、遺構から出土した土器について検討を行った。

イ 第2回研究会議（令和6年2月10日）

円筒土器文化圏内の本州の日本海側と太平洋側について、地域ごとの円筒上層式土器の比較検討を行った。

ウ 第3回研究会議（令和6年3月18日）

渡島半島で出土した円筒上層式土器について比較検討を行った。

イ 公募研究

応募3件（採択2件）

・「円筒土器文化圏の集落形態と変遷に関する比較考古学的研究」

研究者：永瀬 史人氏（さいたま市教育委員会）

・「縄文人のDNAを解読する - 堆積物からDNAを取り出せるか? - 」

研究者：山谷 あかり氏（青森大学青森ねぶた健康研究所）

遺跡環境調査

露出展示遺構の長期的な保存・公開に向けて、その具体的な対応を検討するための基礎的な資料として、覆屋内の気温・湿度等について定期的にデータを収集。

また、北の谷において有機質遺物の保存状況をモニタリングするため、地下水位と水質を測定。

三内丸山遺跡発掘調査委員会

遺跡に関する学術的な解明や継続的な発掘調査計画検討のため、専門家による委員会を

開催。

ア 第1回発掘調査委員会（令和5年8月24日）

開催場所 三内丸山遺跡センター 2階会議室（第2、3回も同じ）

内 容：発掘調査について

特別研究推進事業について

第4期発掘調査計画について

イ 第2回発掘調査委員会（令和5年10月4日）

内 容：発掘調査について

第4期発掘調査計画について

特別研究推進事業について

ウ 第3回発掘調査委員会（令和6年3月19日）

内 容：今年度の発掘調査について

来年度の発掘調査について

特別研究推進事業について

第3期調査の成果と第4期発掘調査計画について

発掘調査報告書の刊行

令和2年度から令和5年度まで発掘調査を行った旧都市計画道路予定地付近（第44～46次発掘調査）及び南地区東側（第47・48次発掘調査）の調査成果をまとめた発掘調査報告書（三内丸山遺跡48）を刊行。

2 保存

遺構等の維持管理

公開している遺構を年16回清掃し、適切に維持・管理。また、北盛土の露出展示遺構面の保存処理を実施。

重要文化財修理事業

三内丸山遺跡の出土品で重要文化財に指定されたもののうち、展示や貸出機会の多いもの、劣化や脆弱な箇所が認められるものについて保存修理を実施。（土器6点、骨角器5点）

三内丸山遺跡長寿命化事業

高床建物29号長寿命化工事及び大型竪穴建物改修設計を実施。

三内丸山遺跡保存活用推進協議会（令和6年3月21日）

開催場所：三内丸山遺跡センター 体験工房3

内 容：令和5年度資産の保存・管理及び緩衝地帯の保全について

令和6年度資産の保全・管理及び緩衝地帯の保全（予定）について

保存・活用について

史跡境界標打設

特別史跡指定範囲を明示する史跡境界標を43点打設。

遺跡影響評価の実施

28件実施

経過観察の実施

令和4年度の経過観察について、経過観察年次報告書を作成した。

3 整備

三内丸山遺跡史跡整備事業

西側法面保護工事、西盛土隣接展望エリア整備、子どもの墓覆屋撤去、給水・給電施設実施設計、園路改修実施設計を実施。

三内丸山遺跡史跡整備検討委員会

ア 第1回三内丸山遺跡史跡整備検討委員会（令和5年8月17日）

開催場所：三内丸山遺跡センター 2階会議室（第2回も同じ）

内 容：令和4年度の史跡整備事業について

令和5年度の史跡整備事業について

史跡整備全体計画の見直しについて

令和6年度の史跡整備事業について

植栽整備計画について

イ 第2回三内丸山遺跡史跡整備検討委員会（令和5年11月14日）

内 容：令和5年度の史跡整備事業について

三内丸山遺跡史跡整備事業における覆屋の考え方について

植栽整備計画について

常設展示室環境整備事業

常設展示室「さんまるミュージアム」のLEDライト更新等を実施し、エアタイト展示ケース1台を整備した。

4 普及啓発

縄文体験学習

体験学習名	内 容	開催日	参加人数
石のアクセサリーを作ろう	石を使ってアクセサリーを作りました。	5月13日	19人
発掘をしてみよう	遺跡内で発掘調査を体験しました。	7月28日	17人
土器を作ろう	粘土を使って縄文土器を作りました。	8月19日	10人
粘土のアクセサリーを作ろう	粘土を使ってアクセサリーを作りました。	9月2日	9人
釣り針を作って魚を釣ろう	シカの角で釣り針を作って魚を釣る体験をしました。	9月30日	15人
土器を作ろう	土器の野焼き体験をしました。	10月21日	中止
土偶のレプリカを作ろう	本物の土偶を使ってレプリカを作りました。	11月11日	8人
土偶を作ろう	粘土を使って土偶を作りました。	1月20日	17人
貝のアクセサリーを作ろう	ペンケイガイで腕輪等のアクセサリーを作りました。	2月10日	15人

縄文学講座

内 容	講 師	開催日	参加人数
青森県のヒスイ製品	業天 唯正（三内丸山遺跡センター）	4月29日	22人
遠隔地のヒスイ利用	高橋 哲（三内丸山遺跡センター）	5月27日	23人
原産地のヒスイ利用	山岸 洋一（糸魚川市教育委員会）	6月17日	28人
青森県の漆利用	木村 恵理（三内丸山遺跡センター）	7月30日	17人
縄文人と漆	岡田 康博（三内丸山遺跡センター）	8月26日	23人
現代の漆工からみえる縄文漆の魅力	斉藤 和彦（日本文化財漆協会）	9月9日	30人
企画展 遺跡北側を知る	舘山 友香理（三内丸山遺跡センター）	11月4日	17人

特別史跡三内丸山遺跡報告会

令和6年3月9日に実施。

企画展

「さんまる北側・新発見」

ア 開催期間：令和5年10月28日～令和6年3月10日

イ 内 容：遺跡北側における近年の発掘調査成果について紹介。

特別展

ア 「三内丸山とヒスイ - 本州最北に集う緑と技術 - 」

ア 開催期間：令和5年4月15日～7月2日

イ 内 容：ヒスイ製品や玉づくりに関わる出土品から青森県の縄文人とヒスイの深いつながりについて紹介。

イ 「三内丸山と漆 - 暮らしを彩る技 - 」

ア 開催期間：令和5年7月21日～9月18日

イ 内 容：漆製品や製作技術に関する出土品から縄文時代の漆利用について紹介。

5 三内丸山遺跡の魅力に関する情報発信

刊行物

ア 三内丸山通信第78号、第79号

遺跡に関する情報発信紙

イ 特別史跡三内丸山遺跡研究紀要5

令和4年度の成果を中心とした調査・研究の報告

ウ 特別展「三内丸山とヒスイ」展示図録

特別展「三内丸山とヒスイ」の展示内容解説

エ 特別展「三内丸山と漆」展示図録

特別展「三内丸山と漆」の展示内容解説

オ 特別史跡三内丸山遺跡リーフレット

三内丸山遺跡・縄文時遊館観覧の案内

カ 三内丸山遺跡ガイドブック

三内丸山遺跡とその出土品について解説

縄文体験イベント等の実施

ア 縄文祭り

四季を通じて縄文文化の魅力等を伝えるため、縄文祭りを4回開催。

ア 縄文春祭り（4月22日～23日）

参加人数：4,183人

イ 縄文夏祭り（7月22日～23日）

参加人数：9,912人

ウ さんまるJOMONの日（9月16日～18日）

参加人数：8,700人

エ 縄文冬祭り（2月3日～4日）

参加人数：3,461人

イ 出土品のレプリカ、縄文服及び写真貸出

ア 出土品のレプリカ、縄文服

延べ13件を貸出（出土品のレプリカ8件、縄文服5件）。

イ 写真

63件を貸出。

三内丸山遺跡センター運営協議会

ア 第1回（令和5年8月31日）

開催場所：三内丸山遺跡センター 体験工房3（第2回も同じ）

内 容：令和5年度事業実施状況及び今後の予定等について

イ 第2回（令和6年3月11日）

内 容：令和5年度事業実施状況について

令和6年度の予定（方向性）等について

三内丸山遺跡の「縄文」里山育成・継承の取組

ア 遺跡の植生についての学習・調査の機会の提供

遺跡内の「縄文」里山植物について、地域住民の理解を深めるため、遺跡内での生息環境や分布等の学習・調査を実施。

イ 「縄文」里山植物の苗木育成や収穫祭等の体験

地域住民参加型の「縄文」里山植物の苗木育成・植樹、剪定・伐採、収穫祭等の体験会を5回実施。

体験者延べ56名、高校生サポーター延べ18名

遺跡内の自然素材を活用したムラづくり体験

竪穴建物1棟について、解体から素材の採集・加工・組立までの体験会を6回実施。

体験者延べ98名、高校生サポーター延べ35名

県内中・高・大学生による観光客への遺跡の価値を伝える商品開発

県内の中・高・大学生に、遺跡の価値を観光客へ伝えるためのPRグッズの提案をしてもらい、作成した。

応募件数130件各校種1点（マスキングテープ、定規、絆創膏）を製品化した。

遺跡の価値を伝える体験メニューやプログラムの開発・実施

ア 外国人観光客向け体験メニュー及び修学旅行用体験メニューの開発

縄文服や小物を着用したうえで、森の中で植物を採集するイメージや炉を活用し、当

時の調理シーンを連想できる仮設ブースを設営した。

クルミ割り体験等（4回開催）196名参加

イ 遺跡の価値を伝える三内丸山遺跡動画の制作

遺跡への来訪を促すためのステージイベント等の実施

令和5年9月17日：100名参加、令和6年2月3日：120名参加（パブリックビューイング含む）

6 縄文遺跡群に関連する取組

縄文遺跡群に関連する取組として、以下の取組を実施。

一体的な保存と活用の推進

ア 縄文遺跡群世界遺産本部等の運営

ア 第1回縄文遺跡群世界遺産協議会（令和5年6月19日、オンライン開催）

内 容：令和5年度縄文遺跡群世界遺産本部事業について

保存活用推進行動計画について

遺産影響評価について 等

イ 第2回縄文遺跡群世界遺産協議会（令和5年11月30日、オンライン開催）

内 容：縄文遺跡群の来訪者数について

縄文遺跡群保存活用推進行動計画について

遺産影響評価について 等

ウ 第3回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会（令和5年7月18日、オンライン開催）

内 容：保存活用推進行動計画の策定について

遺産影響評価の運用方法・体制の検討について 等

エ 第4回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会（令和5年12月12日）

開催場所：アートホテル盛岡

内 容：2022年度縄文遺跡群経過観察年次報告書（案）について

遺産影響評価の取組状況について 等

オ 令和5年度縄文遺跡群世界遺産協議会青森県部会（令和6年2月28日）

開催場所：三内丸山遺跡センター

内 容：2022年度縄文遺跡群経過観察年次報告書（青森県内分）について

県内自治体における遺産影響評価の取組事例について 等

イ 来訪者動向調査

実施期間：令和5年8月

実施場所：各構成資産又はガイダンス施設

ウ 刊行物

「2022年度北海道・北東北の縄文遺跡群経過観察年次報告書」（令和6年3月）

エ その他

北海道・北東北の縄文遺跡群デジタルアーカイブ「JOMON ARCHIVES」が、令和5年8月25日にデジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）「デジタルアーカイブジャパン・アワード2023」を受賞した。

魅力発信プロモーション

ア 世界遺産2周年記念フォーラム

ア 青森フォーラム(令和5年7月29日)

場 所:三内丸山遺跡センター

内 容:報告「世界遺産になって変わったこと」

三内丸山遺跡センター世界文化遺産課 中澤 寛将

講演「青森の縄文時代遺跡 - 世界文化遺産と国指定史跡の理想と現実 - 」

縄文遺跡群世界遺産専門家委員会委員

同志社大学文学部教授 水ノ江 和同

講演「縄文遺跡群の未来」

縄文遺跡群世界遺産協議会長

三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

意見交換「遺産を未来へ伝えるために」

同志社大学文学部教授 水ノ江 和同

三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

参加人数:50人

イ 大阪フォーラム(令和5年11月23日)

場 所:堺市産業振興センター(大阪府堺市)

内 容:講演「百舌鳥・古市古墳群の価値とその魅力」

兵庫県立考古博物館 館長 和田 晴吾

講演「北海道・北東北の縄文遺跡群の価値とその魅力」

縄文遺跡群世界遺産協議会長

三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

講演「世界文化遺産と国指定史跡 - 相違点と展開の可能性 - 」

縄文遺跡群世界遺産専門家委員会委員

同志社大学文学部教授 水ノ江 和同

意見交換「世界遺産を未来へ伝えるために」

同志社大学文学部教授 水ノ江 和同

藤井寺市教育委員会 文化財専門員 福田 英人

三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

共 催:百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議(大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市)

参加人数:500人

ウ 東京フォーラム(令和6年1月28日)

場 所:有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

内 容:基調講演「縄文時代の始まりと終わり」

縄文遺跡群世界遺産専門家委員会委員

東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 根岸 洋

報告「縄文の始まりを掘る-大平山元遺跡-」

外ヶ浜町教育委員会 世界遺産対策室 室長補佐 駒田 透

報告「縄文のムラを掘る-垣ノ島遺跡-」

北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室

特別研究員 阿部 千春
 パネルディスカッション 「縄文の始まりと終わり」
 パネリスト

大阪府立弥生文化博物館 館長 禰亘田 佳男
 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 根岸 洋
 北海道縄文世界遺産推進室 特別研究員 阿部 千春
 コーディネーター
 縄文遺跡群世界遺産協議会長
 三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

参加人数：600人

イ 北海道・北東北の縄文遺跡群ガイダンス映像制作
 縄文遺跡群の顕著な普遍的価値や構成資産の特徴について紹介する映像を以下のとおり制作。

- ・15分版映像（日本語版、英語版）
- ・ダイジェスト版映像（日本語版、英語版）

ウ 世界遺産でパシャ！北海道・北東北の縄文遺跡群フォトコンテスト2023

応募作品の中でも魅力ある作品を集めてカレンダーを作成。

募集期間：令和6年1月12日まで

応募総数：838枚

発行部数：8,000部

エ 刊行物

「北海道・北東北の縄文遺跡群まるごとナビ2023」を発行。

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」パンフレットを改訂。

普及啓発事業

ア 県内8遺跡での来訪促進周遊企画・2周年記念催事を実施。

ア 県内8遺跡での周遊来訪企画（縄文おでかけスタンプラリー）

期 間：令和5年4月28日～10月31日

参加組数：延べ7,679組

イ 世界遺産登録2周年記念催事（さんまる世界遺産ウィーク）

特別展、夏祭り、フォーラム等を合わせ、一連の登録記念催事として実施。開催期間内の土・日・祝日については、常設展観覧料無料。夏祭り（7月22日、23日）ではキャラクターショーやFM青森の公開生放送等のステージイベントとマルシェを実施。

期 間：令和5年7月21日～30日

来館者数：17,763人

イ 縄文あおもりプロモーション事業

団 体 名	事 業 内 容
(株)Pastorelli JAPAN	縄文をテーマとした新体操パフォーマンスの制作・上演
(株)青森イベントサービス	オリジナル縄文Tシャツ製作公募キャンペーン
(株)金入	土偶をモチーフにしたショートバスタ製作・PR
(株)東奥アドシステム	県内縄文遺跡群を巡るバスツアー（南部編）
(NPO)つがる縄文の会	木造高生とコラボして行う縄文AR制作及びそれを活かした情報発信

ウ 縄文“体感”世界遺産講座の開催

団体名	開催日	参加人数
青森市立泉川小学校(知事講座)	令和5年5月29日	132人
青森市立浪岡野沢小学校	令和5年6月2日	13人
青森県よろこびの会	令和5年6月29日	25人
五戸町立上市川小学校	令和5年6月30日	16人
北海道教育庁渡島教育局教育支援課	令和5年9月4日	7人
中泊町立小泊小学校	令和5年11月1日	11人
東北卸商業団地連絡協議会	令和6年2月5日	17人
計		221人

R5から青森、弘前、八戸、つがる、七戸は各自自治体主催の世界遺産の講座を実施している。

エ 世界遺産ガイド養成講座の開催

ア 前期講座

	日時	内容	受講者
第1回	令和5年8月27日	講義、現地研修（三内丸山遺跡、小牧野遺跡）	12名
第2回	令和5年9月2日	現地研修（大平山元遺跡、田小屋野貝塚、亀ヶ岡石器時代遺跡、大森勝山遺跡等）	17名
第3回	令和5年9月3日	現地研修（七戸町二ツ森貝塚、八戸市是川石器時代遺跡）	19名

イ 後期講座

	日時	内容	受講者
第1回	令和5年11月14日	現地研修（大平山元遺跡、亀ヶ岡石器時代遺跡、大森勝山遺跡）	20名
第2回	令和5年11月21日	現地研修（七戸町二ツ森貝塚、八戸市是川石器時代遺跡）	21名
第3回	令和5年12月2日	講演・ワークショップ 「インタープリターの役割 ～来訪者が感動する「伝え方」・「話し方」～」 講師：川嶋 直 氏 (公社)日本環境教育フォーラム 主席研究員 (一社)日本インタープリテーション協会理事	26名

オ 刊行物

「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文あおもりテキストBOOK」
認知度向上事業

ア 交通広告等や誘客促進ツールの制作の実施

ア 青森駅・新青森駅でポスターを掲示

掲載期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日（イ、ウも同じ。）

イ 青森空港・三沢空港で電飾看板を掲示

ウ 青い森鉄道車体広告

エ ブックカバー等広告

配布枚数：ブックカバー57,000枚、しおり47,000枚

配布場所：青森県、首都圏、関西圏

配布期間：令和6年3月

イ 「青森の縄文遺跡群」世界遺産県外プロモーション2023「ホレボレ縄文」

タレントの王林さんを起用して、令和6年3月まで、以下の取組を実施。

ア ポスター掲示

・県内外の観光施設などにポスターを配布、掲示を依頼

・ポスター作成数 三内丸山遺跡版 B1 100枚 B2 200枚

小牧野遺跡版 B1 100枚 B2 200枚

大森勝山遺跡版 B1 100枚 B2 200枚

イ SNS広告

・媒体としてInstagramを使用 表示回数：148万回

・制作数 短尺動画（15-30秒程度） 3本（三内丸山1 小牧野1 大森勝山1）

本編動画（60-90秒程度） 3本（三内丸山1 小牧野1 大森勝山1）

メイキング動画（90-120秒程度）3本（三内丸山1 小牧野1 大森勝山1）

ウ スマホ待ち受け画像

・県内構成資産にQRコード入りポスター掲出、チラシ配布

・QRコード読み取りで来訪者が「スマホ待ち受け画面」をダウンロード

・ダウンロード回数：847回

エ PRグッズの配布

・大阪イベント等で、クリアファイル等を配布・web広告

・クリアファイル作成数 三内丸山遺跡版 200枚

小牧野遺跡版 200枚

大森勝山遺跡版 200枚

ウ 「青森の縄文遺跡群」世界遺産県外プロモーション2023

「あおりJOMONフェスタ おおさかのKOFUNと一緒に楽しもう」

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市）と共催して、青森の縄文と百舌鳥・古市古墳群の価値や多彩な魅力、世界遺産登録の意義を幅広く伝えるため、楽しみながら理解を深める普及啓発イベントを大阪府内の大型ショッピングセンターで開催した。また、新聞広告も実施した。

期 間：令和5年11月25日～26日

会 場：セブンパーク天美（大阪府松原市）

内 容：普及啓発展示

・縄文遺跡群や古墳群のパネル展示

・縄文遺跡群や古墳群のPR映像放映

・縄文遺跡群や古墳群の関連刊行物の設置・配布

・縄文遺跡群の出土品展示、来場者への解説

- ・縄文体感コーナー（縄文ファッション・三内丸山遺跡出土品ハンズオン）
- ・古墳体感コーナー（甲冑着用体験、鏡パズル、土器パズル）

ワークショップ

- ・土偶型クッキー「ドグッキー」づくり
- ・板状土偶づくり
- ・縄文組紐づくり

グリーティング

- ・さんまる（キャラクター）の店内での展開

新聞広告

- ・読売新聞大阪版 令和5年11月2日朝刊 15段広告

チラシ・ポスターの配布

- ・B2ポスター 50部 A4チラシ 13万部

大阪府及び堺市、藤井寺市、羽曳野市広報紙等でのPR

参加人数：1,500人

受入態勢充実事業

ア 民間団体との協働による世界遺産を守る人づくり実証事業の実施

団体名	事業内容
一般社団法人 小牧野遺跡保存活用協議会	ガイド人材定着のための環状列石を学ぶスキルアップ研修の実施、ワークショップで使用する体験グッズの開発等
ニッ森貝塚ボランティアガイドの会	ガイド人材獲得・定着のためのアナウンサーから学ぶガイド講座の実施、お土産品の開発等

イ ビジョン関係者会議の開催

「青森の縄文遺跡群」活用ビジョン関係者会議の開催（令和6年3月書面開催）

内 容：「青森の縄文遺跡群」活用推進ビジョンの実現に向けた保存・活用の取組状況について

「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設整備事業

令和4年度に実施した設計に基づき、JR青森駅東口ビル4階に、「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設を整備。

7 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、以下の取組を実施。

取組実績

- ・館内への手指消毒液及び授乳室への除菌シートを設置
- ・清掃業者及び職員による館内・備品等の消毒を毎日実施
- ・職員・解説員のマスク・フェイスシールド等の着用及びボランティアガイドへのマスク・フェイスシールド等の着用を依頼
- ・アンケート、「ギネスに挑戦」テーブルの撤去、土器ハンズオンの中止
- ・休憩用椅子等の数量調整と間隔を保って利用することを表示
- ・既存のITガイドシステムのコンテンツの拡充及びアプリの導入
- ・券売機等へのキャッシュレス導入

- ・常設展示室内、企画展示室内、券売機前等への待機位置等及び進行方向を示すフロアマーカ-を設置
- ・2次元コード（QRコード）を利用した展示解説の動画を提供
- ・各案内カウンター及び机上用アクリルパーテーションの設置

集客施設としての対応

- ア 来館者への体調管理、手指消毒のお願い
- イ ホームページ及び館内への注意事項掲示及びサイン表示
- ウ 来館者及び職員への検温実施（赤外線カメラ、非接触式体温計の導入）
- エ 団体等の適正人数での鑑賞のための取組（予約時の調整、ミュージアム等での誘導調整等）

8 縄文時遊館の長寿命化

縄文シアター映像・音響機器の更新及び縄文時遊館屋上柵増設外工事を実施。

[4] 来館者数

令和5年度の来館者数は、244,579人である。

展 覧 会 等	来館者数
常設展等の来館者数	243,217人
内、常設展以外の各展覧会等の来館者数	
1 特別展「三内丸山とヒスイ - 本州最北に集う緑と技術 - 」 令和5年4月15日～7月2日	24,964人
2 特別展「三内丸山と漆 - 暮らしを彩る技 - 」 令和5年7月21日～9月18日	15,152人
3 企画展「さんまる北側・新発見」 令和5年10月28日～3月10日	37,953人
4 縄文体験学習 令和5年5月、7月、8月、9月（2回）、10月、11月、 令和6年1月、2月 計9回	110人
5 縄文学講座 令和5年4月、5月、6月、7月、8月、9月、11月 計7回	160人
視察等来館者数	1,362人
合 計	244,579人

青森県の教育 - 令和5年度の実績 -

令和6年10月発行

編集 青森県教育庁教育政策課

発行者 青森県教育委員会

印刷所 協同印刷工業株式会社

